



取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-595WT

EB-590WT

EB-585W



EB-580

マニュアル中の表示の意味





• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  「用語解説」 p.202
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例： [画質調整]から[明るさ]を選びます。 [画質調整]-[明るさ]

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 8

- インタラクティブ機能（Easy Interactive Function）（EB-595WT/EB-590WTのみ） 8
- 近距離からの投写が可能 8
- ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写 8
- 充実したセキュリティー機能 9
- 書画カメラで手持ちの資料を拡大投写 10

各部の名称と働き 11

- 前面/側面 11
- 上面/側面 12
- インターフェイス 13
- 底面 14
 - フットの取り付け（フット同梱機種のみ） 15
- 操作パネル 16
- リモコン 17
 - リモコンの電池交換 19
 - リモコンの操作可能範囲 20
- Easy Interactive Pen（EB-595WT/EB-590WTのみ） 21
 - Easy Interactive Penの電池交換 21
 - Easy Interactive Penのペン先交換 22
- ペントレイ（EB-595WT/EB-590WTのみ） 23
- タッチユニット（EB-595WTのみ） 24
 - 前面 24
 - 背面 24

準備

設置する 27

- いろいろな設置方法 27
- インタラクティブ機能を使用するとき（EB-595WT/EB-590WTのみ） 28

- タッチユニットの設置（EB-595WTのみ） 29

接続する 30

- コンピューターの接続 30
- スマートフォン/タブレット端末の接続 32
- 映像機器の接続 33
- USB機器の接続 36
- マイクの接続 38
- 外部機器の接続 39
- LANケーブルの接続 41
- 無線LANユニット（オプション品）の取り付け 42
- 複数台のプロジェクターを接続する（EB-595WT/EB-590WTのみ） 43

基本的な使い方

投写する 46

- 投写までの流れ 46
- 入力信号を自動検出して切り替える（入力検出） 47
- リモコンで目的の映像に切り替える 48
- USBディスプレイで投写する 49
 - 動作環境 49
 - 初めて接続したとき 50
 - アンインストール 51

投写映像を調整する 53

- 台形ゆがみを補正する 53
 - タテヨコ補正 53
 - Quick Corner 55
 - 湾曲補正（EB-590WTのみ） 56
- 映像のサイズを調整する 58
- 映像の位置を調整する（デジタル ピクチャーシフト） 58
- 映像の高さを調整する（フット同梱機種のみ） 59
 - 映像の高さを上げる 59
 - 映像の高さを下げる 60
- 水平傾斜を調整する（フット同梱機種のみ） 60
- ピントのズレを補正する 60
- 音量を調整する 62

映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）	63
オートアイリス（自動絞り）を設定する	63
投写映像のアスペクト比を切り替える	64
切り替え方法	64
アスペクトモードを切り替える（EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wの場合）	65
アスペクトモードを切り替える（EB-580の場合）	66

インタラクティブ機能（EB-595WT/EB-590WTのみ）

インタラクティブ機能でできること	69
投写映像に描画する（アノテーションモード）	70
ホワイトボードとして使用する（ホワイトボードモード）	71
投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）	72
マウス操作機能の動作条件	72
マウス操作機能を使う	72
Easy Interactive Driverシステム動作条件（OS Xのみ）	75
Easy Interactive Driverをインストールする（OS Xのみ）	76
電子ペンを使う	77
ペン位置合わせ	79
自動位置合わせ	79
手動位置合わせ	80
ペン操作エリアを調整する	82
指を使って操作する（EB-595WTのみ）	84
指での操作を安全に行っていただくために	84
レーザー警告ラベル	84
タッチ操作を行って各機能を使う	85
指タッチ位置合わせ	86
インタラクティブ機能を活用する	90
インタラクティブ機能のモードを切り替える	90
アノテーションモード/ホワイトモードのツールバー	91
ペンの色と太さを選択する	92
背景を選択する	92
プロジェクター制御ツールバー	93
ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する	93

ネットワーク経由でインタラクティブ機能を利用する 96

EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる場所にあるプロジェクターに接続する際のご注意	96
---	----

Windowsのペン入力とインクツール 98

Windowsのペン入力とインク機能を有効にする	98
Windowsのペン入力とインク機能を使用する	99

便利な機能

投写機能 101

USBストレージの画像を投写する（PC Free）	101
PC Freeで投写できるファイルの仕様	101
PC Freeの利用例	101
PC Freeの操作方法	102
選択した画像・動画を投写する	103
フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）	104
画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定	105
映像と音声を一時的に消す（AVミュート）	106
映像を停止させる（静止）	107
説明箇所を指し示す（ポインター）	107
映像を部分的に拡大する（Eズーム）	108
リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）	109
ユーザーロゴの登録	111
ユーザーパターンの登録	113

セキュリティ機能 115

利用者を管理する（パスワードプロテクト）	115
パスワードプロテクトの種類	115
パスワードプロテクトの設定方法	115
パスワードの認証	116
操作を制限する（操作ボタンロック）	117
盗難防止用ロック	118
ワイヤーロックの取り付け方	118

監視と制御 120

EasyMP Monitor!について	120
---------------------	-----

Message Broadcastingについて	120
Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）	120
本機の設定	120
Web制御画面を表示する	121
Web Remote画面を表示する	121
メール通知機能で異常を通知する	123
異常通知メールの見方	123
SNMPを使って管理する	124
ESC/VP21コマンド	124
コマンドリスト	124
ケーブル配線	125
PJLinkについて	126
Crestron RoomView®について	127
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する	127

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作	132
-------------	-----

機能一覧	133
------	-----

環境設定メニュー一覧	133
ネットワークメニュー	134
画質調整メニュー	135
映像メニュー	136
設定メニュー	138
拡張設定メニュー	140
Easy Interactive Functionの設定項目	143
ネットワークメニュー	145
ネットワークメニュー操作上のご注意	145
ソフトキーボードの操作	146
基本設定メニュー	147
無線LANメニュー	147
セキュリティメニュー	149
有線LANメニュー	150
メールメニュー	150
その他メニュー	151
初期化メニュー	152

節電メニュー	152
情報メニュー（表示のみ）	153
初期化メニュー	154

複数台のプロジェクターを一括設定する	155
--------------------	-----

困ったときに

ヘルプの見方	157
--------	-----

故障かなと思ったら	158
-----------	-----

インジケーターの見方	158
インジケーターを見てもわからないとき	162
映像に関するトラブル	163
映像が表示されない	163
動画が表示されない（動画の部分だけが黒くなる）	164
自動的に投写が消える	164
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される	164
映像信号が入力されていません。と表示される	165
ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	165
ノイズが入る、乱れる	166
マウスカーソルがちらつく（USBディスプレイ投写時のみ）	166
映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない	167
色合いが違う	168
暗い	168
投写開始時のトラブル	169
電源が入らない	169
インタラクティブ機能に関するトラブル（EB-595WT/EB-590WTのみ）	169
プロジェクターの投写画面に描画できない	169
コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない	170
Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。というエラーメッセージが表示される	170
コンピューターのマウスが正しく動作しない	171
Easy Interactive Penが動作しない	171
Easy Interactive Penの反応が遅い（USBディスプレイ投写時のみ）	172
指タッチ操作がうまくできない（EB-595WTのみ）	172
タッチユニットの角度調整ができない（EB-595WTのみ）	173

手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう	173
その他のトラブル	173
音が出ない・小さすぎる	173
マイクの音が出ない	174
音声にノイズが混ざる（USBディスプレイ投写時のみ）	175
リモコンで操作できない	175
メッセージやメニューの言語を変更したい	175
プロジェクターに異常が起きててもメール通知されない	176
Webブラウザーを使って設定を変更できない	176

Event IDについて	177
--------------	-----

メンテナンス

各部の掃除	179
本機の掃除	179
投写窓の掃除	179
障害物検知センサーの掃除	179
エアフィルターの掃除	180

消耗品の交換方法	183
ランプの交換	183
ランプの交換時期	183
ランプの交換方法	184
ランプ点灯時間の初期化	187
エアフィルターの交換	187
エアフィルターの交換時期	187
エアフィルターの交換方法	187

付録

オプション・消耗品一覧	192
オプション	192
消耗品	192

スクリーンサイズと投写距離	193
---------------	-----

EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wの投写距離表	193
EB-580の投写距離表	194

対応解像度一覧	195
---------	-----

対応解像度	195
コンピューター映像（アナログRGB）	195
コンポーネントビデオ	195
コンポジットビデオ	195
HDMI入力信号	195
MHL入力信号	196

仕様一覧	197
------	-----

本機仕様	197
------	-----

外形寸法図	200
-------	-----

用語解説	202
------	-----

一般のご注意	204
--------	-----

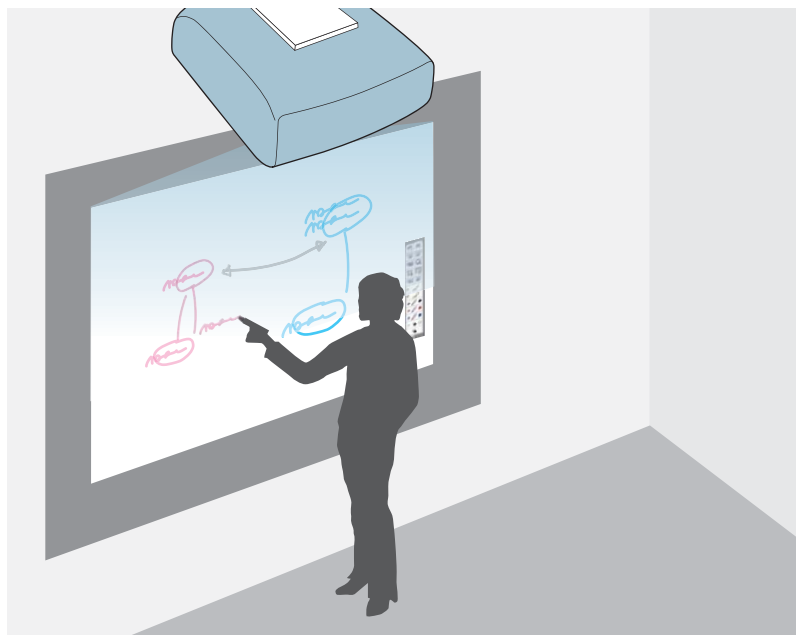
電波法による規制	204
表記について	204
商標について	205



はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

インタラクティブ機能(Easy Interactive Function) (EB-595WT/EB-590WTのみ)



電子ペン(Easy Interactive Pen)を使って、以下のことができます。

- ホワイトボードのような無地の画面に描画する
 - 投写した資料に描画する
 - 投写画面上でコンピュータのマウス操作をする
 - 投写画面上でプロジェクターを操作する
 - 同梱のEasyMP Multi PC Projectionを使ってネットワーク接続している機器を、投写画面上で選択して投写する
 - 同梱のEasyMP Network ProjectionまたはオプションのQuick Wirelessを使って、ネットワーク経由でインタラクティブ機能を共用する
- タッチユニットを取り付けると、Easy Interactive Penの代わりに指を使って操作できます(EB-595WTのみ)。

☛「インタラクティブ機能(EB-595WT/EB-590WTのみ)」 [p.68](#)

近距離からの投写が可能

スクリーンのすぐ近くに設置して、大きな画面を投写できます。天井や壁から投写するときは、スクリーンの近くに人が立っても影ができにくく、投写光をまぶしく感じることもありません。

☛「スクリーンサイズと投写距離」 [p.193](#)

ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写

同梱のEPSON Projector Software CD-ROMに収録されている、EasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projectionを使うと、以下のことができます。

- ネットワーク経由でプロジェクターを共用

EasyMP Network Projectionを使うと、プロジェクターをネットワークに接続して複数のコンピューターで共用できます。ケーブルをつなぎかえることなく、各コンピューターから映像や資料を投写できます。また、1台のコンピューターから複数台のプロジェクターへの投写もできます。

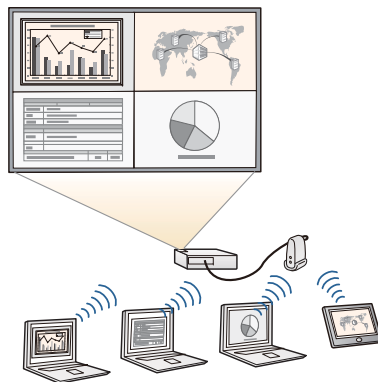
☛『EasyMP Network Projection操作ガイド』



● 複数のコンピューターの画面を同時に投写

EasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワークに接続されたコンピューターや、Epson iProjectionがインストールされたスマートフォンやタブレット端末の画面を同時に4台まで投写できます。

☛『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』



オプション品やアプリを活用すると、以下のことができます。

● コンピューターの画面をワイヤレスで投写

オプションの無線LANユニットを本機に装着すると、無線LANネットワーク経由でコンピューターの画面を投写できます。

☛「無線LANユニット（オプション品）の取り付け」[p.42](#)



● コンピューターと簡単に接続できるクイックワイヤレス

オプションのクイックワイヤレス用USBキーをコンピューターに接続するだけで、無線LAN接続のネットワーク設定を自動化して、簡単にコンピューターの画面を投写できます（Windowsのみ）。



● 携帯端末の映像をネットワーク経由で投写

Epson iProjectionをスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスに投写できます。Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



充実したセキュリティ機能

● 利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。

☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」[p.115](#)

● 操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。

☛「操作を制限する（操作ボタンロック）」[p.117](#)

● 多様な盗難防止の機構を装備

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

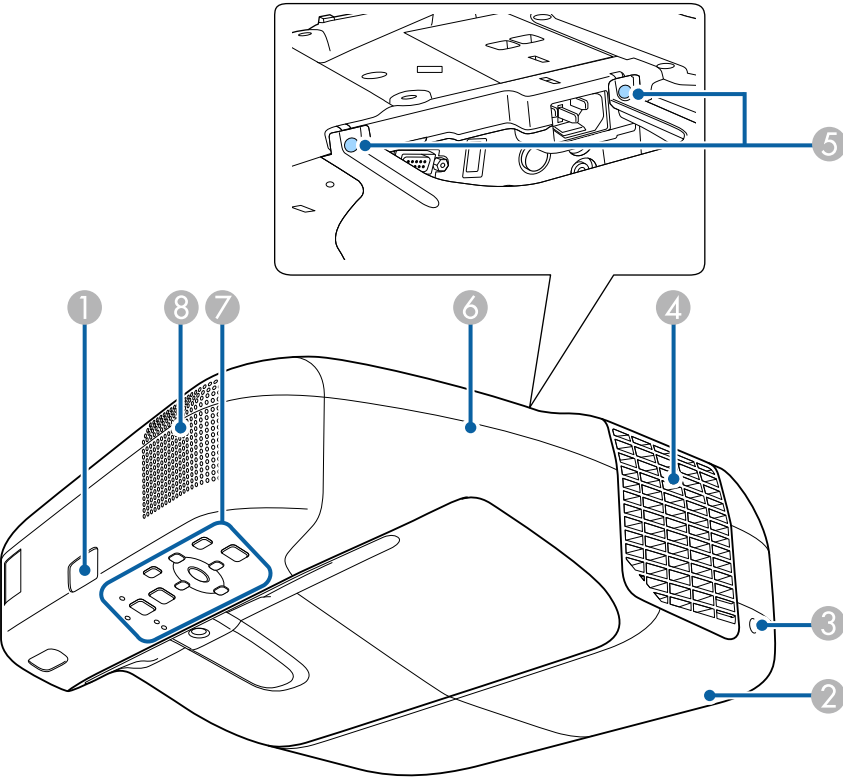
- セキュリティスロット
- セキュリティーケーブル取付け部
- ☛「盗難防止用ロック」[p.118](#)

書画カメラで手持ちの資料を拡大投写

オプションの書画カメラを使うと、紙資料や立体物などを投写できます。コンピューターと接続したり、付属のソフトウェアを使用することで、プロジェクターの活用範囲が広がります。

☛ 「オプション」 [p.192](#)

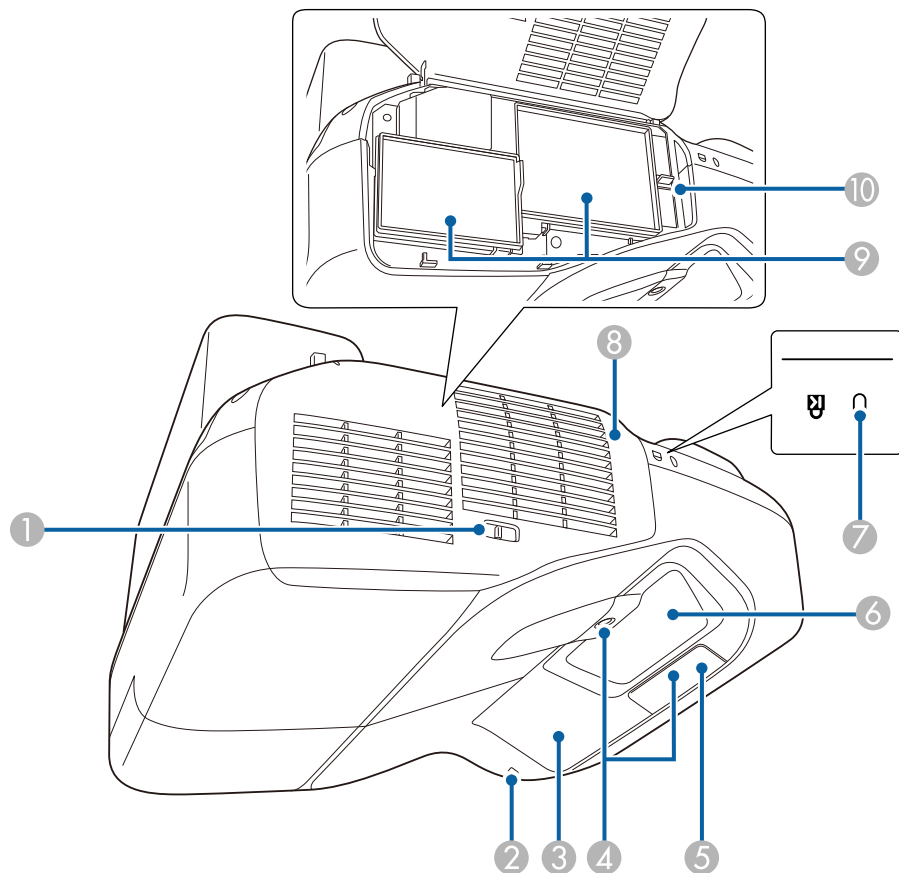
前面/側面



名称	働き
① リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
② ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛「ランプの交換」 p.183
③ ランプカバー固定ネジ	ランプカバーを固定するネジです。 ☛「ランプの交換」 p.183

名称	働き
④ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <div>⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</div>
⑤ ケーブルカバー固定ネジ	ケーブルカバーを固定するネジです。
⑥ ケーブルカバー	接続機器をケーブルで接続するときや無線LANユニットを装着するときに、ネジを2本ゆるめてカバーを開けます。
⑦ 操作パネル	本機の操作をします。 ☛「操作パネル」 p.16
⑧ スピーカー	音声を出力します。

上面/側面

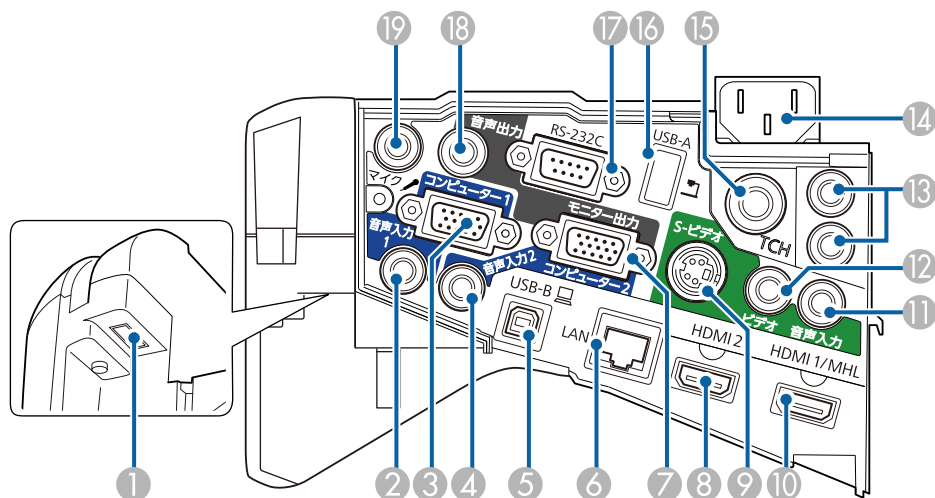


名称	働き
① エアフィルターカバー開閉レバー	エアフィルターカバーの開閉時に操作します。
② 無線LANインジケータ	オプションの無線LANユニットのアクセス状況をお知らせします。

名称	働き
③ Easy Interactive Function 受光部 (EB-595WT/EB-590WTのみ)	Easy Interactive Penの信号を受信します。 ☞「インタラクティブ機能（EB-595WT/EB-590WTのみ）」p.68
④ 障害物検知センサー	投写窓付近の障害物を検知します。 ☞「障害物検知センサーの掃除」p.179
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑥ 投写窓	映像を投写します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 投写中は投写窓をのぞかないでください。 投写窓にものを置いたり、手を近付けたりしないでください。投写光が集束するため高温になり、やけどや変形、火災の原因になります。 </div>
⑦ セキュリティーロット	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティロットです。 ☞「盗難防止用ロック」p.118
⑧ エアフィルターカバー	エアフィルターの交換時や、フォーカスレバーを操作するときはこのカバーを開けます。
⑨ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 ☞「エアフィルターの掃除」p.180 ☞「エアフィルターの交換」p.187
⑩ フォーカスレバー	映像のピントを合わせます。 エアフィルターカバーを開けて、操作します。

インターフェイス

ケーブルカバーを外すと、以下の端子が装備されています。

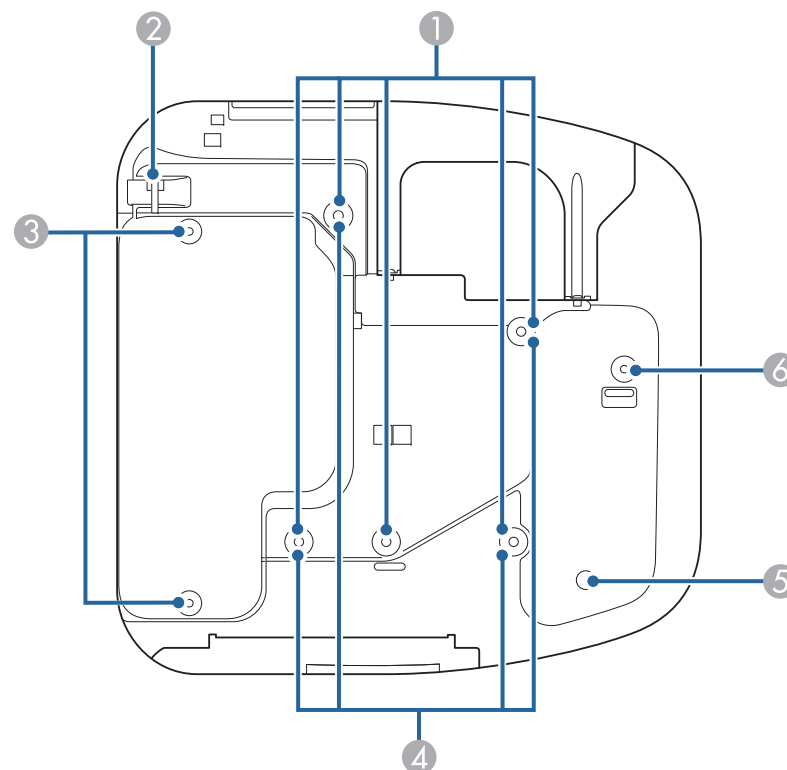


名称	働き
① 無線LANユニット装着部	オプションの無線LANユニットを装着します。 ●「無線LANユニット（オプション品）の取り付け」 p.42
② 音声入力1端子	コンピューター1入力端子に接続した機器の音声を入力します。
③ コンピューター1入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
④ 音声入力2端子	<ul style="list-style-type: none"> コンピューター2入力端子に接続した機器の音声を入力します。 USB-A入力端子に接続した機器からの映像を投写しているときに、他の機器の音声を入力します。

名称	働き
⑤ USB-B端子	<ul style="list-style-type: none"> 同梱または市販のUSBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写します。 ●「USBディスプレイで投写する」 p.49 ワイヤレスマウス機能を使うときに、同梱または市販のUSBケーブルでコンピューターと接続します。 ●「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109 Easy Interactive Penでマウスの操作をするときに、同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続します（EB-595WT/EB-590WTのみ）。 ●「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」 p.72
⑥ LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑦ モニター出力/コンピューター2入力端子	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューで[モニター出力端子]を[モニター出力]に設定しているときは、コンピューター1入力端子から入力しているアナログRGB信号を外付モニターに出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。 環境設定メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定しているときは、コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
⑧ HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。
⑨ S-ビデオ入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑩ HDMI1/MHL入力端子	<ul style="list-style-type: none"> HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。 MHL▶▶（Mobile High-definition Link）に対応したスマートフォンやタブレット端末の信号を入力します。

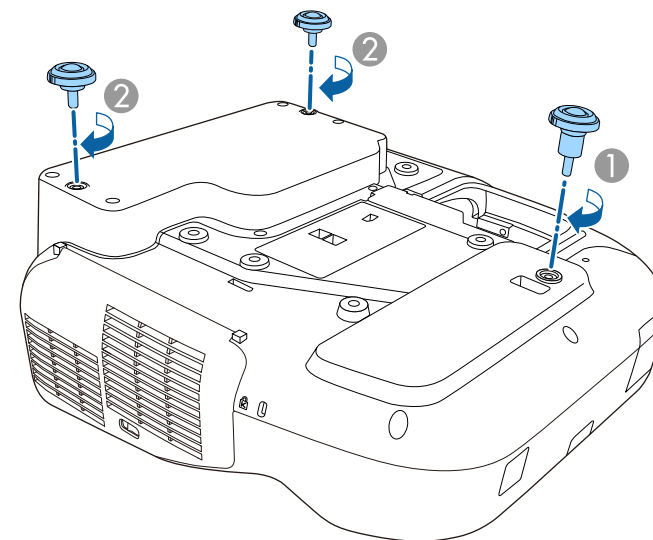
名称	働き
⑪ 音声入力端子	S-ビデオ入力端子またはビデオ入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑫ ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
⑬ SYNC IN/OUT端子 (EB-595WT/ EB-590WTのみ)	同じ部屋で本機を2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するときに、オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)でプロジェクター同士を接続します。接続するとEasy Interactive Penの動作が安定します。 ☛「複数台のプロジェクターを接続する (EB-595WT/EB-590WTのみ)」 p.43
⑭ 電源端子	電源コードを接続します。 ☛「投写までの流れ」 p.46
⑮ TCH端子(EB-595WTのみ)	同梱のタッチユニット接続ケーブルでタッチユニットと接続します。
⑯ USB-A端子	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリーやデジタルカメラを接続し、画像ファイルをPC Freeで投写します。 ☛「USBストレージの画像を投写する (PC Free)」 p.101 オプションの書画カメラを接続します。
⑰ RS-232C端子	コンピューターから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ☛「ESC/VP21 コマンド」 p.124
⑱ 音声出力端子	現在投写している映像の音声やマイク入力端子からの音声を外部スピーカーに出力します。
⑲ マイク入力端子	マイクの音声を入力します。 ☛「マイクの接続」 p.38

底面



名称	働き
① 天吊り金具固定部(5箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛「設置する」 p.27 ☛「オプション」 p.192
② セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 壁掛けまたは天吊り設置するときに、落下防止用ワイヤー等はこの部分に通さないでください。 ☛「ワイヤーロックの取り付け方」 p.118

名称	働き
③ リアフット取付け部(2箇所)	机などに置いて使用するとき、フットを取り付けます。(フット同梱機種のみ) ☛「フットの取り付け (フット同梱機種のみ)」 p.15
④ 壁掛け金具固定部(4箇所)	壁に設置するとき、同梱またはオプションのセッティングプレートを取り付けます。 ☛『設置工事説明書』 ☛「オプション」 p.192
⑤ 照度センサー	周囲の明るさを感知して、画面の明るさを自動で切り替えます。環境設定メニューで[明るさ切替]を[オート]に設定してください。 ☛ [節電]-[明るさ切替] p.152
⑥ フロントフット取付け部	机などに置いて使用するとき、スペーサー付きのフットを取り付けます。(フット同梱機種のみ) ☛「フットの取り付け (フット同梱機種のみ)」 p.15

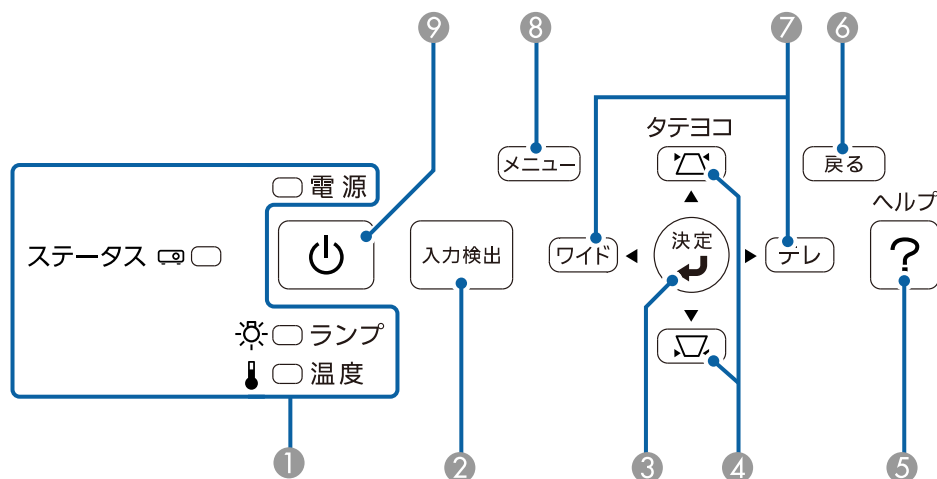


- ① フロントフット取付け部にスペーサー付きのフットを差し込みます。
- ② リアフット取付け部(2箇所)にフットを差し込みます。

フットの取り付け(フット同梱機種のみ)

フット取付け部に、フットを差し込みます。

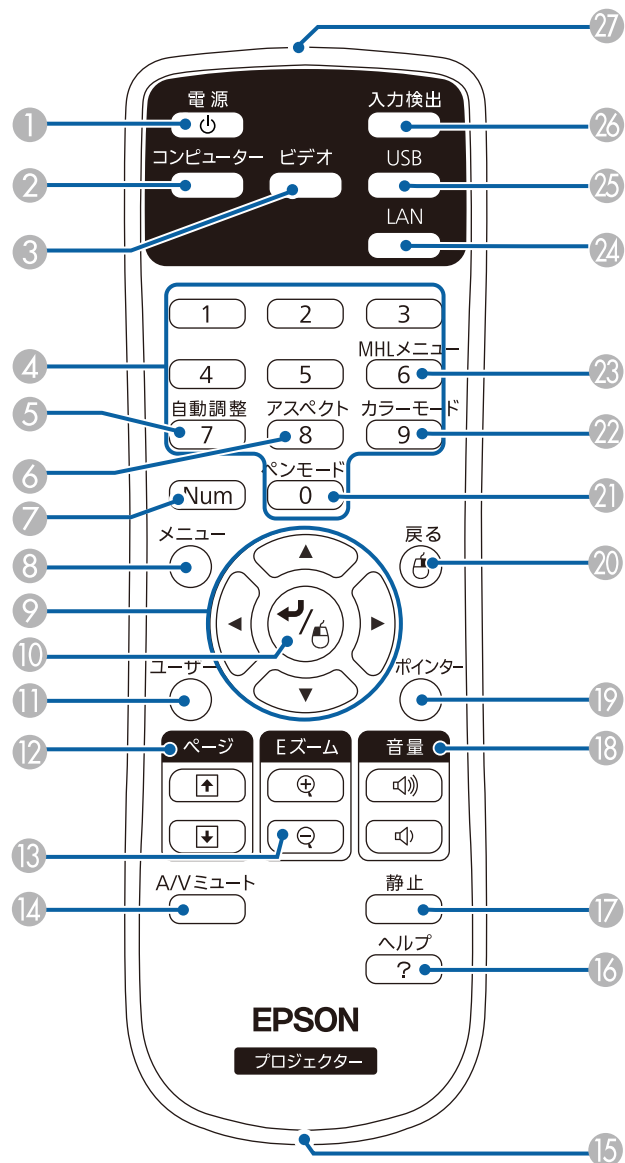
操作パネル








名称	働き
① インジケーター	本機の状態を色や点灯・点滅で確認します。 ☛「インジケーターの見方」 p.158
② 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.47
③ 【決定】ボタン 【↵】	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進んだりします。 コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。

名称	働き
④ 【▽】【△】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ゆがみ補正を実行します。 ☛「タテヨコ補正」p.53 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.132 ☛「ヘルプの見方」p.157
⑤ 【ヘルプ】ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」 p.157
⑥ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」p.132
⑦ 【テレ】【ワイド】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 投写画面のサイズを調整するときに押します。【テレ】ボタンを押すと投写画面のサイズが小さくなり、【ワイド】ボタンを押すと大きくなります。 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。 ☛「タテヨコ補正」p.53 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」p.132 ☛「ヘルプの見方」p.157
⑧ 【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.132
⑨ 【電源】ボタン 【⏻】	電源をオン/オフします。 ☛「投写までの流れ」 p.46

リモコン



名称	働き
① 【電源】ボタン 【  】	本機の電源をオン/オフします。 ☛「投写までの流れ」 p.46
② 【コンピューター】ボタン	押すたびに、コンピューター1入力端子、コンピューター2入力端子からの映像に切り替えます。
③ 【ビデオ】ボタン	押すたびに、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子、HDMI1/MHL入力端子、HDMI2入力端子からの映像に切り替えます。
④ テンキーボタン	<ul style="list-style-type: none"> パスワードを入力します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.115 環境設定メニューの[ネットワーク]で数字を入力します。
⑤ 【自動調整】ボタン	コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
⑥ 【アスペクト】ボタン	押すたびに、アスペクトモードが切り替わります。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.64
⑦ 【Num】ボタン	パスワードや数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.115
⑧ 【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.132
⑨ 【  】【  】【  】【  】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.132 PC Freeで投写しているときは、画像ファイルの送り/戻し、回転などをします。 ☛「USBストレージの画像を投写する（PC Free）」 p.101 ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109

名称	働き
⑩ 【決定】ボタン 【↵】	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進んだりします。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.132 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109
⑪ 【ユーザー】ボタン	<p>環境設定メニューの項目のうちよく使われる項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。</p> <p>☛「設定メニュー」 p.138</p> <p>初期設定では、以下の項目が割り当てられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> EB-595WT/EB-590WTの場合：[自動位置合わせ] EB-585W/EB-580の場合：[明るさ切替]
⑫ 【ページ】ボタン 【⏮】【⏭】	<p>以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスマウス機能時 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109 USBディスプレイ時 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.49 ネットワーク接続時 <p>PC Freeで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。</p>
⑬ 【Eズーム】ボタン 【⊕】【⊖】	<p>投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。</p> <p>☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.108</p>

名称	働き
⑭ 【A/Vミュート】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106 約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・上下反転] [リア] ↔ [リア・上下反転]
⑮ ストラップホール	市販のストラップを取り付けるときは、この穴に通します。
⑯ 【ヘルプ】ボタン	<p>トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。</p> <p>☛「ヘルプの見方」 p.157</p>
⑰ 【静止】ボタン	<p>映像を一時停止/解除します。</p> <p>☛「映像を停止させる（静止）」 p.107</p>
⑱ 【音量】ボタン 【🔊】【🔇】	<p>【🔊】音量を下げます。 【🔇】音量を上げます。</p> <p>☛「音量を調整する」 p.62</p>
⑲ 【ポインター】ボタン	<p>投写中の映像にポインターが表示されます。</p> <p>☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」 p.107</p>
⑳ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中の機能を終了します。 環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.132 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109
㉑ 【ペンモード】ボタン	<p>Easy Interactive Penでコンピューターを操作するか描画するかを切り替えます。</p> <p>☛「インタラクティブ機能（EB-595WT/EB-590WTのみ）」 p.68</p>

名称	働き
②② 【カラーモード】ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☛「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.63
②③ 【MHLメニュー】ボタン	本機のMHL端子と接続している機器の設定メニューを表示します。
②④ 【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
②⑤ 【USB】ボタン	押すたびに、以下の映像に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">• USBディスプレイ• USB-A端子に接続した機器からの映像
②⑥ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.47
②⑦ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

リモコンの電池交換

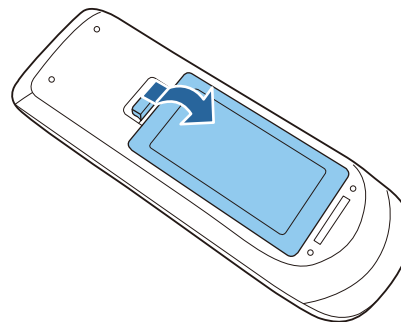
使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

注意

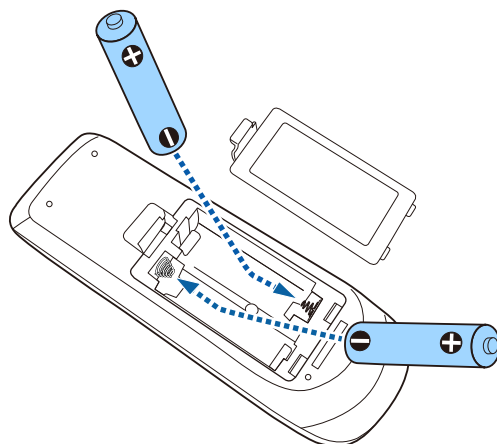
電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛『安全にお使いいただくために』

- 1 電池カバーを外します。**
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



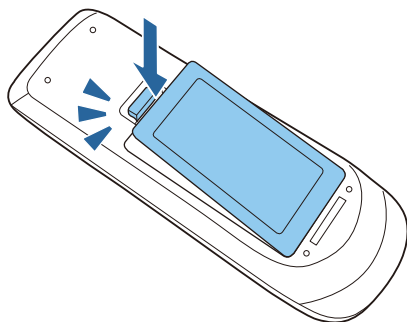
- 2 新しい電池と交換します。**
電池のマイナス側から、スライドするように入れます。



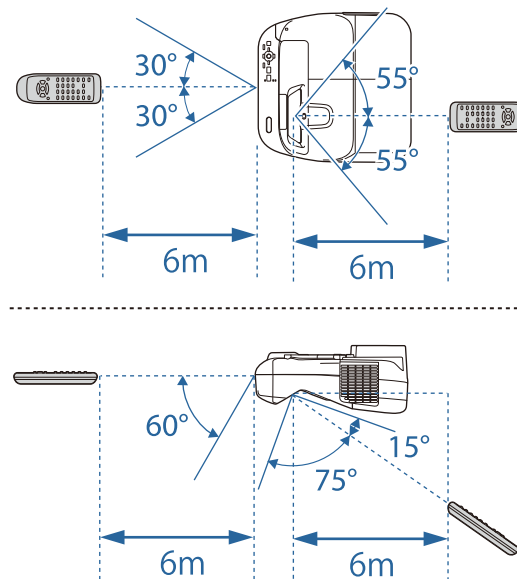
⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。
電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 3** 電池カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



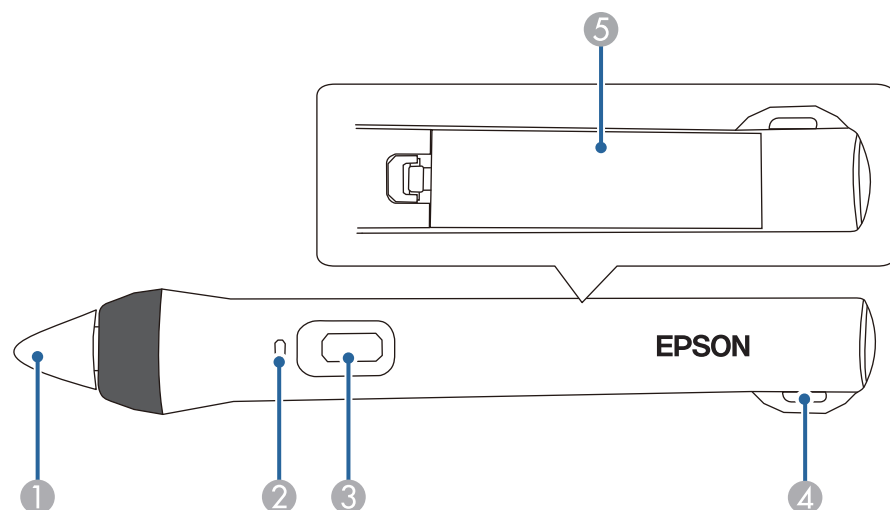
リモコンの操作可能範囲



Easy Interactive Pen(EB-595WT/EB-590WTのみ)

Easy Interactive Penは2種類あり、ペン後方部の色が異なります。ペン後方部が同じ色のEasy Interactive Penは同時に使えません。

☞「オプション」 p.192



名称	働き
① ペン先ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ペン先ボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Penを使用できるまで約1秒かかります。 投写画面に近づけたり押し当てたりして使います。 <p>☞「インタラクティブ機能（EB-595WT/EB-590WTのみ）」 p.68</p> <p>☞「オプション」 p.192</p>

名称	働き
② バッテリーインジケーター	<p>ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池残量がある場合は、ボタンを離すまで緑色に点灯します。 電池残量が少ない場合は、ボタンを離すまで緑色に点滅します。 電池残量がない場合は、点灯しません。電池を交換してください。 <p>☞「Easy Interactive Penの電池交換」 p.21</p>
③ ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ペン側面にあるボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Penを使用できるまで約1秒かかります。 描画時に押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムへ交互に切り替えます。 マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。
④ ストラップホール	市販のストラップなどを取り付けることができます。
⑤ 電池カバー	<p>電池交換時にこのカバーを開けます。</p> <p>☞「Easy Interactive Penの電池交換」 p.21</p>



Easy Interactive Penを20分間使わないと、電源が自動でオフになります。

使用するときには、ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、再度電源をオンにしてください。

Easy Interactive Penの電池交換

Easy Interactive Penのバッテリーインジケーターは、ボタンを押したときに点灯・点滅します。電池残量がない場合は、点灯・点滅しません。ボタンを押しても点灯・点滅しなくなったら、新しい電池(1本)と交換

してください。交換用の電池は以下のいずれかを使用します。他の充電式乾電池は使用できません。

- 単3形マンガン乾電池
- 単3形アルカリマンガン乾電池
- eneloop®※ (HR-3UTG/HR-3UTGA/HR-3UTGB/BK-3MCC)

※eneloop®はパナソニックグループの登録商標です。

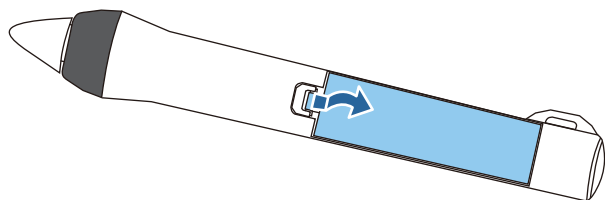
注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛ [「安全にお使いいただくために」](#)

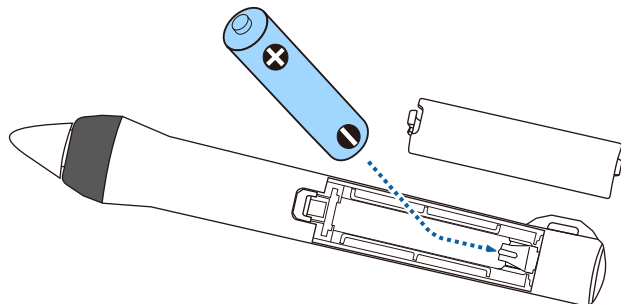
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 新しい電池と交換します。

電池のマイナス側から、スライドするように入れます。

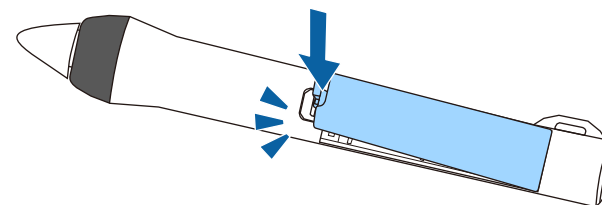


⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

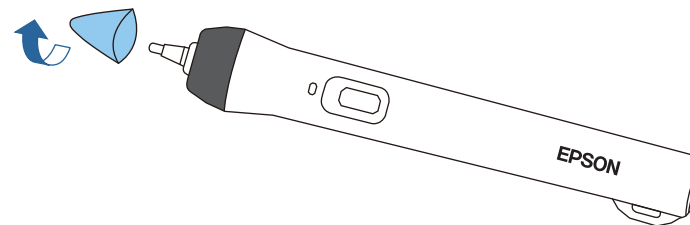


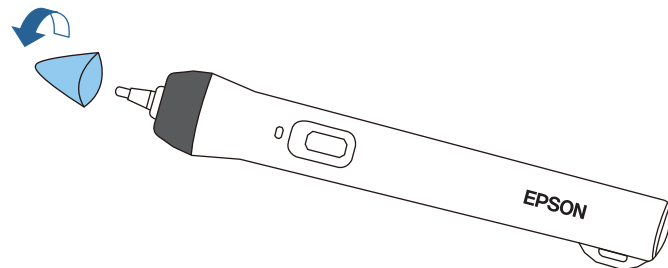
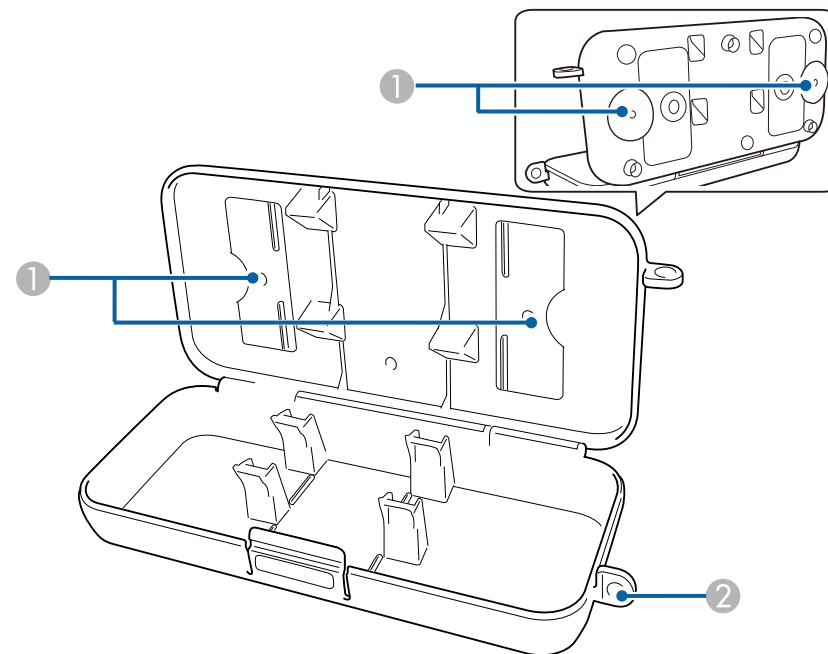
Easy Interactive Penのペン先交換

Easy Interactive Penのペン先がすり減ったら、以下の手順で交換します。

☛ [「オプション」 p.192](#)

1 ペン先を回して外します。



2 新しいペン先を回して取り付けます。**ペントレイ(EB-595WT/EB-590WTのみ)**

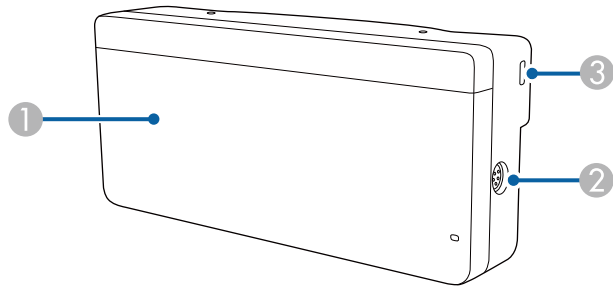
名称		働き
①	固定部	ホワイトボードや壁にペントレイを取り付けるために使います。
②	セキュリティーロック 取り付け穴	市販のロックなどを取り付けることができます。



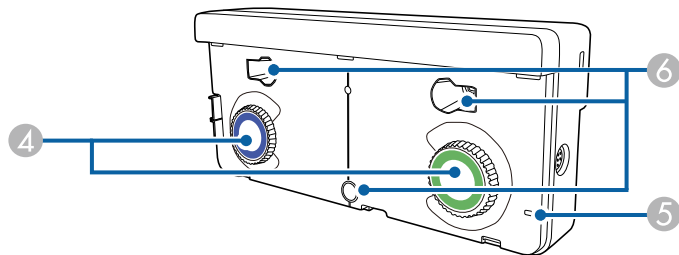
ペントレイは市販のM5ボルト2本で固定することをお奨めします。

タッチユニット(EB-595WTのみ)

前面

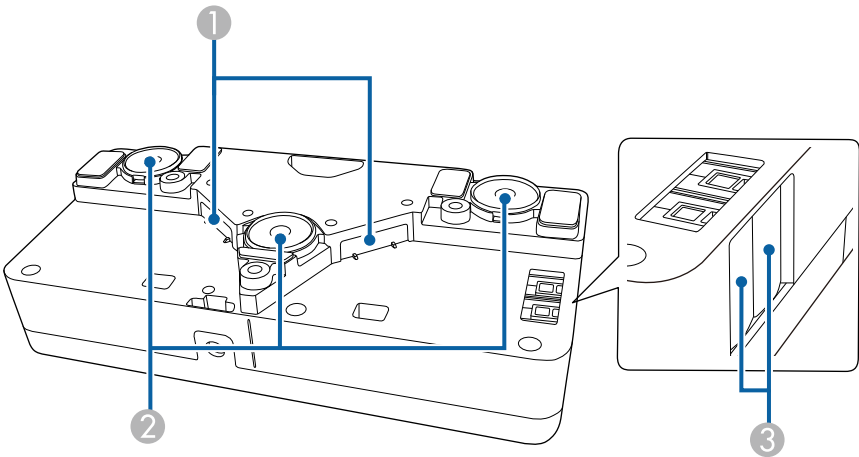


ダイヤルカバー非装着時



名称	働き
① ダイヤルカバー	調整ダイヤルを使うときに取り外します。
② TCH端子	タッチユニットとプロジェクターをタッチユニット接続ケーブルで接続します。
③ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
④ 調整ダイヤル	角度調整を行います。
⑤ インジケーター	タッチユニットの電源がオンになると点灯します。
⑥ ネジ穴(設置用)	タッチユニットを市販のM4ネジで固定するためのネジ穴です(マグネットを使えない設置面に取り付けるときのみ)。

背面



名称	働き
① レーザー照射口	指の位置を検出するためのレーザーが照射されます。
② 設置用マグネット	設置に使うマグネットです。
③ マーカー	角度調整を行うときに、スクリーンに配置します。

警告

- タッチユニットの設置は『設置工事説明書』に記載された方法で行ってください。誤った設置を行うと、強い光で目を痛めるなどの原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。

注意

- 磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。データの破損や故障の原因となる可能性があります。
- マグネットが使える設置面にタッチユニットを設置するときは、マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

注意

- EB-595WT以外の機器にタッチユニットを接続しないでください。機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。
- 必ず同梱のタッチユニット接続ケーブルをお使いください。市販のケーブルでは正しく動作しません。
- タッチユニットを廃棄するときは分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



タッチユニットの設置方法、角度調整方法は『設置工事説明書』をご覧ください。



[『設置工事説明書』](#)



準備

ここでは、本機の設置方法と投写機器の接続方法について説明します。

いろいろな設置方法

本機の設置方法は、次の6種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

本機を設置するときや設置方法を変えるときは、本機の電源をオフにします。設置完了後に、再度電源を入れてください。

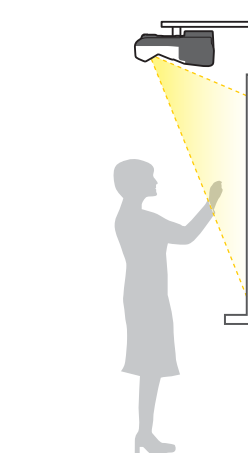
警告

- 壁や天井への取り付け工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの壁掛け金具用プレート固定部・天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
設置や金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

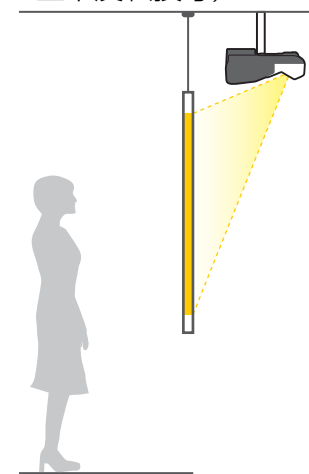


- 凹凸のない平滑なボードタイプのスクリーンの使用をお奨めします。投写面に凹凸があると、投写画面にゆがみが生じることがあります。
- 使用するスクリーンの材質や固定方法により、投写映像にゆがみが生じることがあります。
- 壁掛け・天吊りまたは縦にして設置するときは、必ず設置方法に合わせた専用の器具を使用してください。
☛「オプション」 [p.192](#)
- 設置モードの初期設定は[フロント・上下反転]です。他の設置モードに切り替えるには、環境設定メニューで設定します。
☛ [拡張設定]-[設置モード] [p.140](#)
- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。
[フロント] ↔ [フロント・上下反転]
[リア] ↔ [リア・上下反転]

- 壁掛け・天吊りして正面から投写する(フロント・上下反転投写)



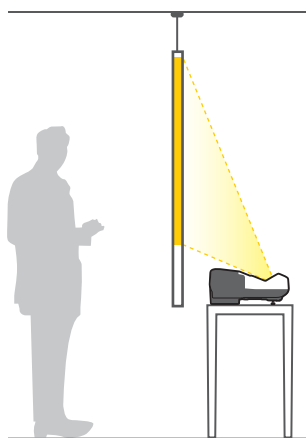
- 壁掛け・天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・上下反転投写)



- 正面から投写する(フロント投写)



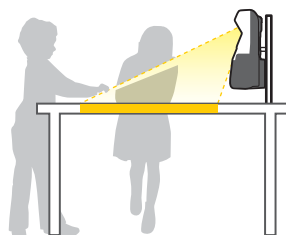
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



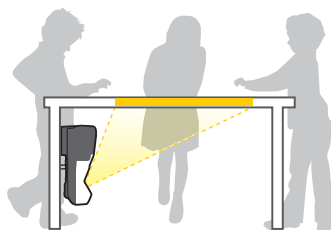
本機を机などに置いて使うときは、フットを取り付けてください。

☛「フットの取り付け(フット同梱機種のみ)」 p.15

- 縦にして正面から投写する(フロント・上下反転投写)



- 縦にしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・上下反転投写)



インタラクティブ機能を使用するとき(EB-595WT/EB-590WTのみ)

インタラクティブ機能を使用するときは、スクリーンの正面から投写します。設置モードを[フロント・上下反転]または[フロント]に設定してください。

注意

インタラクティブ機能は赤外線通信により動作します。設置の際は以下の点にご注意ください。

- Easy Interactive Function受光部、投写画面、本体側面、背面などに、強い光や太陽光が直接当たらないようにしてください。
- 太陽光が直接入るような窓の近くに本機を設置しないでください。インタラクティブ機能の誤動作の原因となります。
- Easy Interactive Function受光部と蛍光灯の距離を離して本機を設置してください。周囲が明るすぎると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。
- Easy Interactive Function受光部にホコリが付着すると、赤外線受信の妨げとなり正常に使用できないことがあります。本機が汚れたら掃除をしてください。
☛「各部の掃除」 p.179
- Easy Interactive Function受光部のカバーには、塗装やシールの貼付けをしないでください。
- インタラクティブ機能を使用するときは、赤外線リモコンや赤外線マイクを同じ室内で使用しないでください。Easy Interactive Penが誤動作することがあります。
- 回転機や変圧器など、強いノイズを発生する機器を本機に近づけないでください。インタラクティブ機能を使用できなくなることがあります。



- インタラクティブ機能を使用するときは、投写画面がゆがみのない長方形になるように設置してください。
- 同じ部屋にプロジェクターを2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するときは、Easy Interactive Penの動作が不安定になることがあります。そのときは、プロジェクター同士をオプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)で接続して、環境設定メニューの[複数台同期]を[有線接続]に変更してください。
 ☛「複数台のプロジェクターを接続する（EB-595WT/EB-590WTのみ）」 [p.43](#)
 ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]- [詳細設定]- [複数台同期] [p.143](#)

タッチユニットの設置(EB-595WTのみ)

タッチユニットを使用するときは、次のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置したときは、タッチユニットは使用できません。

- 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する（オプションのセッティングプレート(ELPMB43)または天吊り金具(ELPMB23)が必要です）
 - 机上に縦置き設置して、机の正面から投写する（オプションのテーブル投写金具(ELPMB29)が必要です）
- ☛ 「オプション」 [p.192](#)

接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① ② オプションのコンピューターケーブルを使用するとき

コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター1またはコンピューター2入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機の音声入力1または音声入力2端子を接続します。

③ 同梱または市販のUSBケーブルを使用するとき

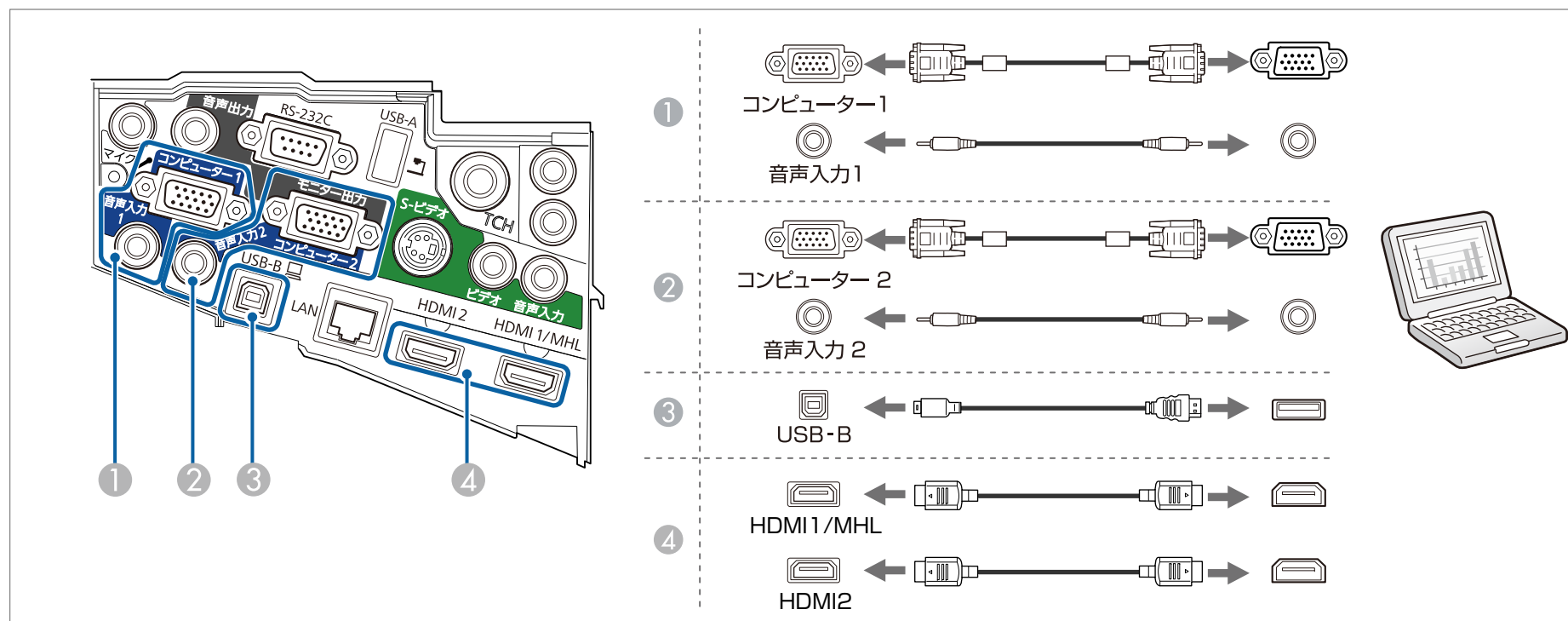
コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も本機から出力されます。

④ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2入力端子を接続します。

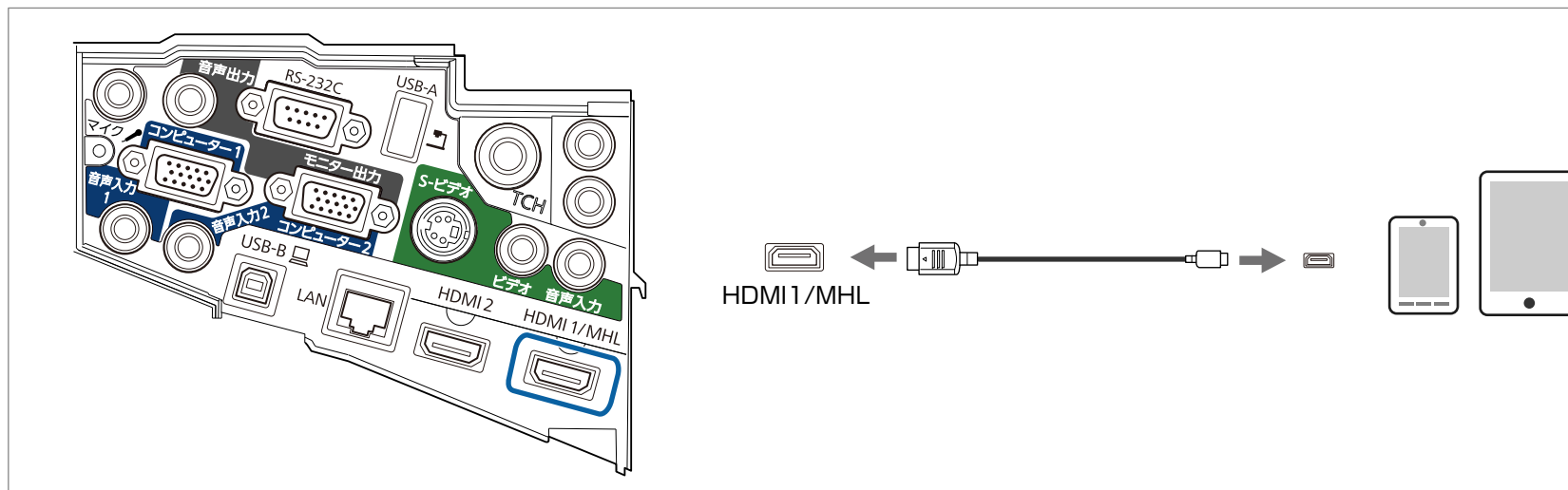
映像の投写と同時に、コンピューターの音声も本機から出力されます。



- 音声入力1端子、音声入力2端子、コンピュータ1入力端子に接続するときは、音声入力1端子、音声入力2端子、コンピュータ1入力端子の順にケーブルを挿すことをお奨めします。
- 音声入力として使用する端子は、環境設定メニューで指定することもできます。
 ④ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[音声出力] p.140
- HDMIケーブルで接続している場合に音声が出力されないときは、市販のオーディオケーブルを音声入力端子に接続してください。接続したら、環境設定メニューの[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力]でケーブルを接続した音声入力端子を選択してください。
 ④ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力] p.140
- 本機は、USBケーブルでコンピュータと接続してコンピュータの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレイと呼びます。
 ④ 「USBディスプレイで投写する」 p.49
- モニター出力/コンピュータ2入力端子にコンピュータを接続して投写するときは、環境設定メニューで[モニター出力端子]を[コンピュータ2]に設定します。
 ④ [拡張設定]-[動作設定]-[モニター出力端子] p.140

スマートフォン/タブレット端末の接続

スマートフォンやタブレット端末を接続できます。市販のMHLケーブルで、端末のMHL端子と本機のHDMI1/MHL入力端子を接続します。映像の投写と同時に音声も転送できます。



スマートフォンやタブレット端末を本機に接続すると、映像の投写と同時に端末の充電も開始します。

注意

- 一部の端末ではMHLケーブルを使った接続ができない場合があります。
- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。MHLの規格に対応していないケーブルで接続すると、スマートフォンやタブレット端末の発熱や液もれ、破裂などの原因になることがあります。
- 市販のMHL-HDMI変換アダプターを使用して接続すると、スマートフォンやタブレット端末の充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。



- 映像がうまく投写できないときは、MHLケーブルを抜き差ししてください。
- スマートフォンやタブレット端末の機種や設定によっては正しく投写できないことがあります。

映像機器の接続

DVDプレーヤーやVHSビデオなどの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① 市販のビデオケーブルを使用するとき

映像機器のビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力端子を接続します。

② 市販のs-ビデオケーブルを使用するとき

映像機器のs-ビデオ出力端子と本機のs-ビデオ入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力端子を接続します。

③ ④ オプションのコンポーネントビデオケーブルを使用するとき

☛「オプション・消耗品一覧」[p.192](#)

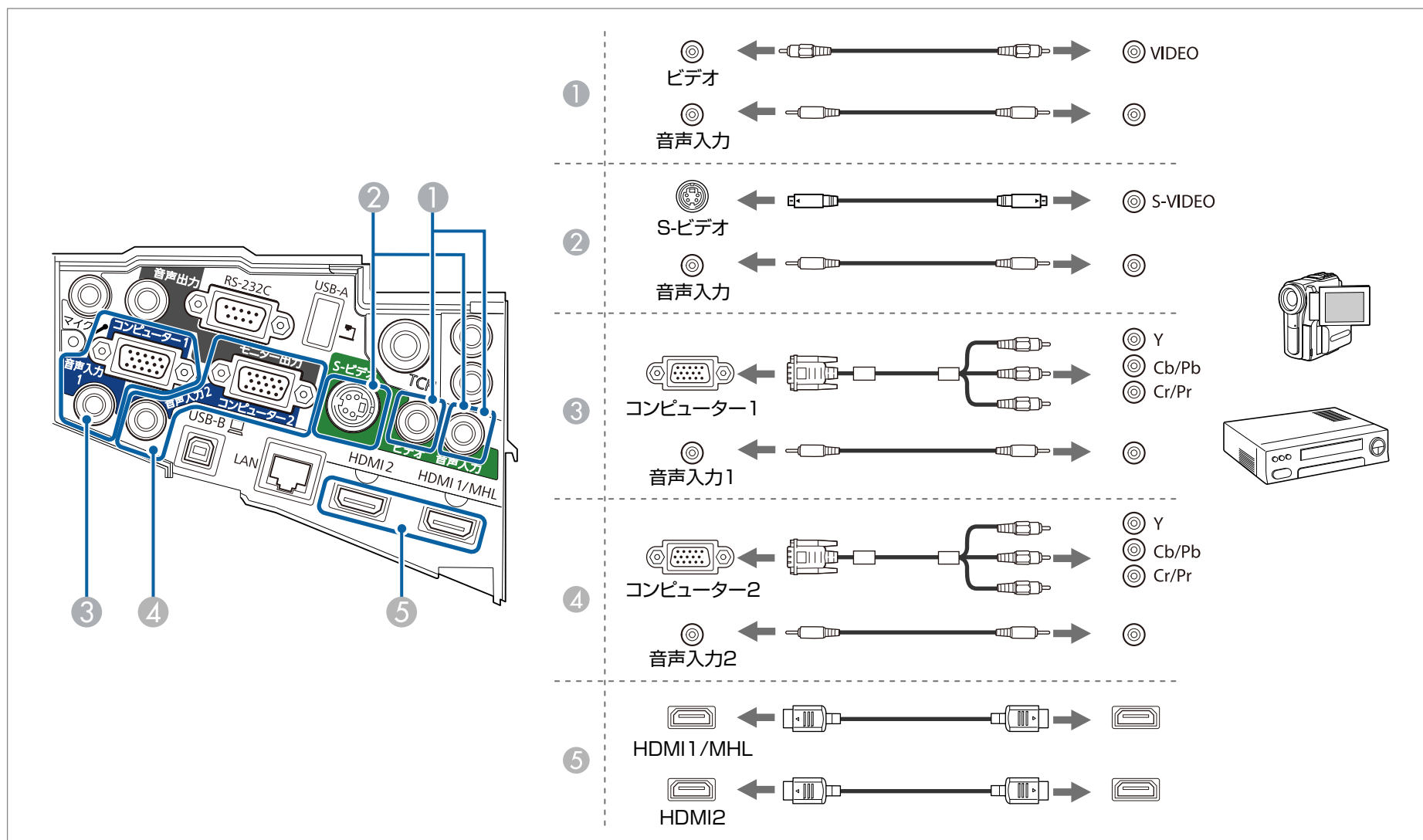
映像機器のコンポーネント出力端子と本機のコンピューター1またはコンピューター2入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力1または音声入力2端子を接続します。

⑤ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

映像機器のHDMI端子と本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、映像機器の音声も本機から出力されます。



注意

- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

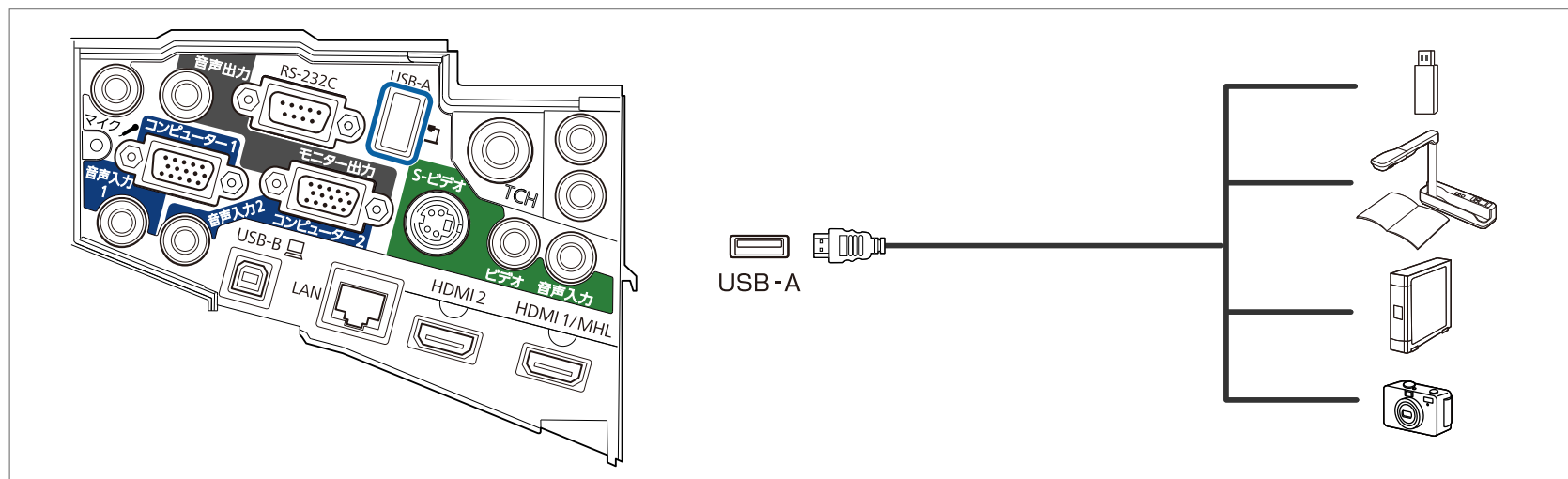


- 音声入力として使用する端子は、環境設定メニューで指定することもできます。
☛ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[音声出力] [p.140](#)
- モニター出力/コンピューター2入力端子に映像機器を接続して投写するときは、環境設定メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。
☛ [拡張設定]-[動作設定]-[モニター出力端子] [p.140](#)
- HDMIケーブルで接続している場合に音声が出力されないときは、市販のオーディオケーブルを音声入力端子に接続してください。接続したら、環境設定メニューの[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力]でケーブルを接続した音声入力端子を選択してください。
☛ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力] [p.140](#)
- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

USB機器の接続

USBメモリー、オプションの書画カメラ、USB対応のハードディスクやデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB-A端子を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをPC Freeで再生します。

☛ 「USBストレージの画像を投写する（PC Free）」 [p.101](#)

他の入力端子からの映像を投写中に書画カメラを接続したときは、リモコンの【USB】ボタンを押すか、操作パネルの【入力検出】ボタンを押して、投写映像を書画カメラの画像に切り替えます。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.47](#)



USB機器からの映像を投写中に音声出力機器を接続するときは音声入力2端子に接続してください。

注意

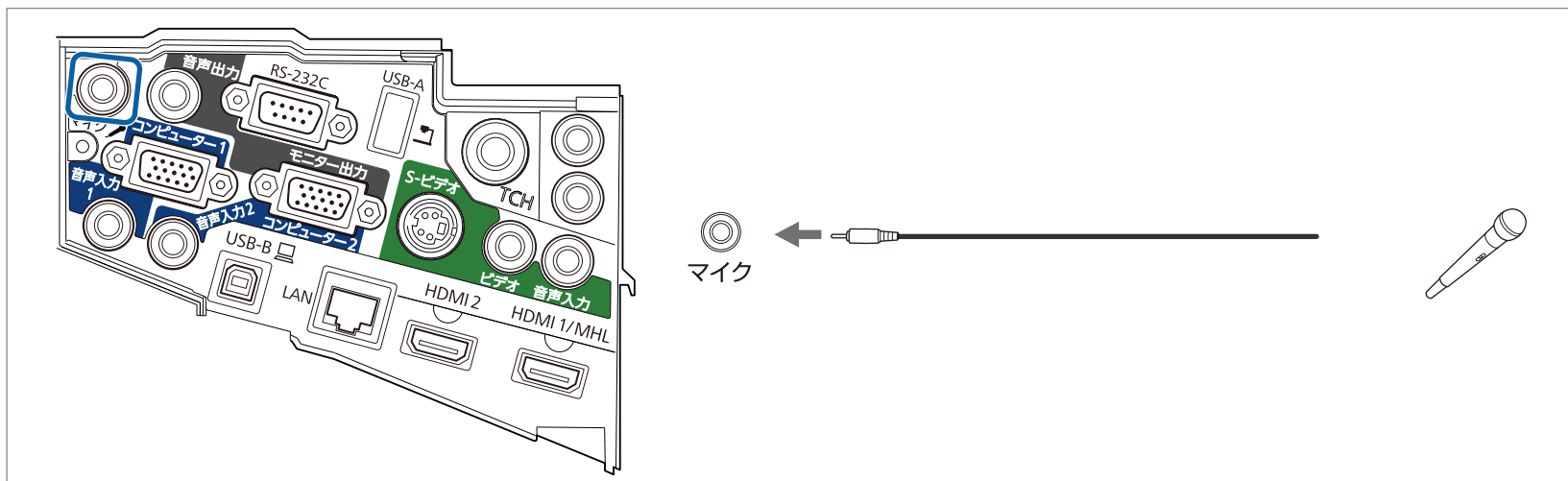
- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱または指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、PC Freeが正しく動作しないことがあります。

USB機器の取り外し方

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

マイクの接続

市販のダイナミックマイクを接続して、本機のスピーカーからマイクの音声を出力できます。



- プラグインパワー方式には対応していません。
- マイクの音声が小さくて聞き取りにくいときや、マイクの音声が大きすぎて割れてしまうときは、[マイク入力レベル]を調整します。
 ➡ [設定]-[マイク入力レベル] [p.138](#)
- 本機の電源がオフのときに、マイクの音声を出力するときは以下の設定をします。
 - ・ [待機モード]を[通信オン]にする。
 - ・ [A/V出力]を[常時]にする。
 ➡ [節電]-[待機モード] [p.152](#)
 ➡ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[A/V出力] [p.140](#)

外部機器の接続

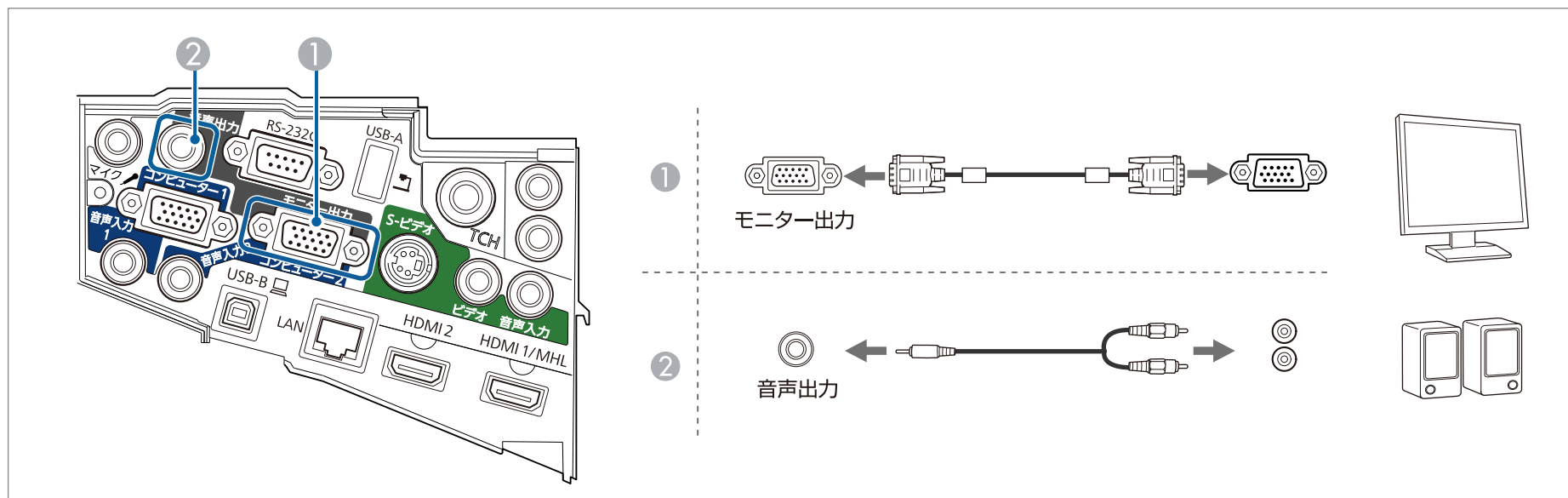
外部モニターやスピーカーを接続すると、映像や音声を外部に出力できます。

① 映像を外部モニターに出力するとき

外部モニターに付属のケーブルで、外部モニターと本機のモニター出力端子を接続します。

② 音声を外部スピーカーに出力するとき

市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機の音声出力端子を接続します。

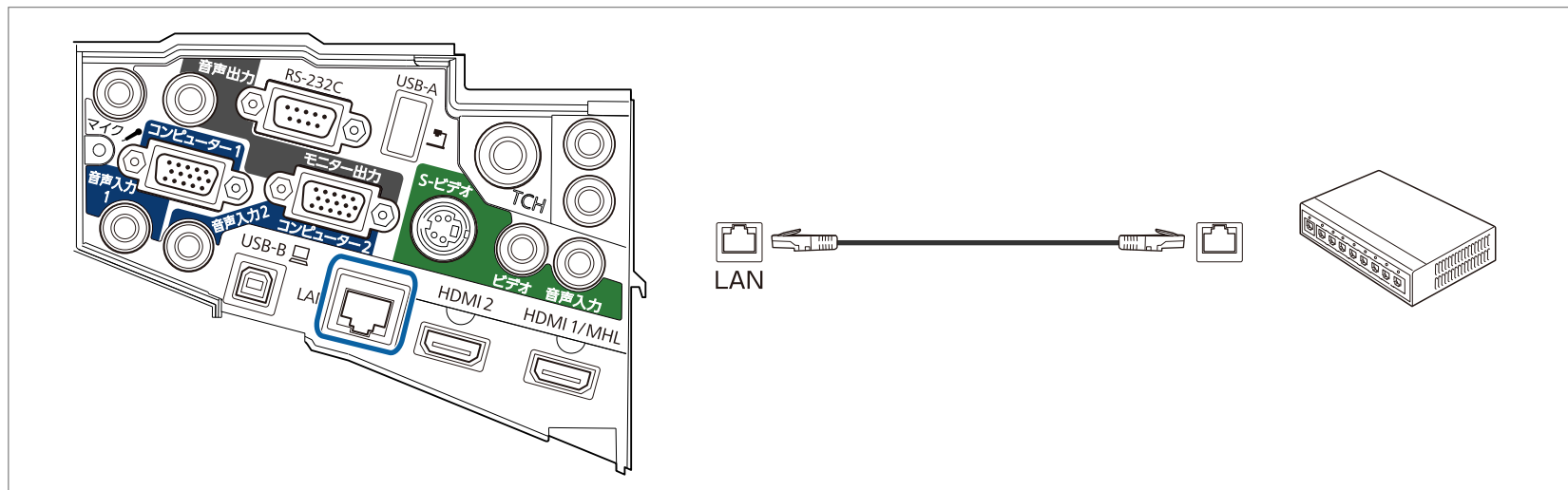




- 映像を外部モニターに出力するときは、環境設定メニューで[モニター出力端子]を[モニター出力]に設定します。
☛ [拡張設定]-[動作設定]-[モニター出力端子] [p.140](#)
- [待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機の電源がオフのときでも以下の操作ができます([A/V出力]を[常時]にしたときのみ)。
 - ・映像を外部モニターに出力する
 - ・外部に接続したスピーカーから音声を出力する(USB-B、LAN端子から入力される音声は出力できません)
- ☛ [節電]-[待機モード] [p.152](#)
- ☛ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[A/V出力] [p.140](#)
- 外部モニターに出力できるのは、コンピューター1入力端子から入力しているアナログRGB信号のみです。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー、ヘルプは外部モニターに出力されません。
- インタラクティブ機能で描画した内容は外部モニターに表示されません(EB-595WT/EB-590WTのみ)。同梱のEasy Interactive Toolsを使用して描画した内容は外部モニターに表示できます。
- 音声出力端子にオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり、本機の内蔵スピーカーからは音声がなくなります。

LANケーブルの接続

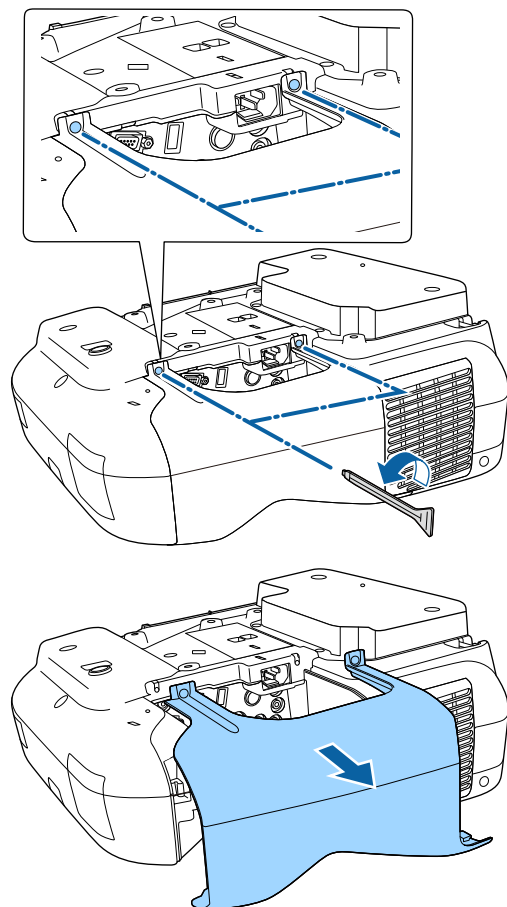
市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。
コンピュータとプロジェクターをネットワーク経由で接続して、映像を投写したりプロジェクターの状態を確認したりできます。



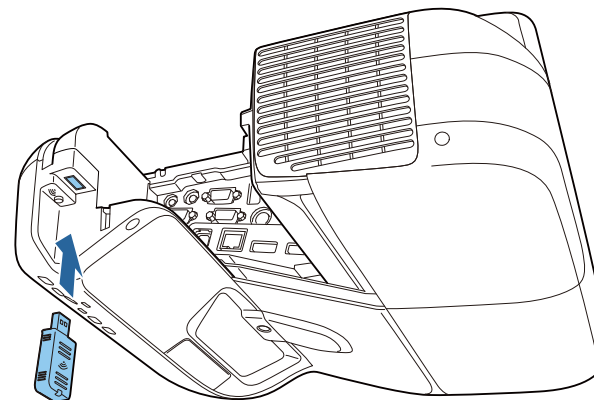
誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリ5以上のシールド付きをお使いください。

無線LANユニット(オプション品)の取り付け

- 1** ケーブルカバー固定ネジ2本を外し、ケーブルカバーを開けます。

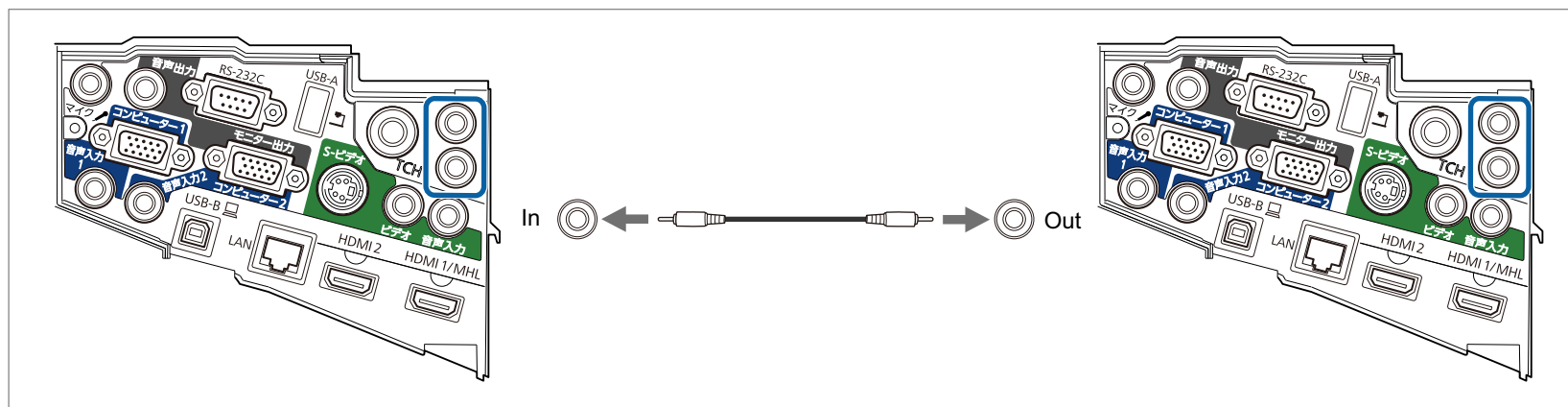


- 2** 無線LANユニット装着部に無線LANユニットを取り付けます。



複数台のプロジェクターを接続する(EB-595WT/EB-590WTのみ)

同じ部屋に本機を2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するときに、オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)で各プロジェクターのSYNC端子を直列に接続します。プロジェクター同士をケーブルで接続すると、Easy Interactive Penの動作が安定します。



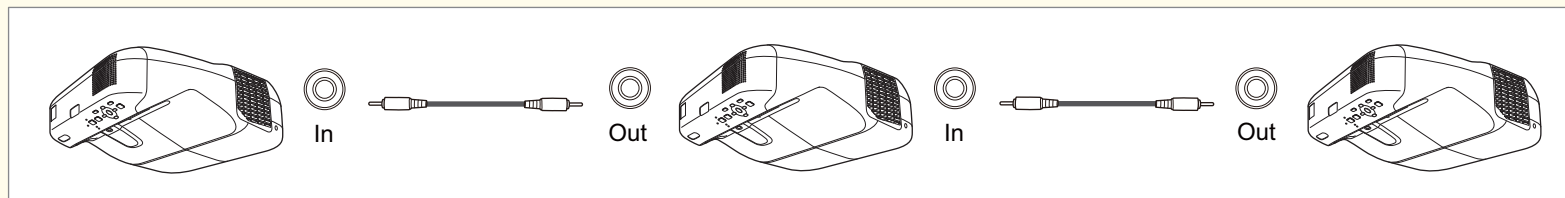
SYNC端子にはINとOUTの2種類があります。ワイヤードリモコンケーブルの一方の端子をINに接続したときは、もう一方の端子をOUTに接続してください。

接続後、環境設定メニューで[複数台同期]を[有線接続]に設定してください。

☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[複数台同期] [p.143](#)



- 3台以上のプロジェクターを接続するときは、1台目のプロジェクターと最後のプロジェクターを接続する必要はありません。



- 有線接続に対応していないプロジェクターと本機を同じ部屋で使用するときは、環境設定メニューの[有線接続同期モード]を[モード2]に設定してください。
 ➡ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[有線接続同期モード] [p.143](#)
- オプションのワイヤードリモコンケーブルをお持ちでない方は、環境設定メニューの[複数台設置距離]の設定を変更してみてください。
 ➡ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[複数台設置距離] [p.143](#)



基本的な使い方

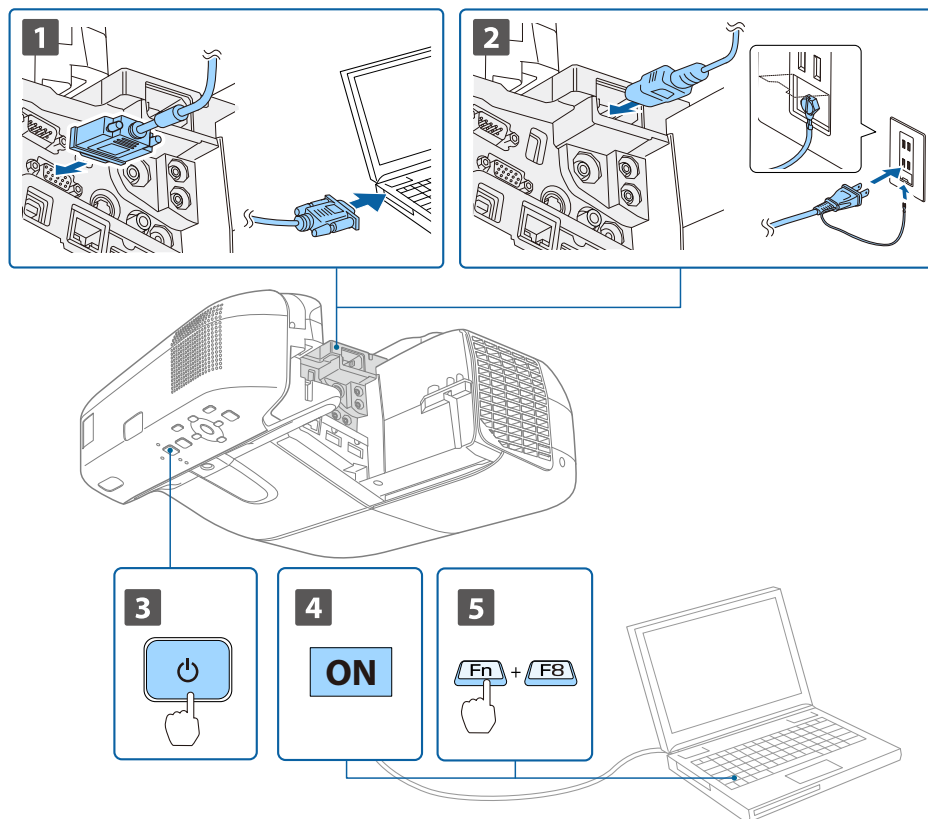
ここでは、映像の投写方法と映像補正方法について説明しています。

投写までの流れ

コンピューターをコンピューターケーブルで接続して、映像を投写する手順を説明します。

⚠ 注意

接続機器のケーブルを本機に接続してから、本機の電源コードを接続してください。



1 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

2 本機とコンセントを電源コードで接続します。

⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

3 本機の電源を入れます。

⚠ 警告

電源を入れるときは、絶対に投写レンズをのぞかないでください。強い光で目を痛めるなどの原因となります。本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。

小さなお子様のいる場所では特に注意してください。

4 コンピューターの電源を入れます。

5 コンピューターの画面出力先を切り替えます。

ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューター側の画面出力切り替えが必要です。

Fnキー(ファンクションキー)を押したまま⬇/⬆キーを押します。



- 使用するコンピューターにより、切り替え方法が異なります。コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- 本機の電源を切るときは、【⏻】電源ボタンを2回押してください。

映像が投写されないときは、以下の方法で投写する映像を切り替えます。

- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。
☞ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.47](#)
- リモコンから目的の入力端子のボタンを押します。
☞ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 [p.48](#)



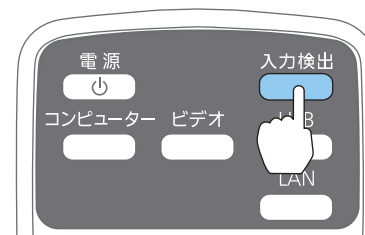
映像が正常に投写されたら、必要に応じて投写映像を補正してください。

- ☞ 「台形ゆがみを補正する」 [p.53](#)
- ☞ 「ピントのズレを補正する」 [p.60](#)

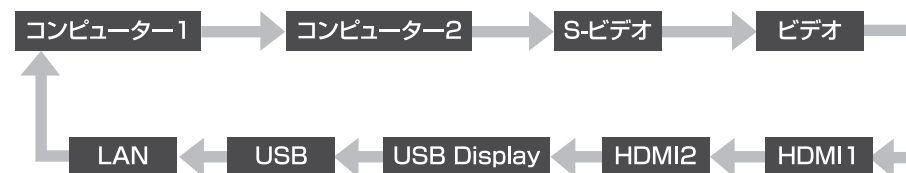
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

【入力検出】ボタンを押して、映像信号が入力されている入力端子の映像を投写します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで【入力検出】ボタンを繰り返し押します。

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。



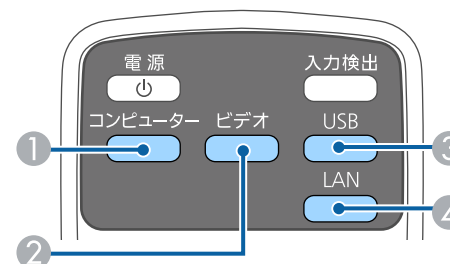
- 本機を起動したときに、前回と同じ入力端子からの映像を投写するよう設定できます。
- ☞ [拡張設定]-[動作設定]-[起動時入力検出] [p.140](#)
- 映像信号がなにも入力されていないときは、以下の画面が表示されます。



リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

リモコン



- ① 押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。
 - コンピューター1入力端子
 - コンピューター2入力端子
- ② 押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。
 - S-ビデオ入力端子
 - ビデオ入力端子
 - HDMI1/MHL入力端子
 - HDMI2入力端子
- ③ 押すたびに、以下の映像に切り替えます。
 - USBディスプレイ
 - USB-A端子に接続した機器からの映像
- ④ ネットワークで接続している機器からの映像に切り替えます。

USBディスプレイで投写する

本機は、同梱または市販のUSBケーブルでコンピュータと接続してコンピュータの映像を投写できます。

映像の投写と同時に、コンピュータの音声も転送できます。

EB-595WT/EB-590WTでUSBディスプレイを実行するときは、[USB Type B]を[USB Display/Easy Interactive Function]または[ワイヤレスマウス/USB Display]に設定します。

☛ [拡張設定]-[USB Type B] [p.140](#)

動作環境

Windowsの場合

OS	Windows 2000※1	
	Windows XP	Professional 32ビット Home Edition 32ビット Tablet PC Edition 32ビット
	Windows Vista	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット
	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット Starter 32ビット

	Windows 8	Windows 8 32/64ビット Windows 8 Pro 32/64ビット Windows 8 Enterprise 32/64ビット
	Windows 8.1	Windows 8.1 32/64ビット Windows 8.1 Pro 32/64ビット Windows 8.1 Enterprise 32/64ビット
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上	
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上	
ハードディスク空き容量	20MB以上	
ディスプレイ	640x480 以上、1600x1200 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色	

※1 Service Pack 4のみ

OS Xの場合

OS	Mac OS X 10.5.x 32ビット Mac OS X 10.6.x 32/64ビット OS X 10.7.x 32/64ビット OS X 10.8.x OS X 10.9.x	
CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：Core Duo 1.83GHz以上	
メモリー容量	512MB以上	
ハードディスク空き容量	20MB以上	
ディスプレイ	640x480以上、1680x1200以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色	

初めて接続したとき

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとOS Xで手順が異なります。



- 次回接続時はドライバーのインストールは不要です。
- 他の入力端子からの映像を投写しているときは、入力ソースをUSB Displayに切り替えます。
- USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機に接続してください。
- USBディスプレイを起動しているときは、オプション設定を変更できません。

Windowsの場合

- 1 同梱または市販のUSBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。



Windows 2000またはWindows XPの場合、再起動の確認メッセージが表示されることがあります。[いいえ]を選択します。

Windows 2000の場合

[コンピュータ] - [EPSON PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。

Windows XPの場合

自動的にドライバーのインストールが開始します。

Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1の場合

ダイアログが表示されたら、[EMP_UDSE.EXEの実行]をクリックします。

- 2 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

- 3 コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

- 4 終了するときはUSBケーブルを取り外します。

USBケーブルを取り外すときは、[ハードウェアの安全な取り外し]は必要ありません。



- 自動的にインストールされないときにはコンピューターで[マイコンピュータ] - [EPSON PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。
- 万一、投写されないときにはコンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Ver.x.xx]の順にクリックします。
- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。
詳細は、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。
☞ [『お問い合わせ先』](#)

OS Xの場合

- 1 同梱または市販のUSBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。

FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。

- 2 [USB Display Installer]アイコンをダブルクリックします。

- 3 画面の指示に従って、インストールを進めます。

- 4 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。
管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。
インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディスプレイのアイコンが表示されます。
- 5 コンピューターの映像が投写されます。
コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。
- 6 終了するときは、メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後にUSBケーブルを取り外します。



- FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピューターで[EPSON PJ_UD] - [USB Display Installer]の順にダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの[USB Display]アイコンをクリックします。
- Dockに[USB Display]アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- Dockの[USB Display]アイコンから[終了]を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレイが自動起動しなくなります。

アンインストール

Windows 2000の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。

- 2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4 [Epson USB Display]を選択して、[変更/削除]をクリックします。

Windows XPの場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [Epson USB Display]を選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3 [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1の場合

- 1 チャームを表示して、[検索]を選択します。[Epson USB Display Ver.x.xx]を右クリック(長押し)します。
- 2 アプリバーから[アンインストール]を選択します。
- 3 [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

- 4 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

OS Xの場合

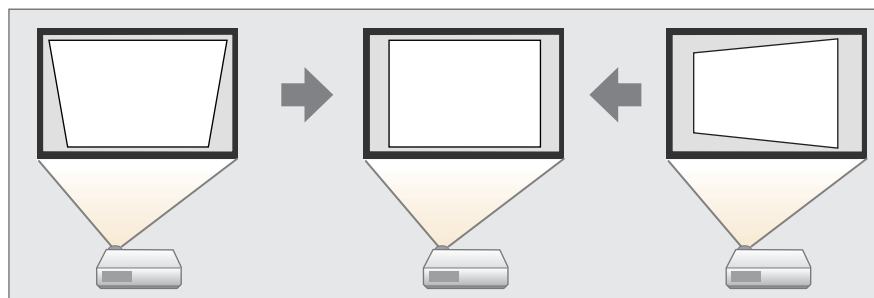
- 1 [アプリケーション] - [USB Display] - [Tool]の順にダブルクリックします。
- 2 [USB Display Uninstaller]を実行します。

台形ゆがみを補正する

投写映像の台形ゆがみを補正するには、以下の方法があります。

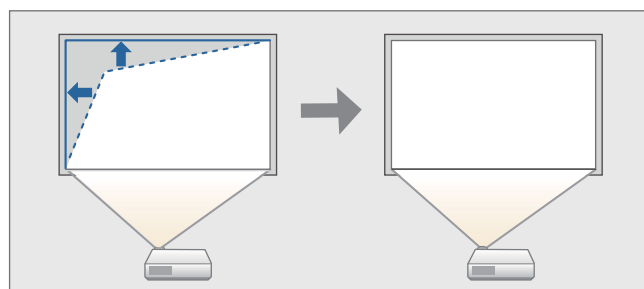
- タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。



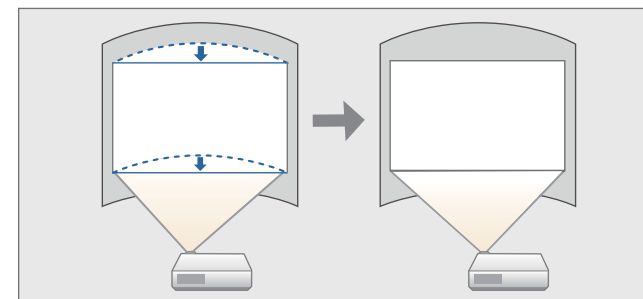
- Quick Corner

4つのコーナーを個別に補正します。



- 湾曲補正 (EB-590WTのみ)

湾曲したスクリーンに投写したときに生じるゆがみを補正します。



- 複数の補正方法を組み合わせて使用することはできません。
- 台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。



タテヨコ補正

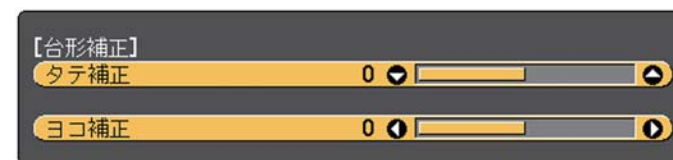
タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。タテヨコ補正は台形ゆがみの微調整に向いています。

タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：左右約3°/上下約3°

1

投写中に操作パネルの【】または【】ボタンを押して、台形補正画面を表示します。

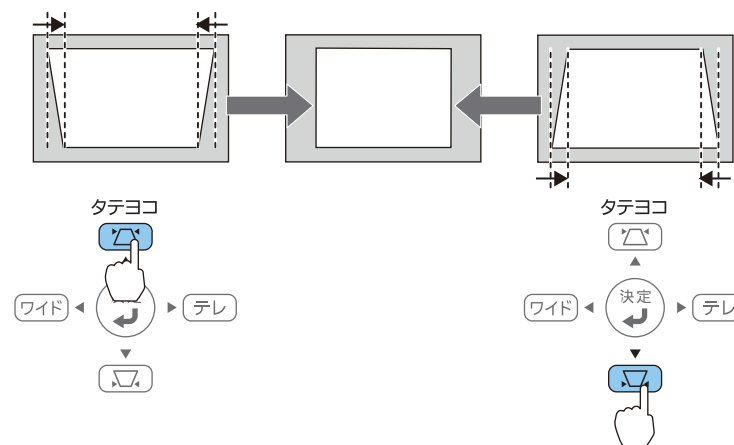




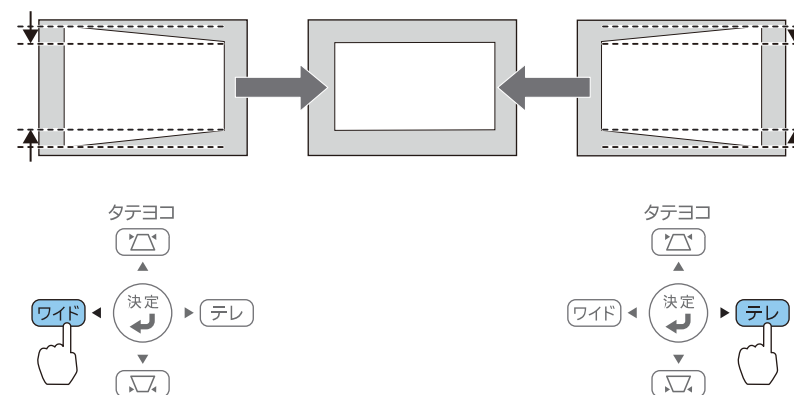
操作パネルの【凸】【凹】ボタンを押すと、環境設定メニューで設定している補正方法の画面が表示されます。【凸】【凹】ボタンを押したときにタテヨコ補正をしたいときは、環境設定メニューの[台形補正]または[幾何学歪み補正]を[タテヨコ]に設定してください。

☞ [設定]-[台形補正]または[幾何学歪み補正] [p.138](#)

2 以下のボタンを押して、台形ゆがみを補正します。
タテ補正は【凸】【凹】ボタンを押します。



ヨコ補正は【ワイド】【テレ】ボタンを押します。



タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。

☞ [設定]-[台形補正]または[幾何学歪み補正]-[タテヨコ] [p.138](#)

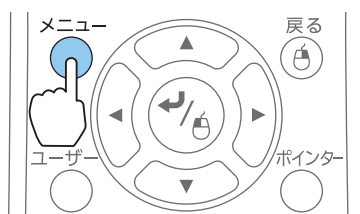
Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

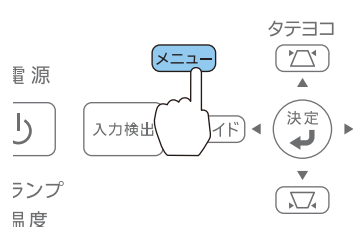
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

「環境設定メニューの操作」 p.132

リモコンの場合

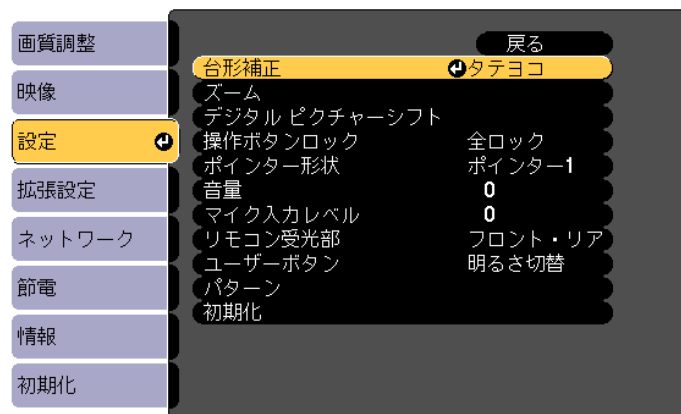


操作パネルの場合



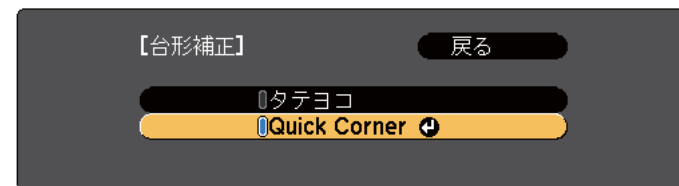
2 【設定】から【台形補正】を選択します。

EB-590WTをお使いのときは、【幾何学歪み補正】を選択します。



3 【Quick Corner】を選択し【決定】ボタンを押します。

「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、もう一度【決定】ボタンを押します。



4 補正するコーナーをリモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンで選択して、【決定】ボタンを押します。



- 5** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンでコーナーの位置を補正します。
【決定】ボタンを押すと、手順4の画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



- 6** 手順4と5を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。
- 7** 【メニュー】ボタンを押して補正を終了します。



- 手順4のコーナーを選択する画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



【Quick Corner初期化】：Quick Cornerで補正した結果を初期化します。

【タテヨコへ切替】：補正方法を【タテヨコ】に切り替えます。

☞「設定メニュー」 p.138

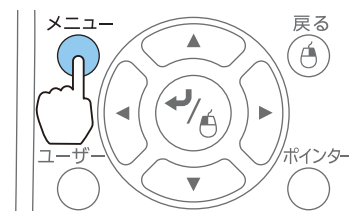
- EB-590WTをお使いのときは、手順4のコーナーを選択する画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。Quick Cornerで補正した結果を初期化する場合は【はい】を選択してください。

湾曲補正(EB-590WTのみ)

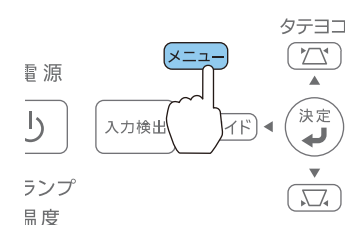
湾曲したスクリーンに合わせて投写映像を補正します。

- 1** 投写中に【メニュー】ボタンを押します。
☞「環境設定メニュー」 p.131

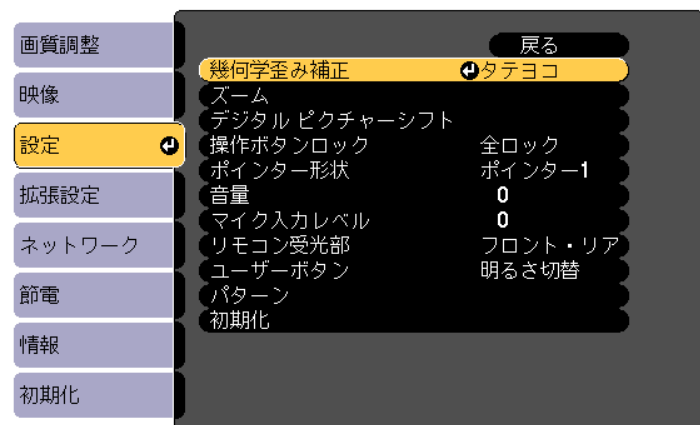
リモコンの場合



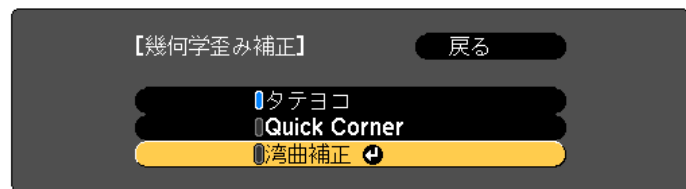
操作パネルの場合



- 2** 【設定】から【幾何学歪み補正】を選択します。



- 3** [湾曲補正]を選択し、【決定】ボタンを押します。
「補正方法が変更されます。画面の形状が大きく変わることがあります。」と表示されたときは、もう一度【決定】ボタンを押します。



- 4** リモコンの【】【】【】【】ボタンまたは操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンで補正する辺を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 5** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンで辺の位置を補正します。
【決定】ボタンを押すと、手順4の画面が表示されます。
補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



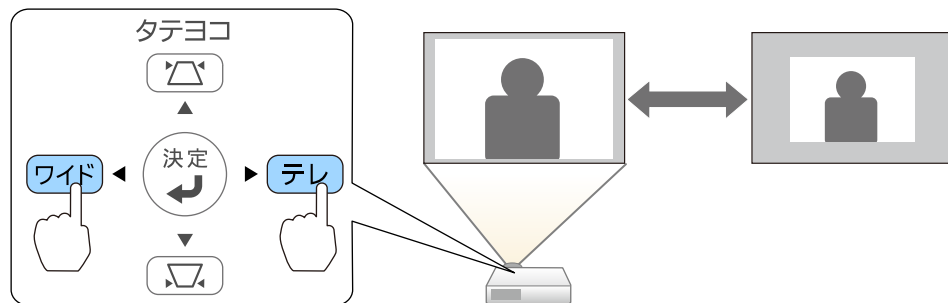
- 6** 手順4と5を繰り返して、補正が必要な辺をすべて補正します。
7 【メニュー】ボタンを押して補正を終了します。



手順4の選択画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、初期化実行確認画面が表示されます。湾曲補正で補正した結果を初期化する場合[はい]を選択してください。

映像のサイズを調整する

操作パネルの【ワイド】【テレ】ボタンを押して、投写映像のサイズを調整します。

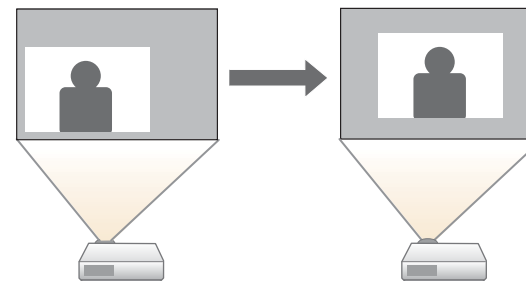


環境設定メニューからも調整できます。

☞ [設定]-[ズーム] [p.138](#)

映像の位置を調整する(デジタル ピクチャーシフト)

本機を動かさずに映像の投写位置を微調整できます。



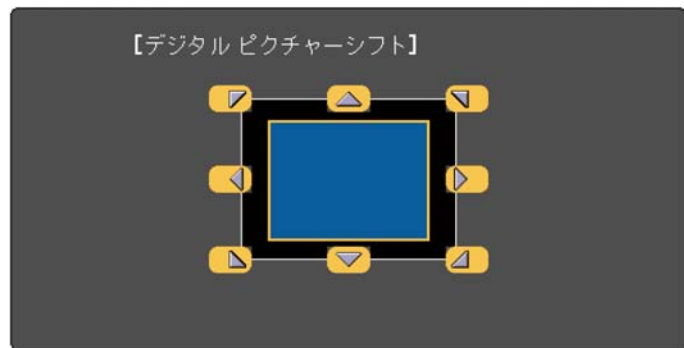
1 ズーム調整または台形補正を行います。

☞ 「映像のサイズを調整する」 [p.58](#)

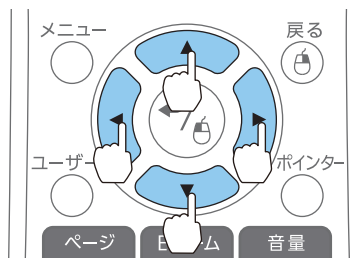
☞ 「台形ゆがみを補正する」 [p.53](#)

調整終了後にデジタル ピクチャーシフト調整画面が表示されます。

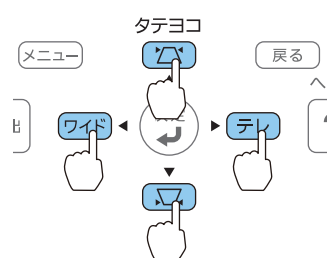
- 2** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンで、投写位置を調整します。



リモコンの場合



操作パネルの場合



リモコンまたは操作パネルの隣り合うボタン(【】【】【】【】ボタン、【】【】【ワイド】【テレ】ボタン)を組み合わせて押すと、斜め方向にも移動することができます。

- 3** 【戻る】ボタンを押して調整画面を終了します。
何も操作しないと、約10秒後に自動的に調整画面が消えます。



- ズームを[ワイド]側に最大にしているときは投写位置を調整できません。
- デジタル ピクチャーシフトの設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。
- 環境設定メニューからも映像の位置を調整できます。
☛【設定】-【デジタル ピクチャーシフト】 [p.138](#)

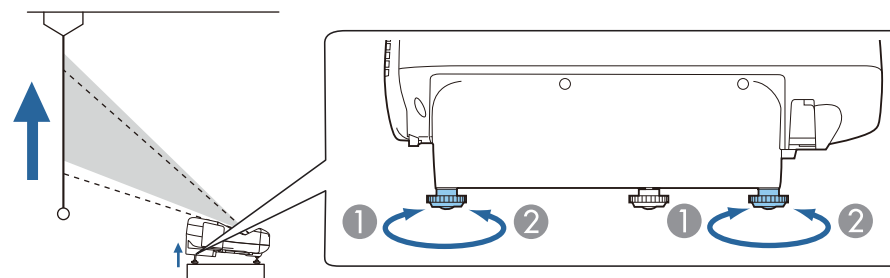
映像の高さを調整する(フット同梱機種のみ)

フットを伸縮します。1.5°まで傾けて、映像の高さを調整できます。



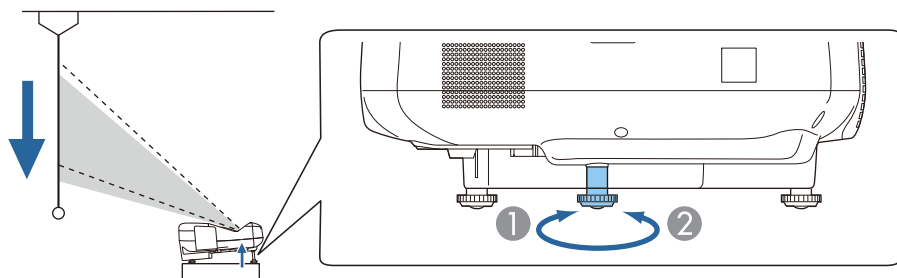
傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

映像の高さを上げる



- ① リアフットを伸ばすと、映像の高さが上がります。
- ② リアフットを縮めると、映像の高さが元に戻ります。

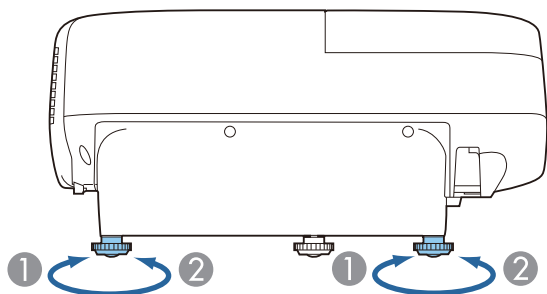
映像の高さを下げる



- ① フロントフットを伸ばすと、映像の高さが下がります。
- ② フロントフットを縮めると、映像の高さが元に戻ります。

水平傾斜を調整する(フット同梱機種のみ)

リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。



- ① リアフットを伸ばします。
- ② リアフットを縮めます。

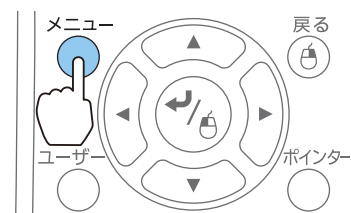
ピントのズレを補正する

テストパターンを表示してピントのズレを補正します。

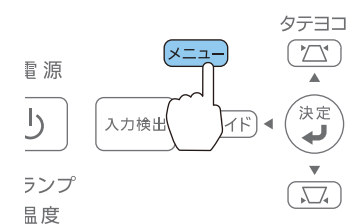
1 【メニュー】ボタンを押します。

「環境設定メニューの操作」 [p.132](#)

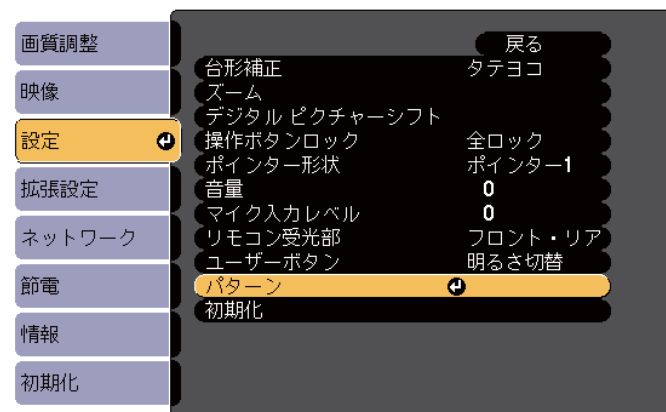
リモコンの場合



操作パネルの場合

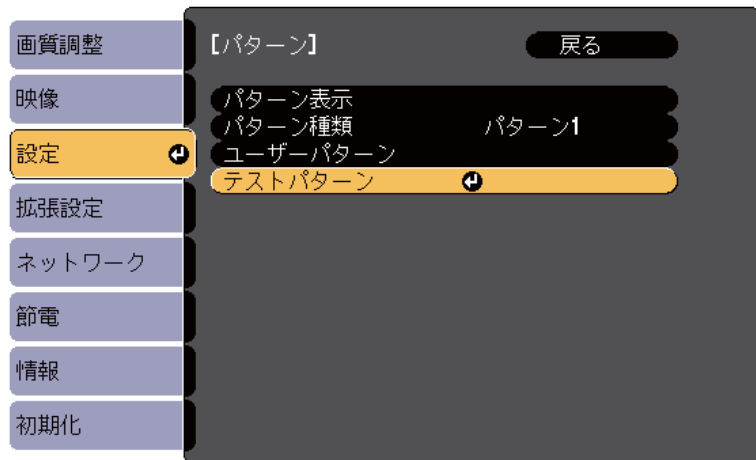


2 【設定】から【パターン】を選択します。

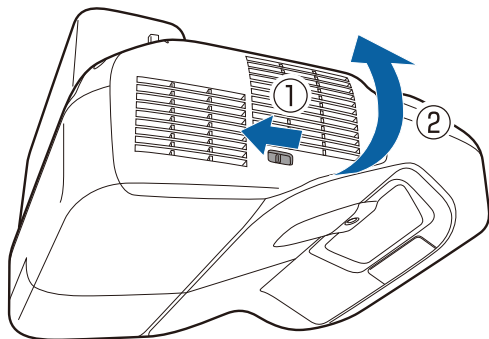


3 【テストパターン】を選択し【決定】ボタンを押します。

EB-595WT/585Wを使って4：3のスクリーンに投写しているときは、[パターン種類]を[パターン5]に設定してから、[パターン表示]を選択してください。

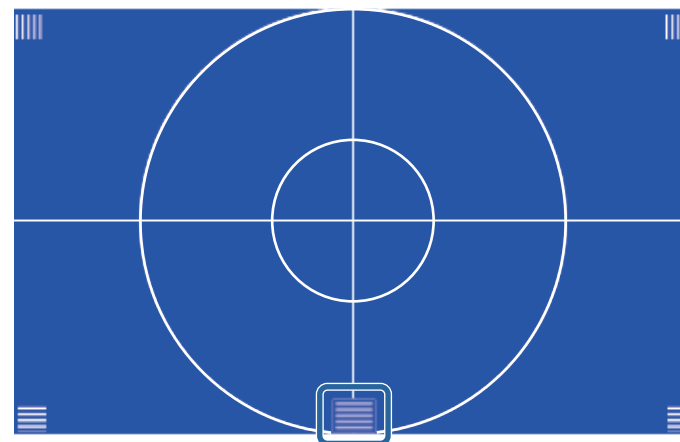
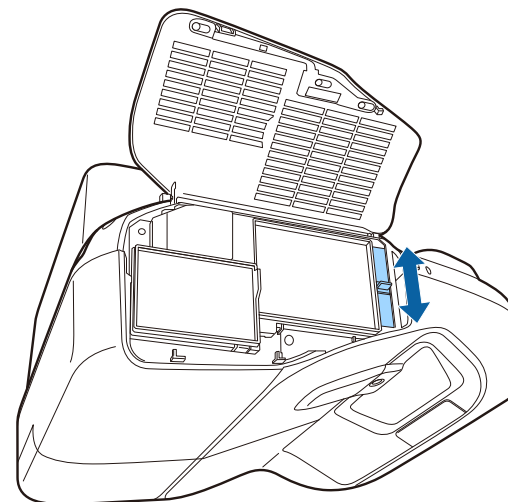



4 エアフィルターカバーを開けます。

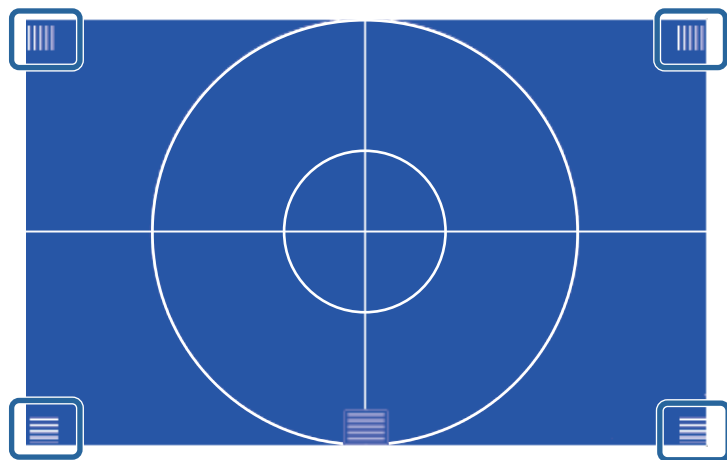
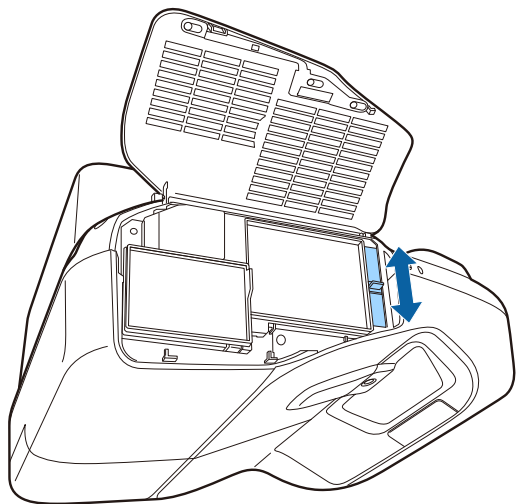


5 投写画面下側の中央()のピントを合わせます。

フォーカスレバーでピントを合わせます。



- 6** 投写画面の四隅()のピントが合っていることを確認します。
ピントが合っていない箇所があるときは、四隅のピントが均一になるようにフォーカスレバーで調整します。



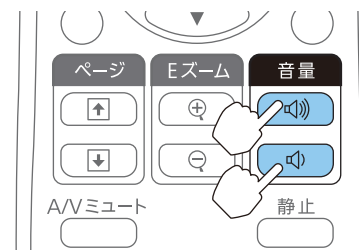
- 7** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、テストパターンの表示を消します。

音量を調整する

音量を調整するには、以下の方法があります。

- リモコンの【音量】ボタンを押して調整する。
【🔊】音量を下げます。
【🔊】音量を上げます。

リモコン



- 環境設定メニューから調整する。
🖱️ [設定]-[音量] [p.138](#)

⚠️ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

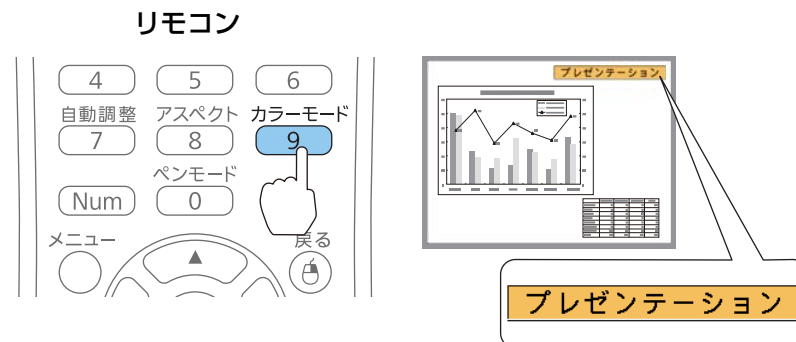
投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。1番明るいモードです。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGB▶に準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。

※1 RGB信号入力時と入力ソースがUSB Display/USB/LANのときのみ選択できます。

※2 コンポーネントビデオ信号入力時と、入力ソースがビデオ/S-ビデオのときのみ選択できます。

【カラーモード】ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。



カラーモードは環境設定メニューからも設定できます。

☞【画質調整】-【カラーモード】 p.135

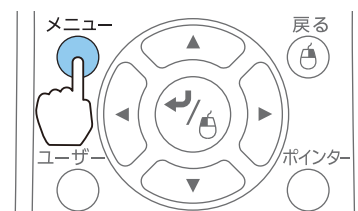
オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

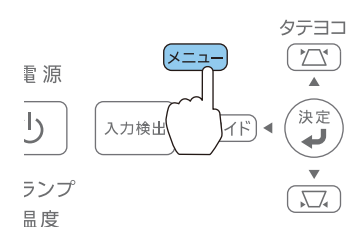
1 【メニュー】ボタンを押します。

☞「環境設定メニューの操作」 p.132

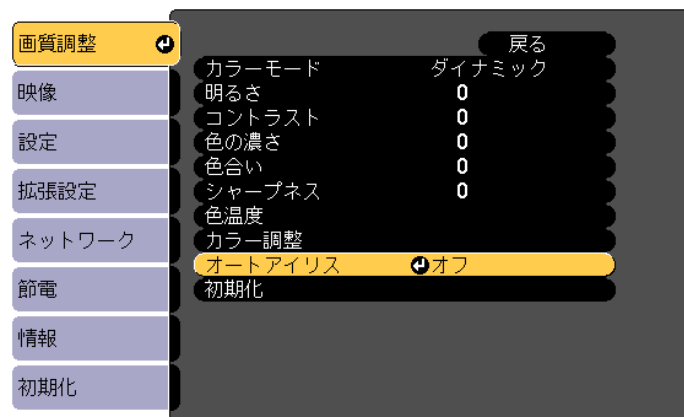
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【画質調整】から【オートアイリス】を選びます。



3 【標準】または【高速】を選択します。 設定値はカラーモードごとに保存されます。

4 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。



【カラーモード】が【ダイナミック】または【シアター】に設定されているときのみ、【オートアイリス】の設定ができます。

投写映像のアスペクト比を切り替える

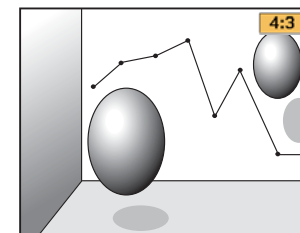
入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像の[アスペクト比](#)を切り替えます。

投写している映像の種類により、選択できるアスペクトモードは異なります。

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコン



アスペクト比は環境設定メニューからも設定できます。

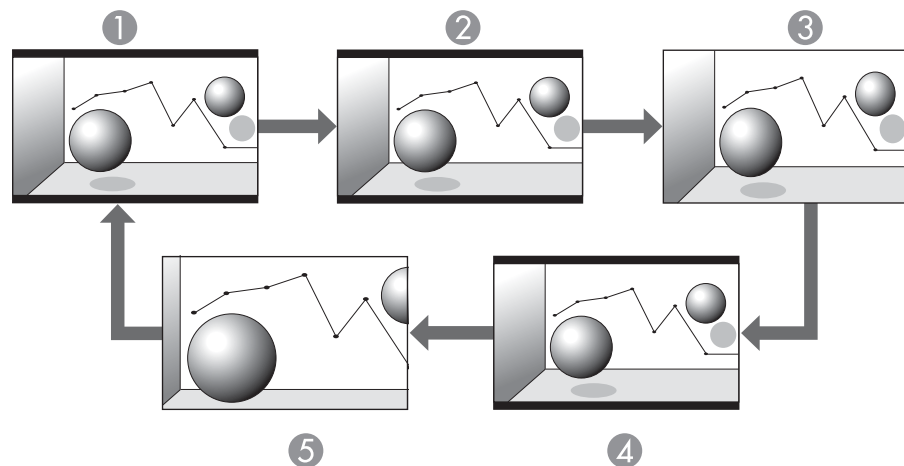
☞ 【映像】-【アスペクト】 [p.136](#)

アスペクトモードを切り替える(EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wの場合)

ビデオ機器の映像またはHDMI/MHL入力端子からの映像を投写しているとき

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが[ノーマル]または[オート]、[16:9]、[フル]、[ズーム]、[リアル]の順で切り替わります。

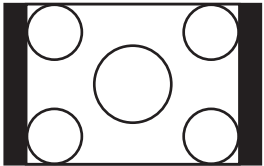
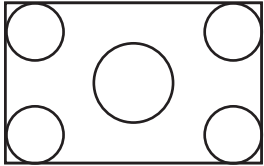
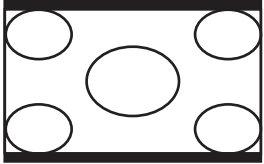
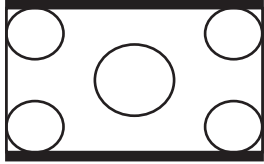
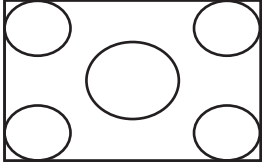
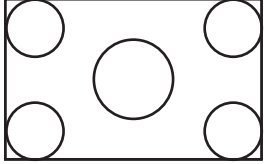
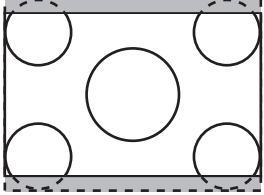
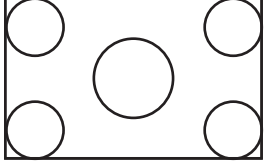
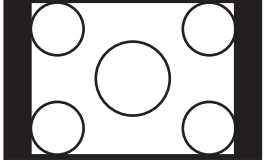
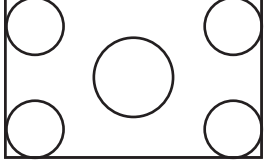
例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



- ① ノーマルまたはオート
- ② 16:9
- ③ フル
- ④ ズーム
- ⑤ リアル

コンピューターの映像を投写しているとき

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[16:9]		
[フル]		
[ズーム]		
[リアル]		



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピュータのパネルサイズに合わせて、環境設定メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

☞ [映像]-[入力解像度] [p.136](#)

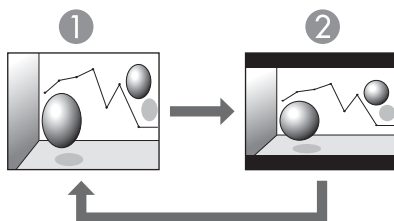
アスペクトモードを切り替える(EB-580の場合)

ビデオ機器の映像を投写しているとき

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

720p/1080i信号入力時に[4:3]に設定すると、ズーム4:3表示(映像の左右をカットした表示)になります。

例：720p信号入力時(解像度1280x720、アスペクト比16:9)

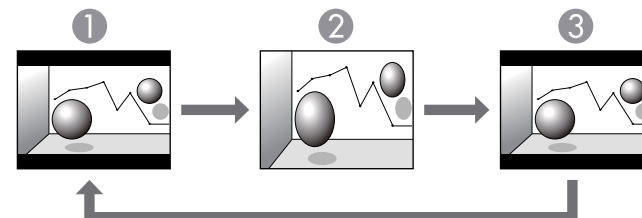


- ① 4:3
- ② 16:9

HDMI/MHL入力端子からの映像を投写しているとき

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[オート]、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



- ① オート
- ② 4:3
- ③ 16:9

コンピュータの映像を投写しているとき

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[ノーマル]、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[4:3]		
[16:9]		



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて、環境設定メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

☞ [映像]-[入力解像度] [p.136](#)



インタラクティブ機能(EB-595WT/EB-590WTのみ)

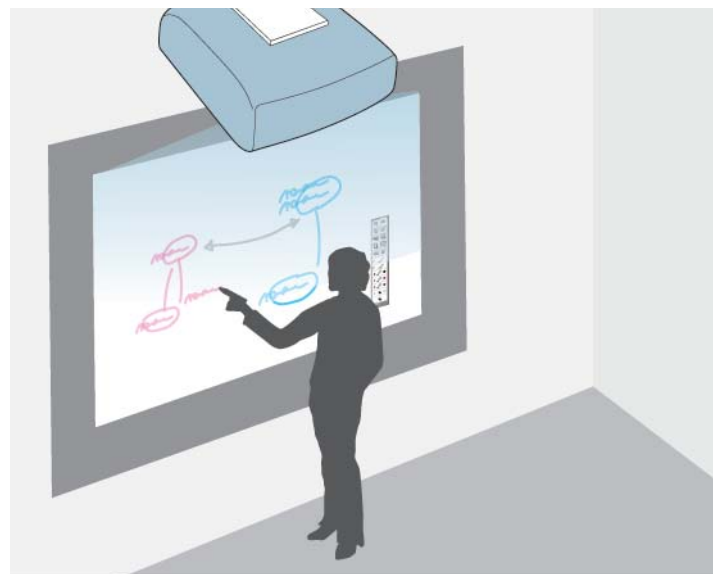
ここでは、インタラクティブ機能の使い方について説明します。

インタラクティブ機能を使うと、コンピューターの有無にかかわらず、投写している壁などに文字や図形を描画できます。インタラクティブモードには3種類あり、簡単に各モードを切り替えることができます。

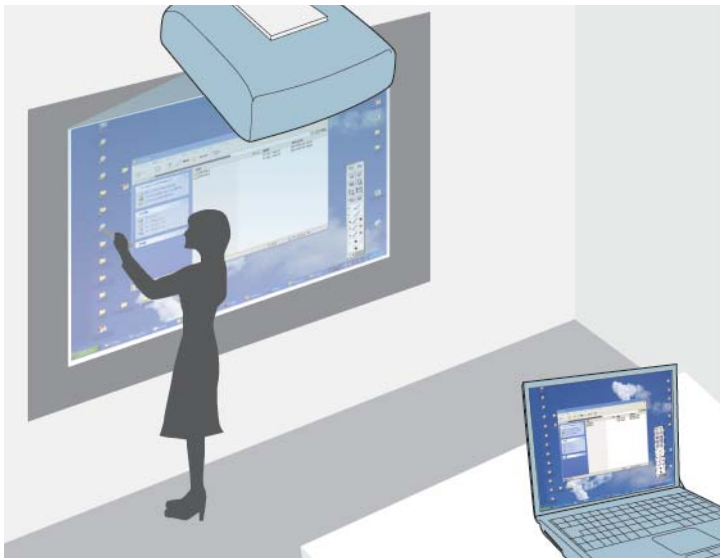
- ペンまたは指(EB-595WT)を使って、コンピューター、タブレット端末、書画カメラなどから投写した資料に注釈を書き込めます(アノテーションモード)。重要なポイントを強調したり補足を書き込んだりして、効果的な授業やプレゼンテーションを実現できます。



- ペンまたは指を使って、ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できます(ホワイトボードモード)。特定のアプリケーションソフトをインストールしたり、コンピューターを接続したりしなくても、プロジェクター内蔵のホワイトボード機能を使って描画できます。



- ペンまたは指を使って、投写画面でコンピューターの操作ができます（マウス操作）。コンピューターからの投写映像上で、マウスと同じように、クリックやドラッグ&ドロップなどができます。



同梱の描画アプリケーションソフトEasy Interactive Toolsを使うと、描画した内容を保存したり印刷したりできます。機能の詳細については、ソフトに同梱の『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。

投写映像に描画する(アノテーションモード)

アノテーションモードでは、コンピューター、タブレット端末、ビデオ機器などから投写した資料に、ペンまたは指(EB-595WT)を使って注釈を書き込みます。2本のペンを同時に使用できます。EB-595WTの場合は、指と2本のペンを同時に使用することもできます。

- 1 プロジェクターの電源を入れます。

- 2 プロジェクターを初めて使うときは位置合わせを行います。

☛ 「ペン位置合わせ」 [p.79](#)

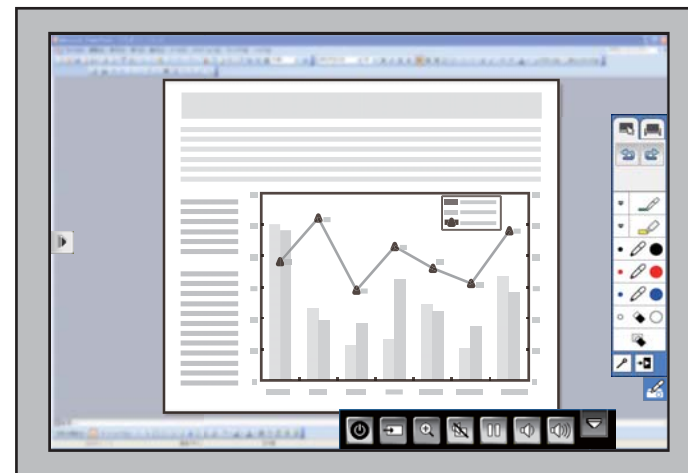
☛ 「指タッチ位置合わせ」 [p.86](#)

- 3 接続機器から映像を投写します。

- 4 ペンを投写画面に近づけます。または、指で画面をタッチします。


- 5 描画するには、 または  ツールバータブを押します。





投写画面に次のようなツールバーが表示されます。





- 画面の下側に表示されたプロジェクター制御ツールバーを使って、投写画面からプロジェクターを操作できます。

または  アイコンを押すと、ツールバーが非表示になります。

-  および  ツールバータブは上下に、 および  ツールバータブは左右に移動できます。

投写画面に描画できます。



- ☛ 「電子ペンを使う」 [p.77](#)
- ☛ 「指を使って操作する（EB-595WTのみ）」 [p.84](#)
- ☛ 「インタラクティブ機能を活用する」 [p.90](#)


ホワイトボードとして使用する(ホワイトボードモード)

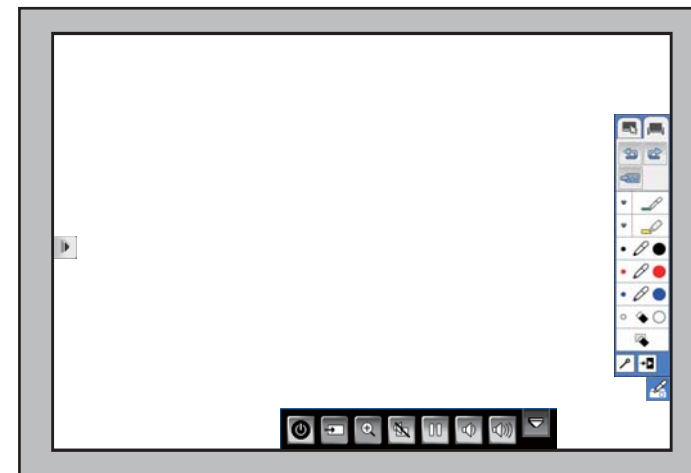
ホワイトボードのような無地の背景を投写して、ペンまたは指（EB-595WT）を使って投写面に描画できます。2本のペンを同時に使用できます。EB-595WTの場合は、指と2本のペンを同時に使用することもできます。

- 1 プロジェクターの電源を入れます。
- 2 プロジェクターを初めて使うときは位置合わせを行います。
 - ☛ 「ペン位置合わせ」 [p.79](#)
 - ☛ 「指タッチ位置合わせ」 [p.86](#)


- 3 ペンを投写画面に近づけます。または、指で画面をタッチします。





- 4  または  ツールバータブを押します。
ツールバーが表示されます。

- 5 ツールバーの  アイコンを押します。
次のようなホワイトボード画面とツールバーが表示されます。



- 画面の下側に表示されたプロジェクター制御ツールバーを使って、投写画面からプロジェクターを操作できます。

または  アイコンを押すと、ツールバーが非表示になります。

-  および  ツールバータブは上下に、 および  ツールバータブは左右に移動できます。

6 投写面に描画するには、右または左側にあるツールバーを使います。

- ☛ 「電子ペンを使う」 [p.77](#)
- ☛ 「指を使って操作する（EB-595WTのみ）」 [p.84](#)
- ☛ 「インタラクティブ機能を活用する」 [p.90](#)



同梱の描画アプリケーションソフトEasy Interactive Toolsを使うと、さらに多くの機能を使うことができます。機能の詳細については、『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。

投写画面でコンピューターの操作を行う(マウス操作)

ペンまたは指(EB-595WT)を使って、投写画面上でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じようにクリックやドラッグ＆ドロップなどができます。

マウス操作機能の動作条件

マウス操作機能を使用するには、お使いのコンピューターのOSが以下のいずれかである必要があります。

Windows	Windows XP Service Pack 2およびService Pack 3
	<ul style="list-style-type: none"> • Professional(32ビット) • Home Edition(32ビット) • Tablet PC Edition(32ビット)

	Windows Vista Service Pack 2 <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate(32ビット) • Enterprise(32ビット) • Business(32ビット) • Home Premium(32ビット) • Home Basic(32ビット)
	Windows 7 Service Pack 1 <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate(32/64ビット) • Enterprise(32/64ビット) • Professional(32/64ビット) • Home Premium(32/64ビット)
	Windows 8 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 8(32/64ビット) • Windows 8 Pro(32/64ビット) • Windows 8 Enterprise(32/64ビット)
	Windows 8.1 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 8.1(32/64ビット) • Windows 8.1 Pro(32/64ビット) • Windows 8.1 Enterprise(32/64ビット)
Mac	OS X <ul style="list-style-type: none"> • Mac OS X 10.5.x • Mac OS X 10.6.x • OS X 10.7.x • OS X 10.8.x • OS X 10.9.x
Ubuntu	Ubuntu <ul style="list-style-type: none"> • 12.04 LTS • 12.10 • 13.04 • 13.10

マウス操作機能を使う

マウス操作機能を使って、投写された画面上からコンピューターを操作できます。

お使いのコンピューターとプロジェクターを同梱のUSBケーブルで接続します。

OS Xをお使いの場合は、Easy Interactive Driverをインストールします。



- Windows 7でマルチディスプレイを使って、2番目の投写映像上でインタラクティブ機能を使用するときは、以下の設定を行ってください。
 - 環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で[ペン動作モード]を[1人で書く/ペン]に設定する(EB-590WTの場合)。
 - 環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で[ペン動作モード]を[モード2]に設定する(EB-595WTの場合)。
 - [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [Tablet PC 設定] > [セットアップ]からセットアッププログラムを起動して、インタラクティブ機能を設定する。
- 3台のディスプレイを使用しているときは、3番目のディスプレイではインタラクティブ機能を使用できません。
- また、複数の画面を横断して描画できません。
- ネットワーク経由でマウス操作をするには、EasyMP Network Projection Ver.2.85以降(Windows)/Ver.2.83以降(OS X)、またはQuick Wireless Ver.1.32以降のいずれかをコンピューターにインストールする必要があります。

1 OS Xで初めてインタラクティブ機能を使うときは、コンピューターに**Easy Interactive Driver**をインストールします。

☞ 「Easy Interactive Driverシステム動作条件 (OS Xのみ)」
p.75

☞ 「Easy Interactive Driverをインストールする (OS Xのみ)」
p.76

2 プロジェクターとコンピューターを**USB**ケーブルで接続します。



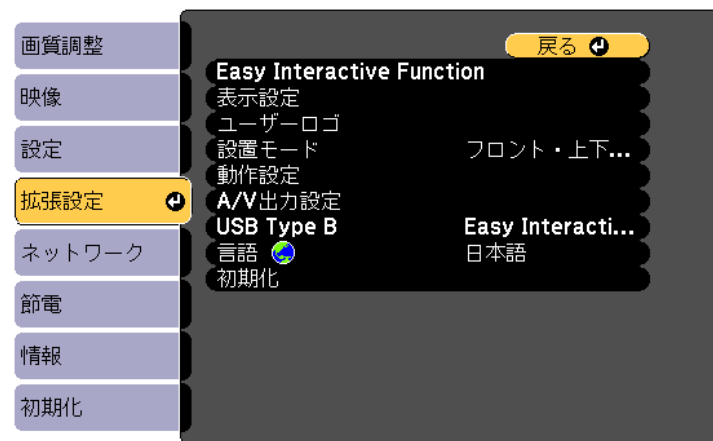
ネットワーク経由でマウス操作をするときは、USBケーブルの接続は不要です。

☞ 「ネットワーク経由でインタラクティブ機能を利用する」
p.96

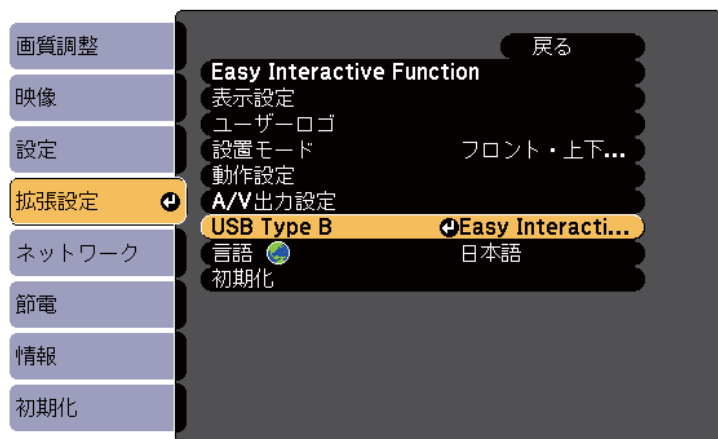
3 プロジェクターの電源を入れます。

4 コンピューターの画面を投写します。

5 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



6 【**USB Type B**】を選択して、【決定】ボタンを押します。



7 次のいずれかを選択します。

- コンピューターを接続して投写している場合は、[Easy Interactive Function]を選択します。
- USBディスプレイで投写している場合は、[USB Display/Easy Interactive Function]を選択します。



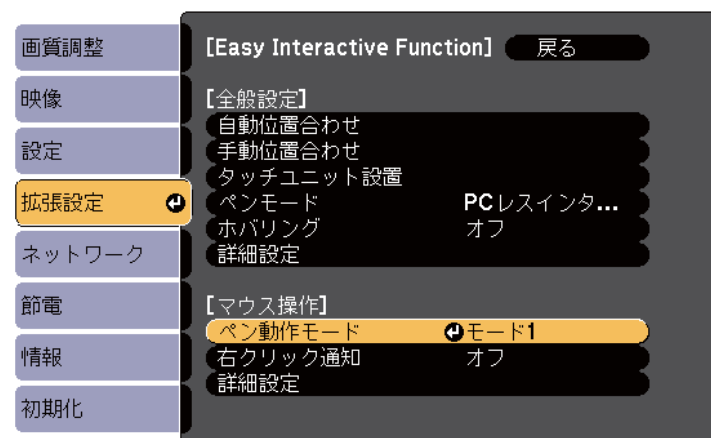
USBディスプレイで投写しているときは、操作に対する反応が遅くなることがあります。

8 [拡張設定]メニューから[Easy Interactive Function]を選択して、【決定】ボタンを押します。

9 お使いの機種にあわせて[ペン動作モード]を以下のいずれかに設定します。

- EB-590WTの場合：[2人で書く/マウス]または[1人で書く/マウス]を選択します。

- EB-595WTの場合：お使いのコンピューターのOSに応じて設定します。
 - ・ Windows XPおよびそれ以前のバージョン：[モード1]を選択します。
 - ・ Windows Vista、Windows 7、Windows 8およびOS X：[モード2]を選択します。
 - ・ Linux：[モード3]を選択します。



10 【決定】ボタンを押してモードを設定したら、【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

11 プロジェクターを初めて使うときは位置合わせを行います。




- ☞ 「ペン位置合わせ」 p.79
- ☞ 「指タッチ位置合わせ」 p.86

12 ペンを投写画面に近づけます。または、指で画面をタッチします。



アイコンが投写画面の右側に表示されます。

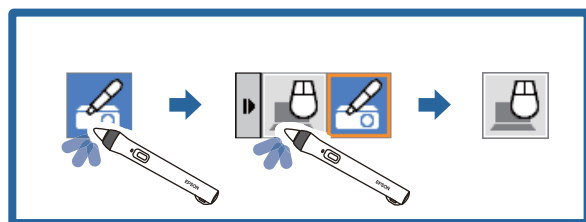



- 初めて使用するときは、 アイコンは右側に表示されます。2回目以降は、最後に開いた場所に表示されます。
-  アイコンが表示されていない場合は、[拡張設定]メニューから[ペンモードアイコン]の設定を[オン]にします。
 [拡張設定] - [表示設定] - [ペンモードアイコン] [p.140](#)

13







アイコンを選択して、 アイコンを選択します。









- 以下の方法でもマウス操作に切り替えられます。
- リモコンの【ペンモード】ボタンを押す。
 - 環境設定メニューの[拡張設定]から、[ペンモード]を[マウス操作]に変更する。
 [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ペンモード] [p.143](#)

ペンまたは指を使ってコンピューターの操作ができます。

-  「電子ペンを使う」 [p.77](#)
-  「指を使って操作する（EB-595WTのみ）」 [p.84](#)
-  「インタラクティブ機能を活用する」 [p.90](#)
-  「ネットワーク経由でインタラクティブ機能を利用する」 [p.96](#)



- 画面の下側に表示されたプロジェクター制御ツールバーを使って、投写画面からプロジェクターを操作できます。 または  アイコンを押すと、ツールバーが非表示になります。
-  および  ツールバータブは上下に、 および  ツールバータブは左右に移動できます。
- マウス操作時は、次のこともできます。
 - ・ Windows 7またはWindows VistaでタブレットPCの入力パネルを使う。
 - ・ Microsoft Officeアプリケーションで、インクツールを使用する。
- 2本のペンを同時に使用すると、ご使用のアプリケーションソフトによっては干渉を引き起こすことがあります。使用していないペンを投写画面から離してください。

Easy Interactive Driverシステム動作条件(OS Xのみ)

マウス操作機能を使用するには、お使いのコンピューターにEasy Interactive Driverをインストールする必要があります。ソフトウェアを実行するために必要なシステム動作条件を確認してください。

オペレーティングシステム	Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x
CPU	Power PC G4 1 GHz以上 (推奨：CoreDuo 1.83 GHz以上)
メモリー容量	512 MB以上
ハードディスク空き容量	100 MB以上
ディスプレイ	1024 × 768(XGA)以上、1920 × 1200(WUXGA)以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)

- 3** EPSONウィンドウで[Install Navi]アイコンをダブルクリックします。
- 4** [カスタムインストール]を選択します。
- 5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。
- 6** コンピューターを再起動します。

Easy Interactive Driverをインストールする(OS Xのみ)

マウス操作機能を使用するには、お使いのコンピューターにEasy Interactive Driverをインストールします。

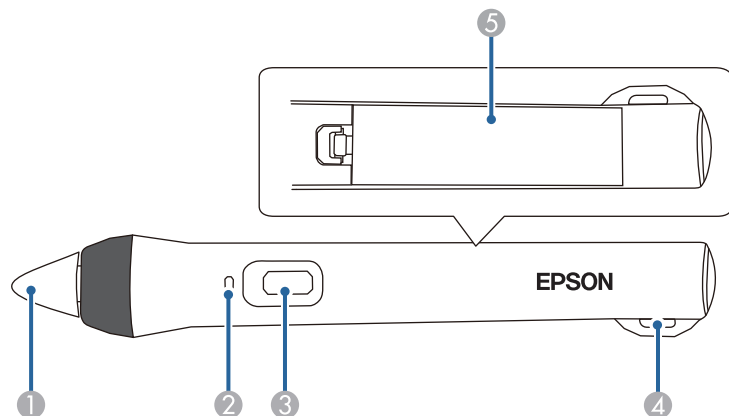


Easy Interactive Toolsを[おすすめインストール]でインストールしたときは、Easy Interactive DriverはEasy Interactive Toolsと一緒にインストールされているので、以下の操作は不要です。詳細については、ソフトに同梱の『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** コンピューターにEPSON Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROMをセットします。
EPSONウィンドウが表示されます。

プロジェクターには2種類のペンが同梱されており、ペン後方部の色が異なります(オレンジと青)。色の異なるペンは2本同時に使用できます。

ペンの電源をオンにする前に、電池が入っていることを確認します。



- ① ペン先ボタン
- ② バッテリーインジケーター
- ③ ボタン
- ④ ストラップホール
- ⑤ 電池カバー

ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、電源をオンにします。

ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置いてください。

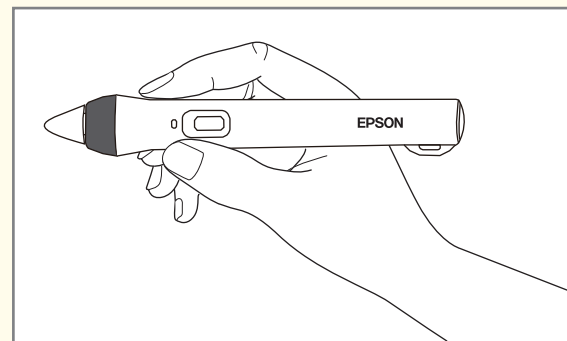
🖱️ 「Easy Interactive Pen (EB-595WT/EB-590WTのみ)」 [p.21](#)

注意

- 濡れた手でペンを使用したり、直接水のかかる場所で使用したりしないでください。ペンは防滴仕様ではありません。
- 太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しない場合があります。

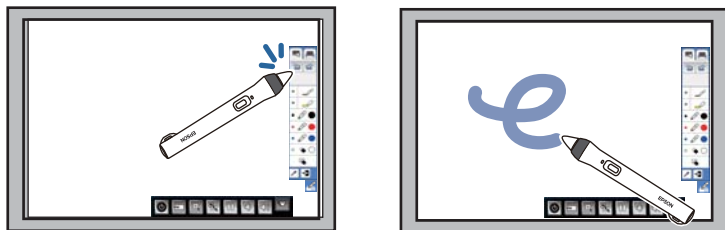


- ペンを20分間使わないと、電源が自動でオフになります。使用するときは、ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、再度電源をオンにしてください。
- ペンが正しく動作するよう、次の図のように投写面に対してペンを垂直に持ってください。また、ペン先の黒い部分を持たないでください。



電子ペンを使って次のことができます。

- アノテーションモードまたはホワイトボードモードでは、投写面に描画できます。



- アイコンなどを選択するには、ペン先ボタンを投写面に押し当てます。
- 投写面に描画するには、ペン先ボタンを押し当てて動かします。
- ポインターを移動するには、ペン先を投写面から浮かせて動かします。これをホバリングと呼びます。
- 描画ツールから消しゴムに切り替えるには、ペン側面のボタンを押します。

- ペンをマウス操作として使用しているときは、以下の操作ができます。



- クリックするには、投写面にペン先ボタンを押し当ててすぐに離します。
- ダブルクリックするには、ペン先ボタンを2回押し当てます。
- 右クリックするには、ペン側面のボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップするには、移動したいアイコン等の上でペン先を押し当てて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離します。
- カーソルを移動するには、ペン先を投写面から浮かせて動かします。これをホバリングと呼びます。



- 環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]でホバリング機能をオフにできます。
- [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ホバリング] p.143
- ペン先ボタンの長押しを右クリックとして使用したいときは、環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で以下を設定します。
 - ・ [ペン動作モード]を[2人で書く/マウス]または[1人で書く/マウス]にする (EB-590WTの場合)。
 - ・ [ペン動作モード]を[モード1]または[モード3]にする (EB-595WTの場合)。
 - ・ [右クリック通知]を[オン]にする。

ペン位置合わせ

ペン位置を正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。位置合わせは、プロジェクターを初めて使うときに必要です。

ペン位置合わせは、[自動位置合わせ]で行います。[自動位置合わせ]に失敗したときや微調整が必要なときは、[手動位置合わせ]を行います。

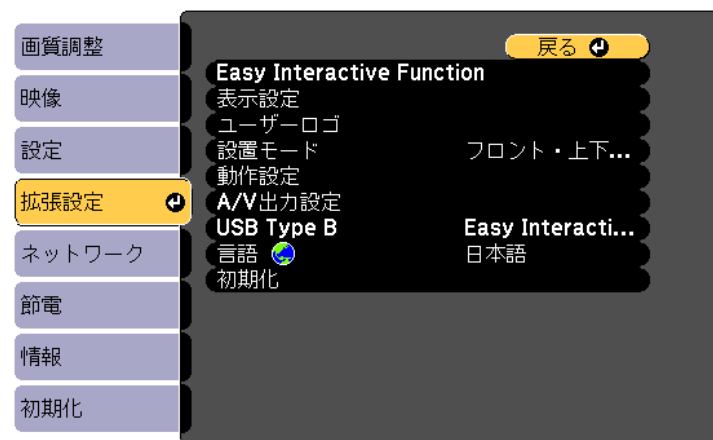


- ペン位置合わせをするときは、使用していないペンを投写画面から離してください。
- EB-590WTを使用して湾曲黒板に投写するときは、手動位置合わせを行ってください。
 - ☛ 「手動位置合わせ」 p.80
- ペン位置合わせを行った後、以下の操作を行うと、位置がずれることがあります。位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。
 - ・ 台形補正を行ったとき
 - ・ 映像のサイズを調整したとき
 - ・ デジタルピクチャーシフトを行ったとき
 - ・ プロジェクターの投写位置が変わったとき
- 再度ペン位置合わせをするまで、ペン位置合わせの結果が保持されます。

自動位置合わせ

プロジェクターを初めて使用するときは、ペン位置合わせを行う必要があります。[自動位置合わせ]には、ペンやコンピューターは必要ありません。

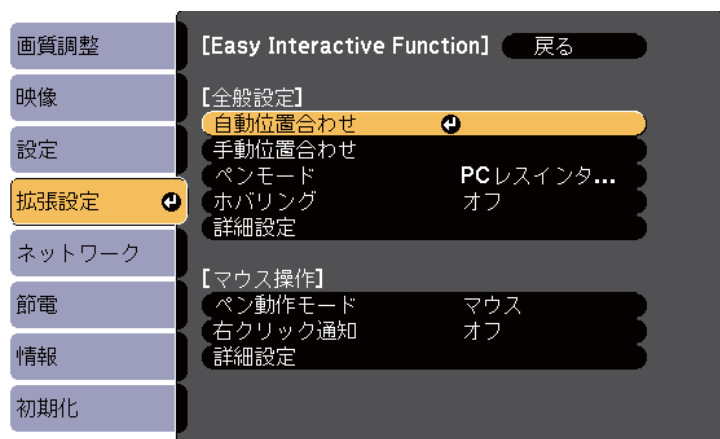
- 1 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



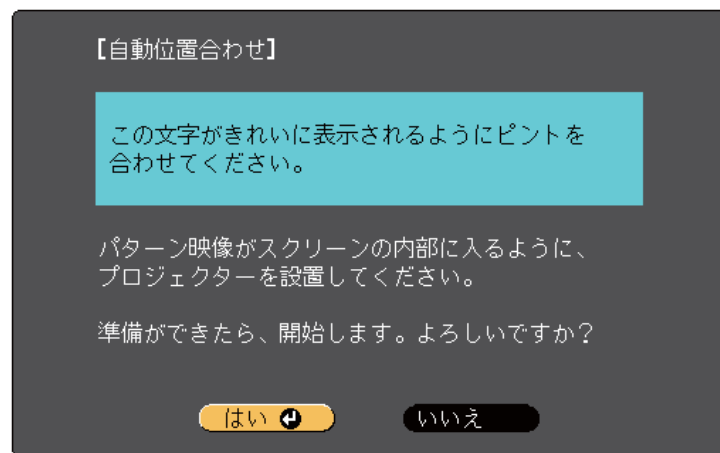
- 2 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 【自動位置合わせ】を選択して、【決定】ボタンを押します。



次の画面が表示されます。



- 4** 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。

- 5** **【はい】**を選択して**【決定】**ボタンを押します。

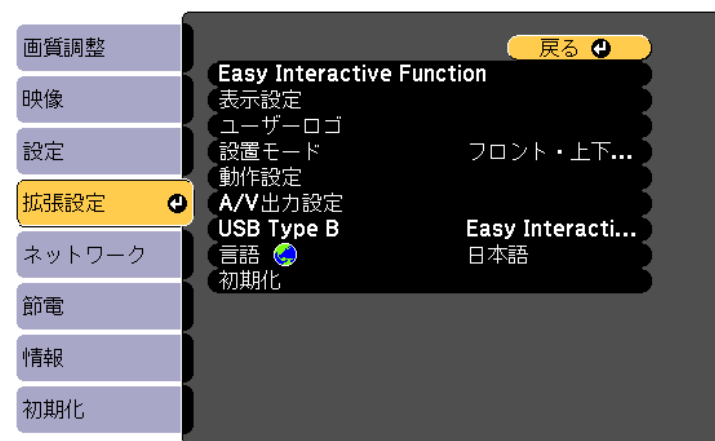
パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。自動位置合わせに失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。手動位置合わせを行ってください。

位置合わせ後は、ペンで描画している位置と実際に描画される位置が合致します。合っていないときは、手動位置合わせを行ってください。

手動位置合わせ

自動位置合わせを行っても、ペンで描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、手動位置合わせを行います。また、EB-590WTを使用して湾曲黒板に投写するときは、手動位置合わせを行ってください。

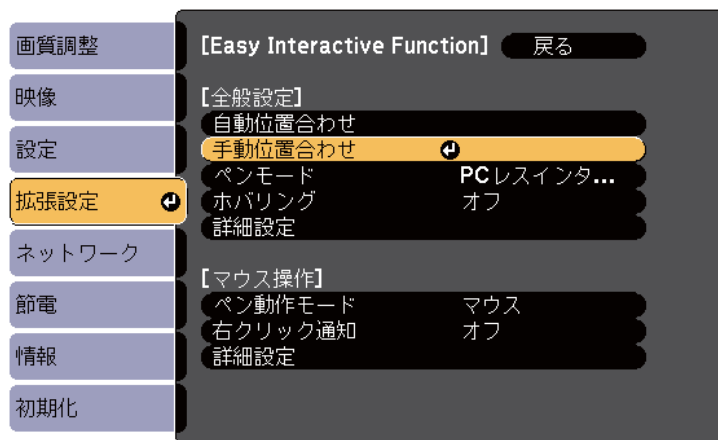
- 1** **【メニュー】**ボタンを押して、**【拡張設定】**メニューを選択してから、**【決定】**ボタンを押します。



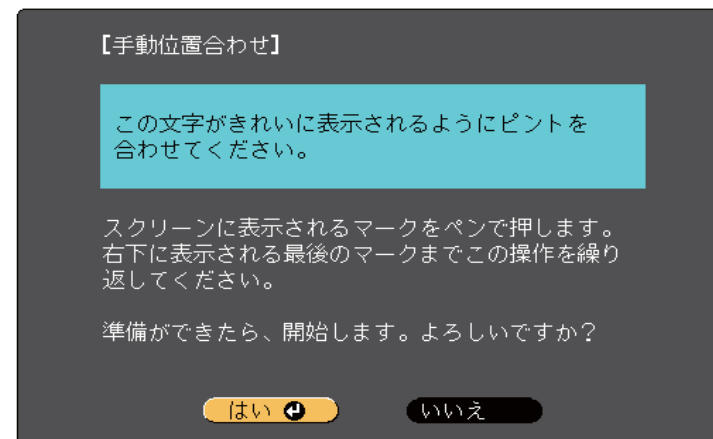
- 2** **【Easy Interactive Function】**を選択して、**【決定】**ボタンを押します。



3 【手動位置合わせ】を選択して、【決定】ボタンを押します。



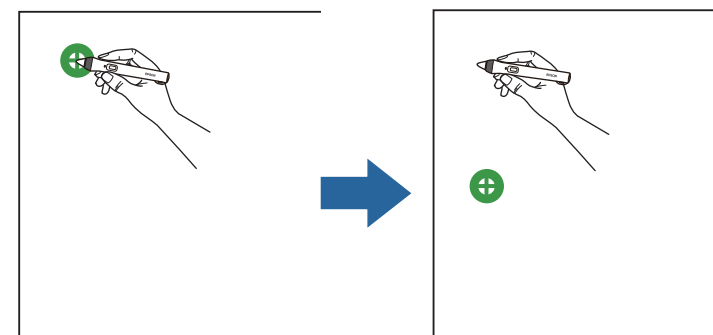
次の画面が表示されます。



4 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。

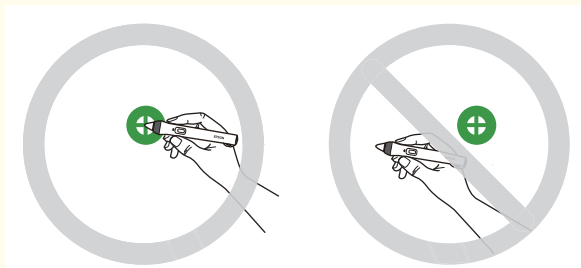
5 【はい】を選択して【決定】ボタンを押します。 投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

6 ドットの中心をペン先で押します。 ドットが消えて次の位置に移動します。

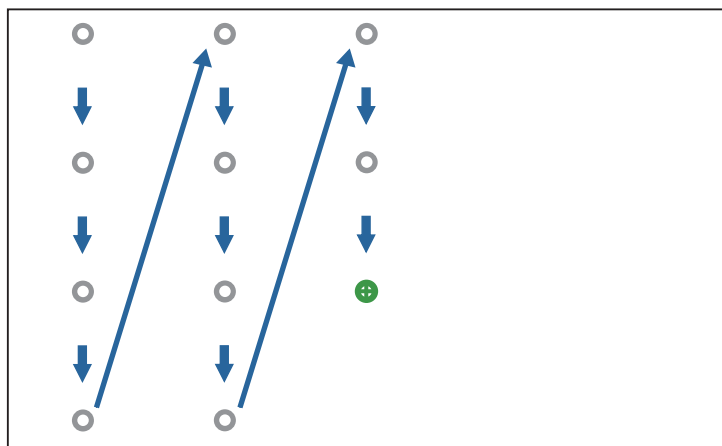




必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



- 7** 次のドットの中心をペン先で押します。この操作を繰り返します。ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



- ペンとEasy Interactive Function受光部との間に障害物がないことを確認してください。
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。


- 8** すべてのドットが消えるまで、繰り返します。

ペン操作エリアを調整する

接続するコンピュータを変えたときや、コンピュータの解像度が変わったときは、ペン操作エリアが自動調整されます。投写画面からコンピュータを操作しているときに(マウス操作)、ペンの位置ずれが気になるときは、操作エリア手動調整を行います。

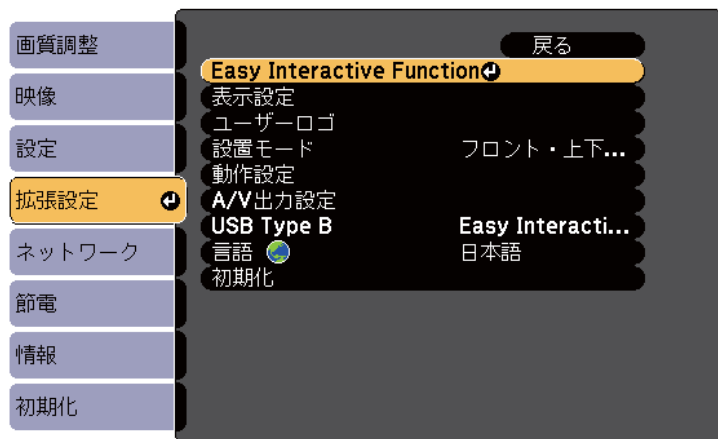


ネットワーク経由で映像を投写しているときは、調整できません。

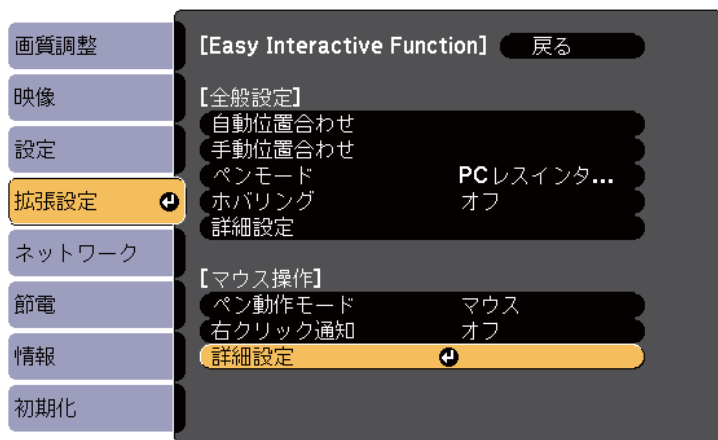
- 必要に応じて、マウス操作に切り替えます。
 「マウス操作機能を使う」 [p.72](#)
- 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



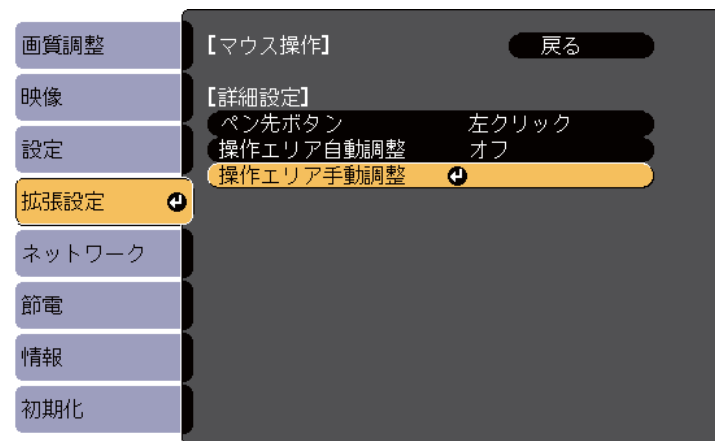
- 3** 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



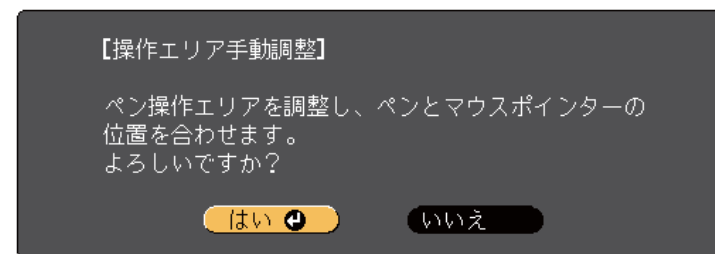
- 4** 【マウス操作】の項目から【詳細設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 5** 【操作エリア手動調整】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 6** 【はい】を選択して【決定】ボタンを押します。



マウスポインターが左上に移動します。

- 7** 左上で停止したマウスポインターの先端を、ペンで押します。
マウスポインターが右下に移動します。

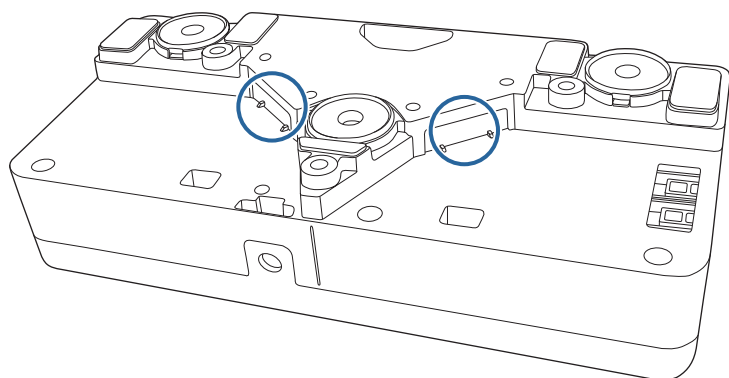
- 8** 右下で停止したマウスポインターの先端を、ペンで押します。

タッチユニットが設置されている場合は、ペンと同じように投写画面で指を使って操作ができます。

指での操作を安全に行っていただくために

タッチユニットは、内部に高出力レーザー製品が組み込まれており、指での操作を可能にします(EB-595WTのみ)。

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。



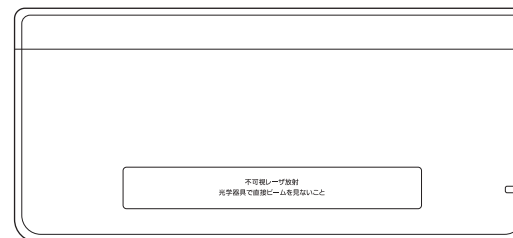
警告

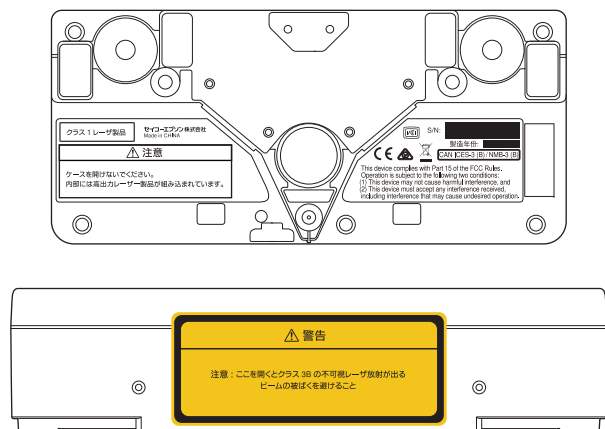
- 小さなお子様が指タッチ操作を行うときは、誤った使い方をしないよう必ず保護者が同伴してください。
- 本機およびタッチユニットのケースを開けないでください。また、分解・改造は絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源投入後は絶対に本機の投写レンズおよびタッチユニットのレーザー照射口をのぞかないでください。レーザーで目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。
- タッチユニットから照射されるレーザー光に対して、ルーペ、反射鏡などの光学機器をあてないでください。そのまま使用し続けると、人体に悪影響を及ぼす可能性があります。
- 本機およびタッチユニットに異常が発生したときは、すぐにプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。
- タッチユニットのレーザー照射口から70mm以内の距離で特定の光学機器(例：アイルーペ、拡大鏡、顕微鏡等)を使用してレーザー光を見ないでください。眼に障害が生じる可能性があります。

レーザー警告ラベル

タッチユニットは、JIS C 6802:2011に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットにはクラス1レーザー製品であることと警告を示すラベルが貼られています。貼られている場所は次のとおりです。





ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザー製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
 - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
 - ビームの被ばくを避けること

タッチ操作を行って各機能を使う

ペンと同じように、投写画面で指を使ってタッチ操作ができます（EB-595WTのみ）。ペンと指を同時に使用できます。

マウス操作では、最大6点までのタッチ操作を認識します。アノテーションモードおよびホワイトボードモードでは、2本の指で操作ができます。

指での操作を始める前に、次の設定が完了していることを確認します。

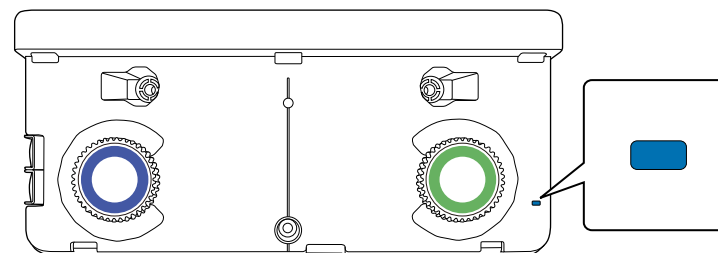
- タッチユニットの取り付け
- 手動位置合わせ
- タッチユニットの角度調整

- 指タッチ位置合わせ

詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

『設置工事説明書』

プロジェクターの電源を入れるとタッチユニットの電源がオンになり、指での操作が可能になります。



- 指の向きや角度により、タッチ操作の位置がずれることがあります。
- 付け爪やマニキュア、包帯などをしている指で操作すると、正しく動作しないことがあります。
- 指同士またはペン同士、あるいはその両方が近い場合、または複雑に交差する動きの場合は、複数の指を正しく認識しないことがあります。
- 衣服の袖や身体の一部がスクリーンに近づいたり接触すると、誤動作する場合があります。
- 投写面内に手をついて描画や操作を行うと、誤動作する場合があります。

次の操作ができます。

- 指をマウス操作として使用しているときは、以下の操作ができます。



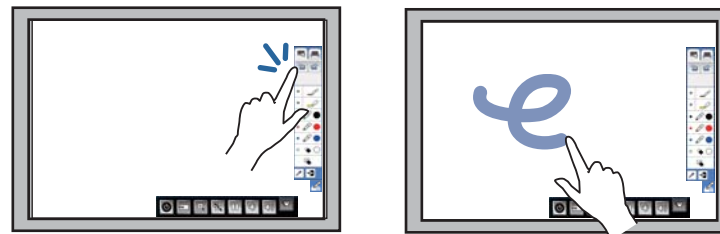
- クリックするには、投写面に指先を押し当ててすぐに離します。
- ダブルクリックするには、指先を2回押し当てます。
- ドラッグ&ドロップするには、移動したいアイコンなどの上で指を押し当てて、投写面から離さずに移動し、移動先で指を離します。



お使いの機器が以下の操作に対応しているときは、投写画面からも同様の操作ができます。

- 画像を拡大・縮小するには、2本の指で触れ、投写面上で指を離したり(拡大)近づけたり(縮小)します。
- 画像を回転するには、2本の指で触れ、そのまま回します。
- ページ送りをしたり、ブラウザー上で画面を切り替えるには、指ではじきます(フリック操作)。

- アノテーションモードまたはホワイトボードモードでは、投写面に描画できます。



- アイコンなどを選択するには、指先を投写面に押し当ててすぐに離します。
- 描画をするには、ツールバーからペンを選択し、指先を投写面に押し当てて動かします。本機の電源をオンにしてから初めて指タッチ操作を行うときは、消しゴムが選択されています。

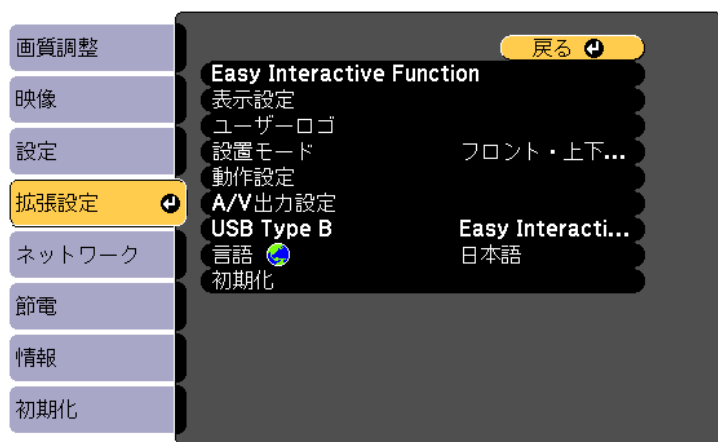
指タッチ位置合わせ

指の位置を正しく認識させるために、指タッチ位置合わせを行ってください(EB-595WTのみ)。指で描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、再度指タッチ位置合わせを行います。

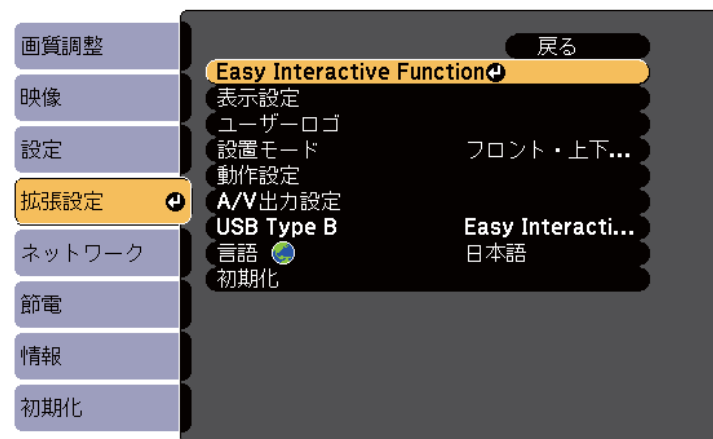


- 指タッチ位置合わせは、タッチユニットが設置されたときに行います。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。
☞ 『設置工事説明書』
- 指タッチ位置合わせの前に、[自動位置合わせ]または[手動位置合わせ]が終了していることを確認してください。
☞ 「ペン位置合わせ」 p.79
- 位置合わせを行った後に以下の操作を行うと、位置がずれることがあります。位置ずれが気になるときは、再度指タッチ位置合わせを行ってください。
 - 自動位置合わせまたは手動位置合わせを行ったとき
 - タッチユニットの角度調整を行ったとき
 - 台形補正を行ったとき
 - 映像のサイズを調整したとき
 - デジタルピクチャーシフトを行ったとき
 - プロジェクターの投写位置が変わったとき

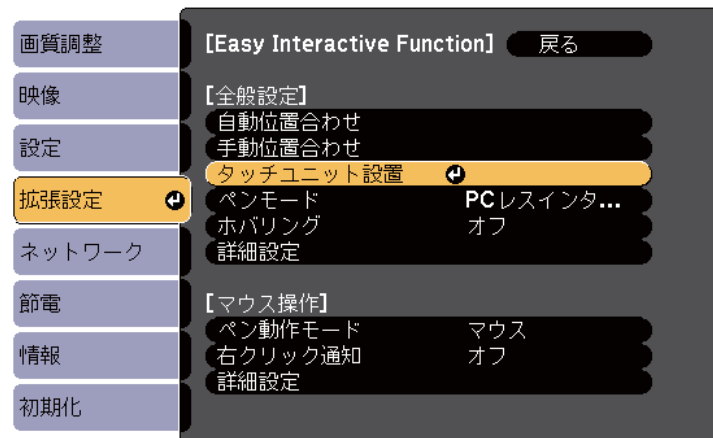
1 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



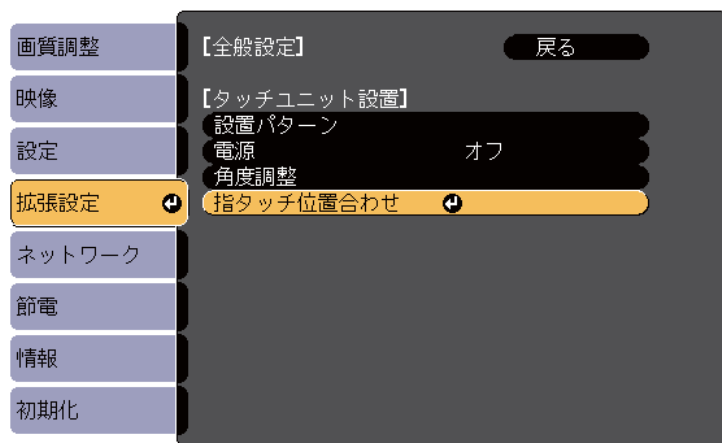
2 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



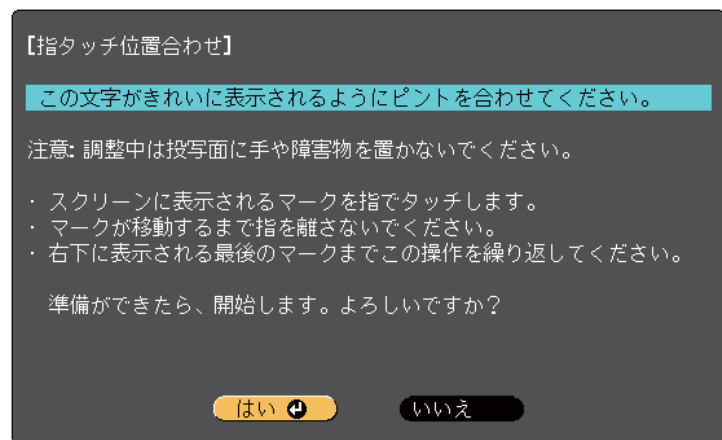
3 【タッチユニット設置】を選択して、【決定】ボタンを押します。



4 【指タッチ位置合わせ】を選択して、【決定】ボタンを押します。



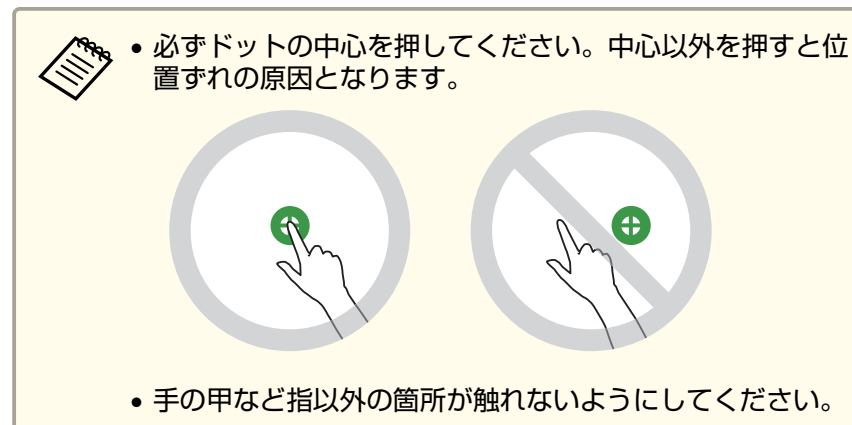
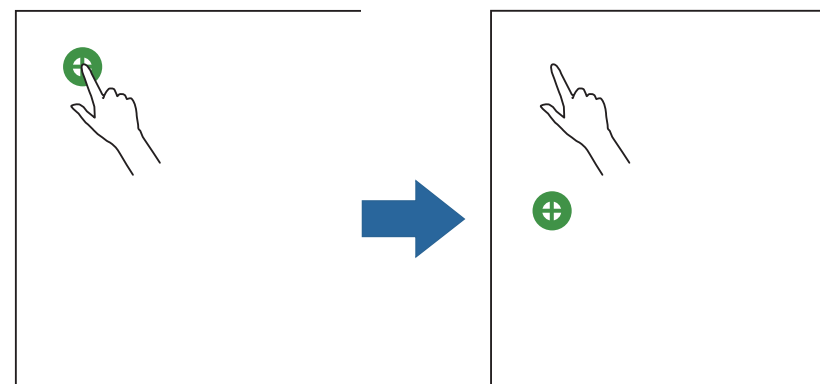
次の画面が表示されます。



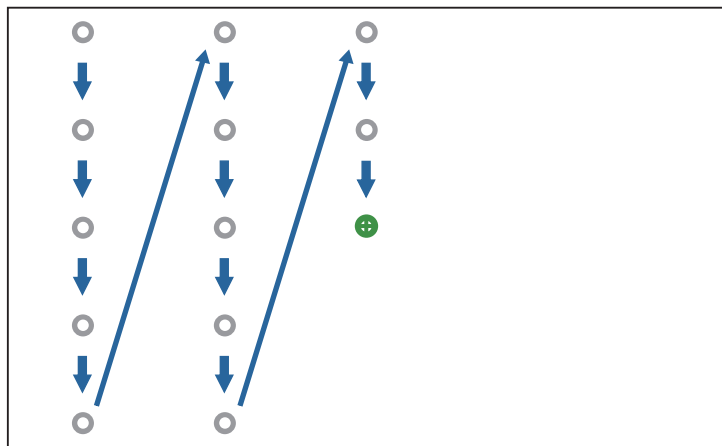
5 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。

6 [はい]を選択して[決定]ボタンを押します。
投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

7 ドットの中心を指で押してください。ドットが消えて次の位置に表示されたら、指を離します。



8 次のドットの中心を指で押します。この操作を繰り返します。ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

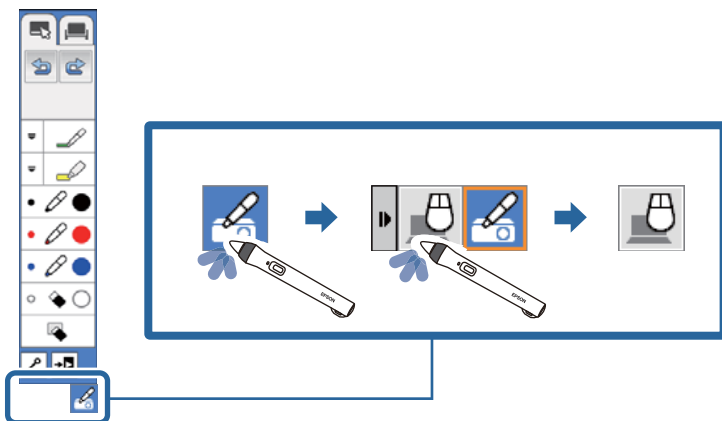
9 すべてのドットが消えるまで、繰り返します。

投写映像に描画したり、プロジェクターを操作したりします。

インタラクティブ機能のモードを切り替える

ツールバーを使うと、インタラクティブ機能を簡単に切り替えられます。

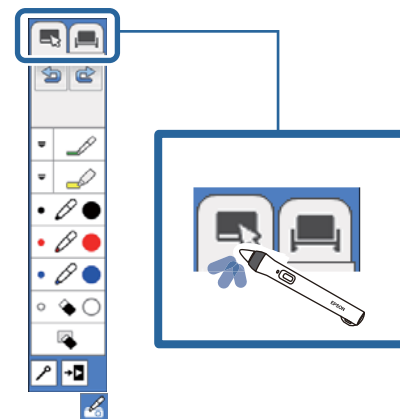
- マウス操作とアノテーションモードを切り替えるには、次のアイコンのいずれかを選択します。
 - アノテーションモードまたはホワイトボードモードからマウス操作に切り替えるには、次のアイコンを選択します。



- マウス操作からアノテーションモードまたはホワイトボードモードに切り替えるには、次のアイコンを選択します。



- アノテーションモードとホワイトボードモードを切り替えるには、次のアイコンのいずれかを選択します。

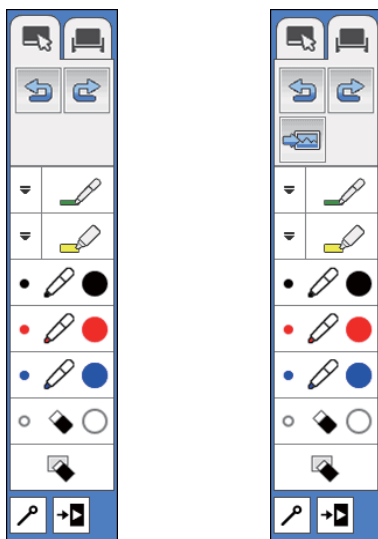




- 以下の方法でもインタラクティブ機能を切り替えられます。
 - リモコンの【ペンモード】ボタンを押す。
 - プロジェクターの[拡張設定]メニューで[ペンモード]を[PCレスインタラクティブ]または[マウス操作]に切り替える。
 - ☛ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ペンモード] p.143
 - コンピューター画面を投写しているときは、マウス操作に切り替えることができます。
 - プロジェクターの[拡張設定]メニューの[USB Type B]が[ワイヤレスマウス/USBディスプレイ]に設定されている場合は、マウス操作に切り替えることができません。
 - ホワイトボードモードからマウス操作に切り替えると、コンピューターの画面が投写されます。
 - マウス操作に切り替えた後も、アノテーションモードで描画した内容は保持されます。



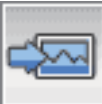








アノテーションモード/ホワイトモードのツールバー




アノテーションモードのツールバーまたはホワイトボードモードのツールバーを使うと、投写画面に描画できます。アノテーションモードとホワイトボードモードを簡単に切り替えることもできます。

以下のイラストでは、左側にアノテーションモードのツールバーを、右側にホワイトボードモードのツールバーを示しています。




	アノテーションモードに切り替えます。
	ホワイトボードモードに切り替えます。

	1つ前の操作を元に戻します。
	元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。
	あらかじめ用意された6種類の背景パターンからホワイトボードの背景を選択できます(ホワイトボードモードのみ)。 ☛「背景を選択する」 p.92
	フリーハンドで描けるペンに切り替わります。 アイコンの左端にある  をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。 ☛「ペンの色と太さを設定する」 p.92
	半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。 アイコンの左端にある  をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。 ☛「ペンの色と太さを設定する」 p.92
	黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。

	描画した内容をすべて消去します。
	1回描画するたびにツールバーが非表示になります。
	ツールバーを非表示にします。

ペンの色と太さを選択する

フリーハンドで描けるペンと蛍光ペンの色と太さを選択できます。


- それぞれのアイコンの左端にある  を選択します。

次のようなボックスが表示されます。



- ペンまたは蛍光ペンで使用したい色と太さを選択します。



- カラーパレットの上でホバリングすると、色の名前がパレットの下部に表示されます。
- 環境設定メニューの[拡張設定]から[カラーパレット]の設定を変更して、パレットの色合いを変えることもできます。
 [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [全般設定] - [詳細設定] - [カラーパレット] [p.143](#)

-  または  を選択して、ペンまたは指(EB-595WT)


を使って投写面に描画します。



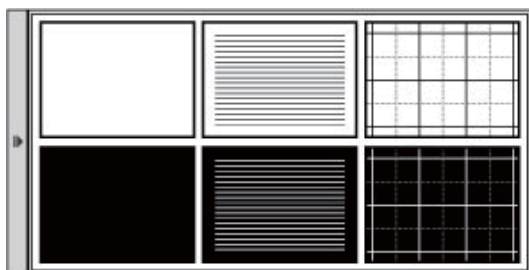
複数のペンで同時に描画するときは、それぞれのペンに異なる色と太さを設定できます。指を使うときは、全員が同じ色と太さになります。

背景を選択する

ホワイトボードモードでは、背景の色を変えたり、罫線や格子などの補助線を表示したりできます。

- ホワイトボードモードで、 アイコンを選択します。

次のようなボックスが表示されます。






2 使用する背景のパターンを選択します。

プロジェクター制御ツールバー

プロジェクター制御ツールバーを使うと、リモコンと同じように、投写画面からプロジェクターを操作できます。

EasyMP Multi PC Projectionを使ってネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器を簡単に選択して投写できます。



	本機の電源をオフにします。
	<p>入力ソースの一覧が表示されます。選択した入力端子からの映像に切り替えます。</p> <p>入力ソース一覧を非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。</p>

	<p>表示されたボックス内の倍率または+/-ボタンを使って、映像を拡大/縮小します。次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1~4倍まで拡大できます。元のサイズに戻すには、[x1]を選択します。 • +/-ボタンを押し続けると、すばやく拡大/縮小します。 <p>拡大/縮小リストを非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。</p>
	<p>映像と音声を一時的に遮断します。</p> <p>元に戻す場合は、投写画面をクリックしてください。</p> <p>☞「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106</p>
	<p>映像を一時停止します。</p> <p>☞「映像を停止させる（静止）」 p.107</p>
	<p>音量を下げます。</p> <p>☞「音量を調整する」 p.62</p>
	<p>音量を上げます。</p> <p>☞「音量を調整する」 p.62</p>
	<p>プロジェクター制御ツールバーを非表示にします。</p>

ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する


プロジェクター制御ツールバーを使うと、ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器の中から目的の機器を選択して映像を投写できます。EasyMP Multi PC Projectionを使って接続しているコンピューターとEpson iProjectionを使って接続しているスマートフォンやタブレッ

ト端末から選択できます。最大で50台の機器の中から選択して投写画面を切り替えられます。



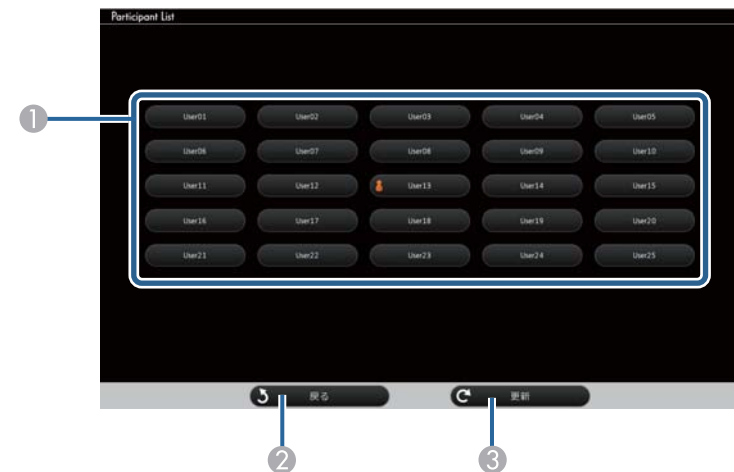
EasyMP Multi PC Projectionでモデレーター機能が有効になっていても、ネットワーク経由で接続している機器を自由に選択して投写できます。モデレーター機能について詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。


 『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』

- 1 プロジェクター制御ツールバーで  アイコンを選択して、入力ソース一覧から[参加者一覧]を選択します。



- 2 投写する機器のユーザー名を選択します。



- 1 ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器のユーザー名を表示します。
画面を投写している機器のユーザー名の横には、 アイコンが表示されます。
- 2 ユーザー選択画面を閉じて前の画面に戻ります。
- 3 ユーザーの一覧を更新します。
ネットワーク経由で、新たにプロジェクターに接続したユーザーがいるときは、このボタンを選択してユーザーの一覧を更新します。



- 選択した機器をプロジェクターから切断しているときは、選択したユーザーの画面は表示されず、ユーザーの一覧が自動的に更新されます。
- ユーザー選択画面の表示中は、次の操作はできません。
 - ・投写する入力ソースを切り替える。
 - ・その他のインタラクティブ機能を使用する。
 - ・プロジェクター制御のツールバーからプロジェクターを操作する。
 - ・複数のプロジェクターに接続する。
 - ・プロジェクターから音声を出力する(一時的に遮断されます)。
 - ・プロジェクターの環境設定メニューで設定を変更する。
 - ・EasyMP Multi PC ProjectionまたはEpson iProjectionを使用して映像を投写する。

選択したユーザーの画面が表示されます。


投写するユーザーを変更するには、この手順を繰り返します。




- EasyMP Multi PC Projectionで複数のプロジェクターに接続して同じ映像を投写しているときは(ミラーリング)、ユーザー選択画面を表示できません。
- インタラクティブ機能が動作しなくなったときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ってください。

ネットワーク経由でマウス操作機能が使用できます。

ネットワーク経由でコンピュータを操作しているときに描画するには、Easy Interactive Toolsまたはその他のインタラクティブ描画ソフトを使用する必要があります。Easy Interactive Toolsを使うと、さまざまな描画ツールを使用でき、描画した内容をページとして扱ったり、ファイルに保存して後から編集したりできます。Easy Interactive Toolsは、Epson Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROMからインストールできます。また、EpsonのWebサイトからダウンロードすることもできます。

- プロジェクターをネットワークに接続して、ネットワーク経由でコンピュータを操作するには、以下のいずれかのネットワークアプリケーションソフトが必要です。
 - EasyMP Network Projection Ver. 2.85以降 (Windows)/2.83以降 (OS X)
詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。
 [『EasyMP Network Projection操作ガイド』](#)
 - Quick Wireless Ver.1.32以降 (Windowsのみ)
詳しくは、オプションのクイックワイヤレス用USBキー同梱の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのアプリケーションで、[一般設定]タブの[インタラクティブペンを使用する]と[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]を選択します。



- 同時に使用できるペンまたは指 (EB-595WT) は1本です。
- ネットワーク経由でインタラクティブ機能を使用しているときは、ペンや指での操作に対する反応が遅くなることがあります。
- ネットワーク経由でコンピュータを操作しているときは、リモコンまたは環境設定メニューの[拡張設定]から[ペンモード]の切り替えはできません。また、 アイコンによる切り替えもできません。
- 環境設定メニューの[拡張設定]から[ペン動作モード]は変更できません。
- EasyMP Network Projectionを使用すると、4台までのプロジェクターに同時に接続できます。複数のプロジェクターに同時に接続しているときは、いずれの投写画面からもマウス操作ができます。1台のプロジェクターで行ったマウス操作は他のプロジェクターにも反映されます。
- ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写してアノテーションモードを使用するには、EasyMP Network Projectionまたはクイックワイヤレスで、[一般設定]タブの[インタラクティブペンを使用する]および[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外してから、ネットワークに接続し直す必要があります。

EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる場所にあるプロジェクターに接続する際のご注意

EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる離れた場所にあるプロジェクターに接続して、インタラクティブ機能を使用するときは、以下の点にご注意ください。

- プロジェクターのIPアドレスを指定してネットワーク上のプロジェクターを検索してください。プロジェクター名では検索できません。

- pingコマンドでネットワークプロジェクターとの接続を確認したときに、正しく応答されることを確認してください。ルーターでインターネット制御通知プロトコル(ICMP)の設定を無効にしているときは、pingコマンドでの応答がなくても、離れた場所にあるプロジェクターに接続できる場合があります。
- 次のポートが開いていることを確認してください。

ポート	プロトコル	用途	通信
3620	TCP/UDP	接続・制御	双方向
3621	TCP	画像転送	双方向
3629	TCP	プロジェクター制御	双方向

- ルーターで、MACアドレスフィルタリングおよびアプリケーションフィルタリングが無効に設定されていることを確認してください。
- お使いのネットワーク環境で、ネットワークアドレス変換(NAT)が行われていないことを確認してください。インターネットVPNおよびIP-VPNでは、上記の条件を満たせば、離れた場所にあるネットワークプロジェクターに接続できます。
- 拠点間の通信で帯域が管理されており、EasyMP Network Projectionが制限を超えるとときは、離れた場所にあるプロジェクターに接続できません。



上記の条件を満たすことで、EasyMP Network Projectionでのサブネットの異なるプロジェクターへの接続を必ず保証するものではありません。導入を検討いただく際には、必ず、事前にお使いのネットワーク環境での接続を検証してください。

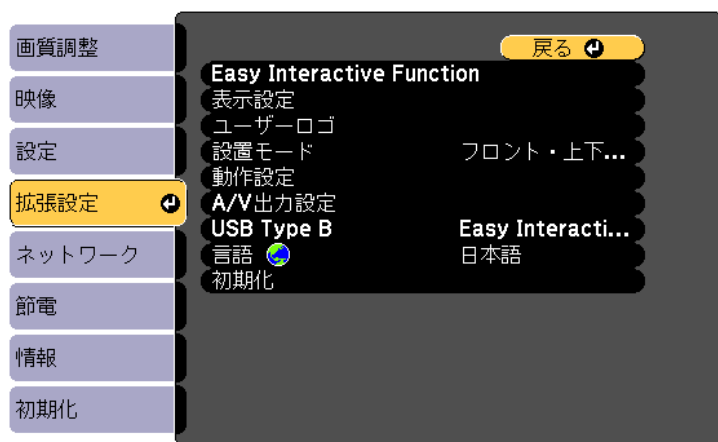
Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaをお使いのときは、ペン入力とインクツールを使って手書きで入力したり、注釈を追加したりできます。

また、インタラクティブ機能をネットワーク上で有効になるように設定している場合は、ネットワークを介してペン入力とインクツールを使用できます。

Windowsのペン入力とインク機能を有効にする

Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaでペン入力とインク機能を使用するには、環境設定メニューの[拡張設定]からペンの動作を設定します。

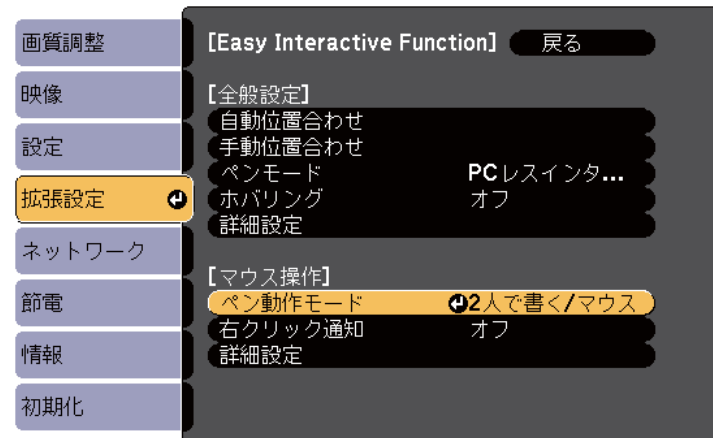
- 1 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



- 2 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 【ペン動作モード】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 4 次のいずれかを選択します。

- [1人で書く/ペン]を選択して、【決定】ボタンを押します (EB-590WTのみ)。
- ペン入力を使用している場合は、[モード2]を選択して、【決定】ボタンを押します (EB-595WTのみ)。

- インク機能を使用している場合は、[モード1]または[モード2]を選択して、【決定】ボタンを押します(EB-595WTのみ)。



[モード1]または[モード2]を選択している場合は、Windows のマルチタッチ機能が使用できます(EB-595WTのみ)。


Windowsのペン入力とインク機能を使用する

Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaをお使いのときは、手書きで描画したり、手書き入力をテキストに変換したりできます。

Microsoft Office 2007以降では、インク機能を使って、Word、Excel、またはPowerPointのファイルに手書きで注釈を追加できます。



Microsoft Officeのバージョンにより、機能のオプション名が異なる場合があります。

- Windows 8でタッチキーボードを表示するには、タスクバーで右クリックまたは長押しして、[ツールバー] > [タッチキーボード]の順に選択します。キーボードアイコンを選択して、ペンアイコンを選択します。
- Windows 7またはWindows VistaでタブレットPCの入力パネルを表示するには、 > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [Tablet PC] > [Tablet PC入力パネル]の順に選択します。
ペンまたは指(EB-595WT)を使ってボックス内に書き込み、さまざまなオプションを使って、テキストを編集したり変換したりできます。

- Microsoft Officeアプリケーションでインク注釈を追加するには、[校閲]メニューから[インクの開始]を選択します。



WordまたはExcelでは、[挿入]タブから[インクの開始]をクリックしてください。

- PowerPointのスライドショーに注釈を追加するには、投写面上でペン側面のボタンを押す、または指先で投写面を3秒間押し続けて、[ポイントオプション] > [ペン]の順に選択します。



Windows XP Tablet PC Editionでも同じように操作できます。

機能の詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。



便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

USBストレージの画像を投写する(PC Free)

USBメモリーやUSBハードディスクなどのUSBストレージを本機に装着して、保存されているファイルをコンピューターを使わずに投写できます。この機能をPC Freeといいます。



- セキュリティー機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。
- PC Freeで投写時は、操作パネルの【凸】【凹】ボタンを押しても台形補正はできません。

PC Freeで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合は投写できません。 ・ CMYKカラーモード形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 解像度が8192x8192を超えるもの JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。
	.gif	<ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1280x800を超えるものは投写できません。 • アニメーションGIFは投写できません。
	.png	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
	.avi (Motion JPEG)	<ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1280x720を超えるものは投写できません。 • 音声フォーマットがリニアPCM、ADPCM以外の音声は再生できません。 • AVI1.0に対応しています。ファイルサイズが2GBを超えるものは投写できません。



- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

PC Freeの利用例

USBストレージに保存した画像を投写する



☛ 「選択した画像・動画を投写する」 [p.103](#)

☛ 「フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）」 [p.104](#)

PC Freeの操作方法

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。

起動する

1 入力ソースをUSBに切り替えます。

☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.48

2 プロジェクターにUSBストレージをセットします。

☛ 「USB機器の接続」 p.36




PC Freeが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。

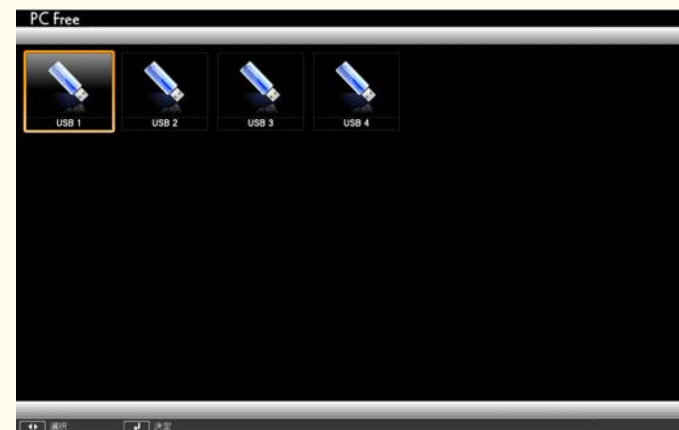
- 以下のファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。
 - JPEGファイル
 - AVIファイル(動画の先頭の画像)
- それ以外のファイルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	JPEGファイル※		BMPファイル
	GIFファイル		PNGファイル
	AVI (Motion JPEG) ファイル※		

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。







- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- 以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、【】【】【】ボタンを押して使用するドライブを選択し、【決定】ボタンを押します。




- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。


投写する

1

【】【】【】【】ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダーを選択します。



現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれていない場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面下部の[次のページ]にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。

前の画面に戻る場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面上部の[前のページ]にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。

2 【決定】ボタンを押します。

選択した映像が表示されます。

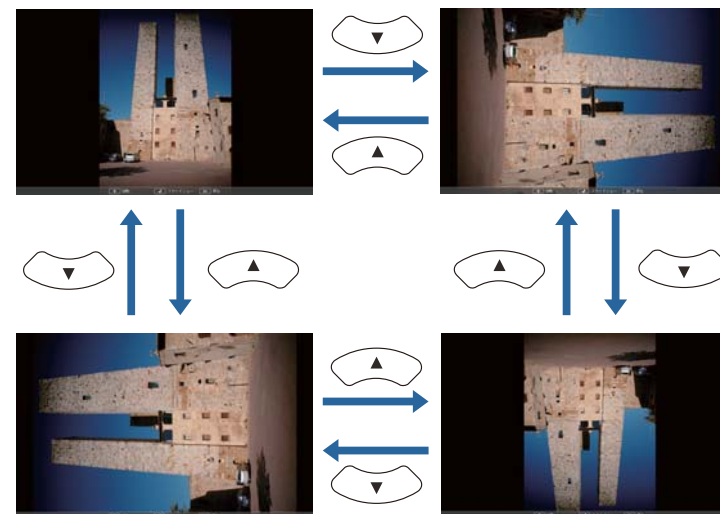
フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、[上へ戻る]を選択して【決定】ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

画像を回転する

再生した画像を90°単位で回転できます。PC Free実行時に再生される画像も回転できます。

1 画像を再生するか、PC Freeを実行します。

2 画像が再生されたら、【】ボタンまたは【】ボタンを押します。



終了する

PC Freeを終了するには、接続しているUSB機器を本機のUSB端子から取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

選択した画像・動画を投写する

注意

USBストレージにアクセス中はUSBストレージの接続を外さないでください。PC Freeに異常が発生する場合があります。

- 1 **PC Freeを起動します。**
ファイル一覧画面が表示されます。
☞「起動する」 [p.102](#)

- 2 **【戻る】【進む】【リセット】【終了】ボタンを押して、投写する画像ファイルを選択します。**



- 3 **【決定】ボタンを押します。**
画像を再生します。



画像を再生中に【戻る】【進む】ボタンを押すと、画像ファイルの送り/戻しができます。

- 4 **再生を終了するときは、次の操作を行います。**
 - 静止画を投写中：【戻る】ボタンを押す。
 - 動画を投写中：【戻る】ボタンを押して表示されるメッセージ画面で、[終了]を選択して【決定】ボタンを押す。
再生を終了すると、ファイル一覧画面に戻ります。

フォルダー内の画像ファイルを連続投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



PC Freeでファイルを自動的に切り替えて表示するには、PC Freeの【オプション】で[表示時間設定]を[なし]以外に設定してください。初期設定は3秒に設定されています。

☞「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
[p.105](#)

- 1 **PC Freeを起動します。**
ファイル一覧画面が表示されます。
☞「起動する」 [p.102](#)
- 2 **【戻る】【進む】【リセット】【終了】ボタンを押して、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせ【決定】ボタンを押します。**

3 ファイル一覧画面の下部で[スライドショー]を選択して、【決定】ボタンを押します。

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション画面で[繰り返し再生]を[オン]に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。

☞ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
p.105

スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。



オプション画面で[表示時間設定]を[なし]に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にファイルが切り替わりません。【←】ボタン、【決定】ボタンまたは【⏮】ボタンを押して、次のファイルを投写します。

次の機能はPC Freeで画像ファイルを投写しているときも同様に使えます。

• 静止

☞ 「映像を停止させる（静止）」 p.107

• A/Vミュート

☞ 「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106

• Eズーム

☞ 「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.108

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

1 ファイル一覧画面下部の[オプション]を選択して【決定】ボタンを押します。

2 次のオプション画面が表示されますので、各項目を設定します。 変更したい項目の設定にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押すと、設定が有効になります。

各項目の詳細は次の表のとおりです。



表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順]から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順]から選択します。
繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。

表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。[なし] (0)～60秒までの設定ができます。[なし]に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

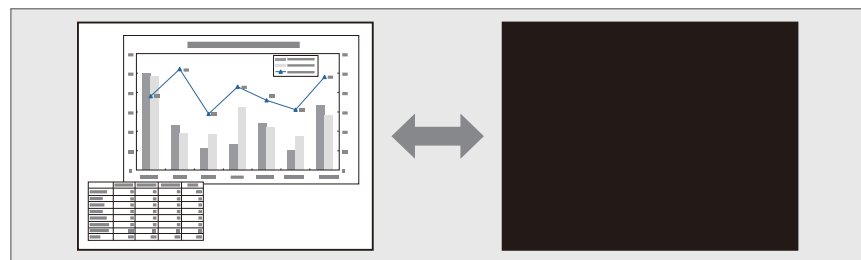
3 【】【】【】【】ボタンを押して[OK]にカーソルを合わせて、【決定】ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、[キャンセル]にカーソルを合わせて、【決定】ボタンを押します。

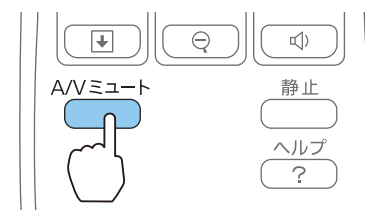
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話に集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



【A/Vミュート】ボタンを押すたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

リモコン



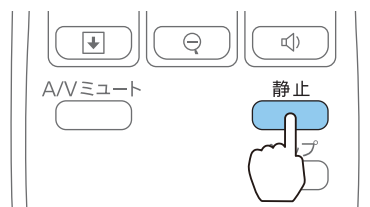
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- A/Vミュート中もマイクの音声は出力されます。
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示される画面は、環境設定メニューから選択できます。
 - ☛ 【拡張設定】-【表示設定】-【A/Vミュート】 [p.140](#)
- 【A/Vミュート】ボタンでA/Vミュートを実行して約30分経つと、【A/Vミュートタイマー】が機能して自動的に電源がオフになります。【A/Vミュートタイマー】を機能させたくないときは【A/Vミュートタイマー】を【オフ】にします。
 - ☛ 【節電】-【A/Vミュートタイマー】 [p.152](#)
- A/Vミュート中もランプは点灯しているので、ランプ点灯時間に累積されます。

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

【静止】ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

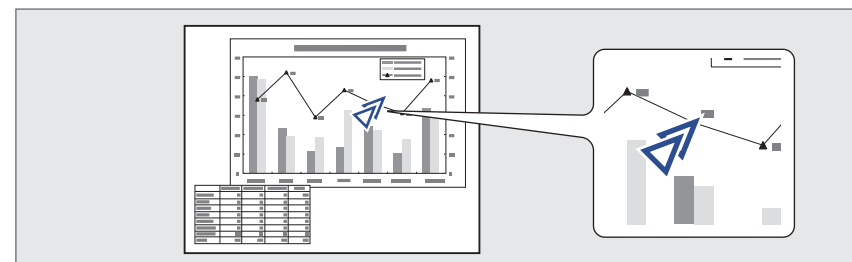
リモコン



- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、静止したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に【静止】ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

説明箇所を指し示す(ポインター)

ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。

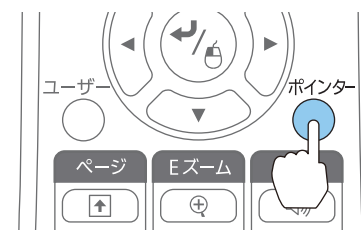


1

ポインターを表示します。

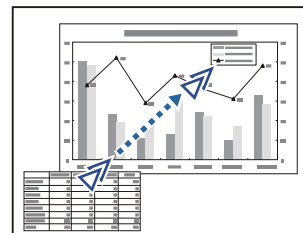
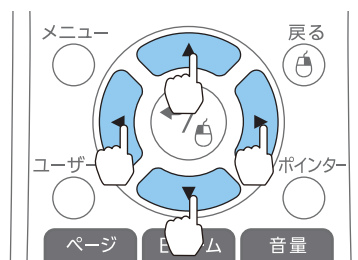
【ポインター】ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

リモコン



2 ポインターアイコン(👉)を移動します。

リモコン



隣り合う【👁】【👁】【👁】【👁】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

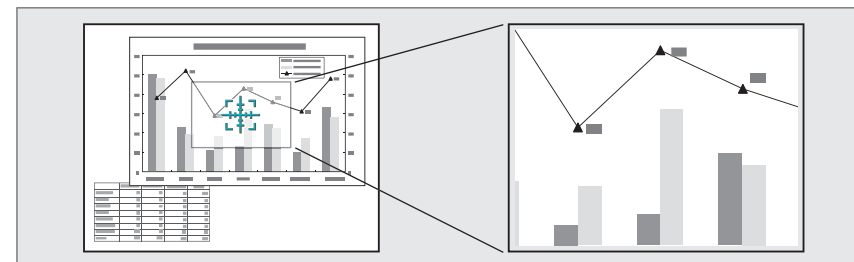


ポインターアイコンの形状は環境設定メニューから設定できます。

👉 [設定]-[ポインター形状] [p.138](#)

映像を部分的に拡大する(Eズーム)

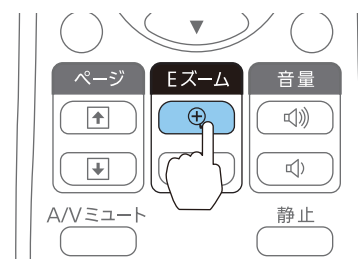
グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。



1 Eズームを開始します。

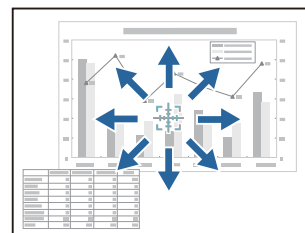
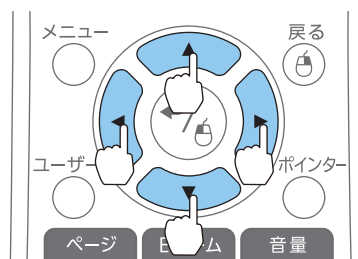
【⊕】ボタンを押すと、ターゲットスコープ(📏)が表示されます。

リモコン



2 拡大表示したい部分にターゲットスコープ()を移動させます。

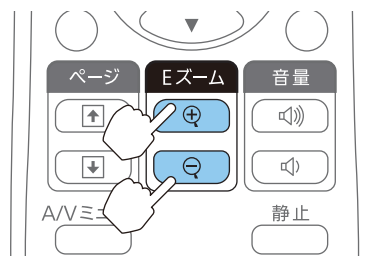
リモコン



隣り合う【△】【▽】【○】【□】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

3 拡大します。

リモコン



【+】ボタン：押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

【-】ボタン：拡大した結果を縮小します。

【戻る】ボタン：Eズームを解除します。



- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大投写中に【△】【▽】【○】【□】ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)

本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作できます。この機能をワイヤレスマウスと呼びます。

ワイヤレスマウスの対応OSは以下の通りです。

	Windows	OS X
OS	Windows 2000 Windows XP Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1	Mac OS X 10.3.x Mac OS X 10.4.x Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x

※ OSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。

ワイヤレスマウスを実行するには、以下の設定をします。

1 環境設定メニューの[USB Type B]を[ワイヤレスマウス/USB Display]に設定します(EB-595WT/EB-590WTのみ)。

☛ [拡張設定]-[USB Type B] p.140

2 本機とコンピューターを同梱または市販のUSBケーブルで接続します。

☛ 「コンピューターの接続」 p.30

3 入力ソースを以下のいずれかに切り替えます。

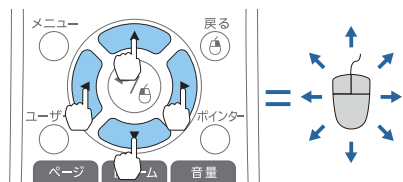
- USB Display
- コンピューター1
- コンピューター2

- HDMI1
- HDMI2

☞「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.48

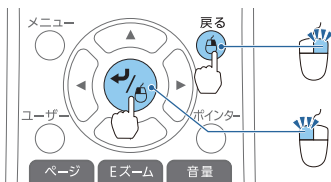
設定した後はマウスポインターを次のように操作できます。

マウスポインターの移動



【】【】【】【】ボタン：
マウスポインターを移動します。

マウスクリック







【戻る】ボタン：マウスの右クリックの働きをします。

【決定】ボタン：マウスの左クリックの働きをします。ダブルクリックのときはすばやく2回押します。


ドラッグ&ドロップ




【決定】ボタンを押したまま、【】
【】【】【】ボタンを押してド
ラッグします。
任意の場所で【決定】ボタンを離すと、ドロップします。





ページの送り/戻し



【】ボタン：ページを戻します。

【】ボタン：ページを送ります。



- 隣り合う【】【】【】【】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。
 - コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
 - 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・ [拡張設定]-[USB Type B]が、[ワイヤレスマウス/USB Display]以外になっているとき (EB-595WT/EB-590WTのみ)
 - ・ HDMI1/MHL入力端子にMHLケーブルで接続している機器からの映像を投写しているとき
 - ・ 環境設定メニューやヘルプを表示しているとき
 - ・ ワイヤレスマウス以外の機能を実行しているとき (音量調整など)
- ただし、Eズームやポインター機能を使用しているときは、ページの送り/戻しのみ操作できます。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

登録したユーザーロゴは、投写開始時や映像信号が入力されていないときの表示画面として使用できます。

☛ [拡張設定]-[表示設定] p.140



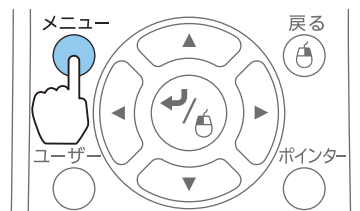
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。
- 一括設定機能を使って環境設定の内容を他のプロジェクターに設定すると、登録してあるユーザーロゴは他のプロジェクターにも設定されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

☛ 「複数台のプロジェクターを一括設定する」 p.155

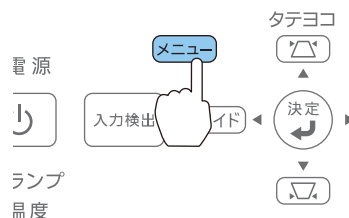
1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.132

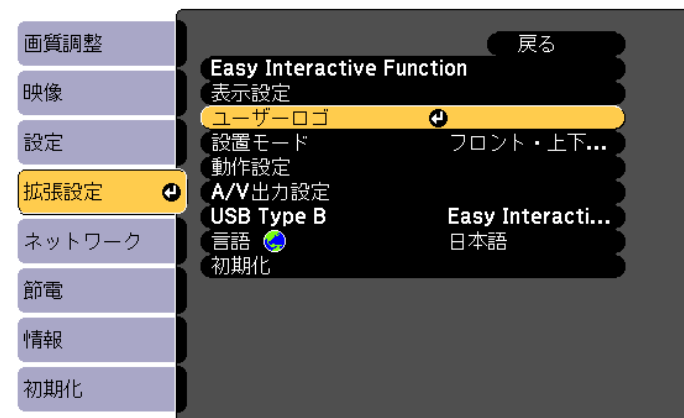
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [拡張設定]から[ユーザーロゴ]を選びます。



- [パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから操作してください。

☛ 「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 p.115

- 台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整を行っているときに[ユーザーロゴ]を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

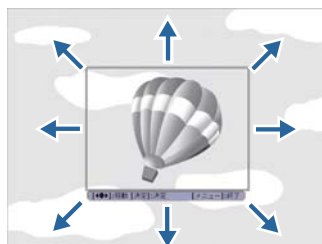
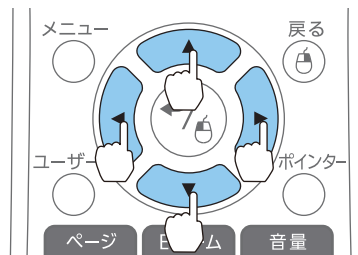


リモコンまたは操作パネルの【決定】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

- 4** 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。

プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

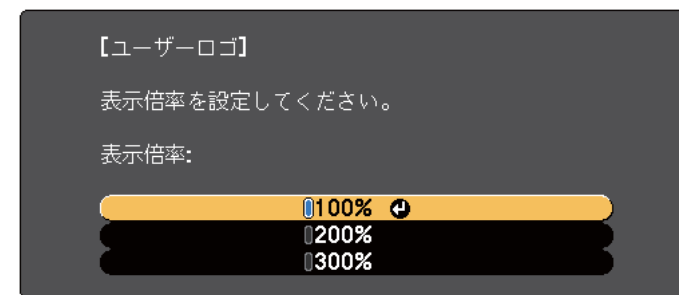
リモコン



登録できるサイズは400x300ドットです。

- 5** 【決定】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

- 6** 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



- 7** 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。

ユーザーパターンの登録

本機には罫線や格子など4種類のパターン映像が登録されています。

☛ [設定]-[パターン]-[パターン種類] p.138

その他に、現在表示している映像をユーザーパターンとして登録できます。

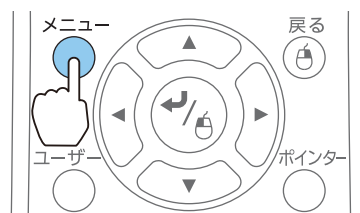


ユーザーパターンの登録を実行すると、現在登録されているユーザーパターンは消去されます。

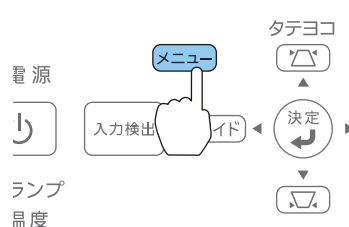
1 ユーザーパターンとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.132

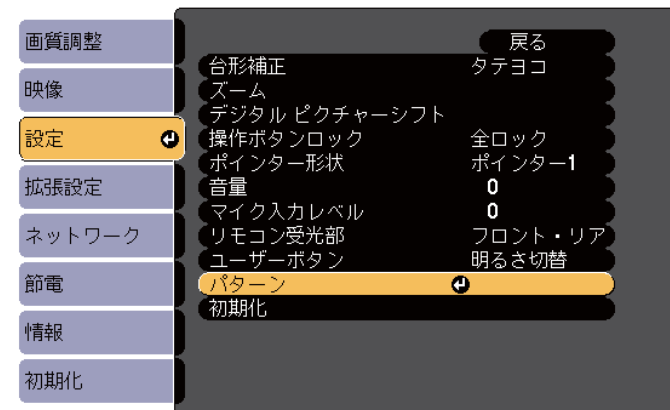
リモコンの場合



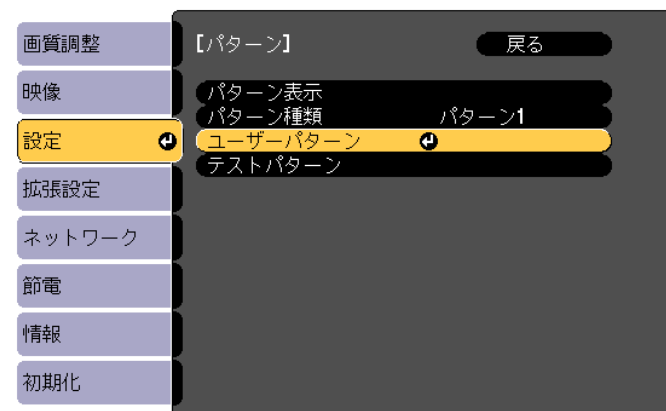
操作パネルの場合



2 [設定]から[パターン]を選びます。



3 [ユーザーパターン]を選びます。



台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整、デジタル ピクチャーシフトを行っているときに[ユーザーパターン]を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

4 「現在投写されている映像をユーザーパターンとして使いますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

- 5** 【↵】ボタンを押すと、「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーパターンの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ユーザーパターンは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
☛ 「操作を制限する（操作ボタンロック）」 [p.117](#)
- 盗難防止用ロック
本機には機器そのものを持ち出されないように、盗難防止の機構が備わっています。
☛ 「盗難防止用ロック」 [p.118](#)

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

- [電源投入時]
[電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力すると、投写が開始されます。

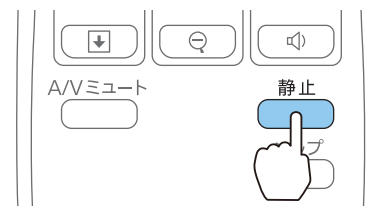
- [ユーザーロゴ保護]
せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
 - ユーザーロゴのキャプチャー
 - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]の設定
☛ [拡張設定]-[表示設定] [p.140](#)
- [ネットワーク保護]
[ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更を禁止できます。
☛ 「ネットワークメニュー」 [p.145](#)

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、以下の手順で行います。

- 1 投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。**
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

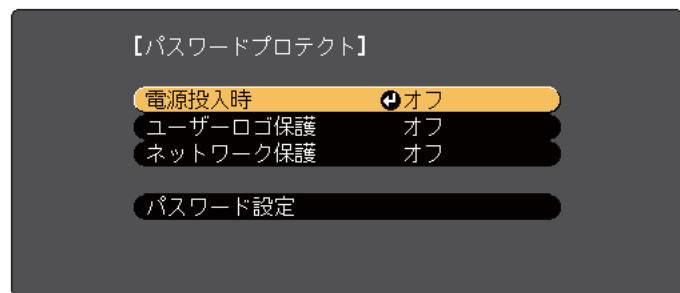
リモコン





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
- ☛ 「パスワードの認証」 p.116
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

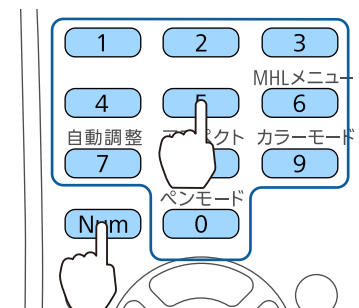


3 【オン】を選択し、【決定】ボタンを押します。 【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

4 パスワードを設定します。

- (1) 【パスワード設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。【いいえ】を選択すると、手順2の画面に戻ります。
- (3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン

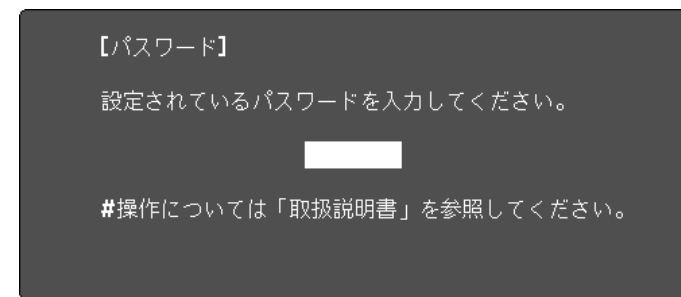


- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。



正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。


☞ 『お問い合わせ先』

- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」

☞ 『お問い合わせ先』

操作を制限する(操作ボタンロック)

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。

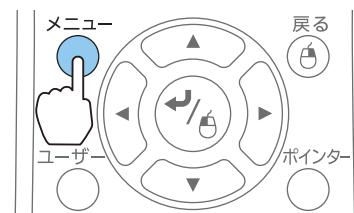
- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの【】電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写中に本機の操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

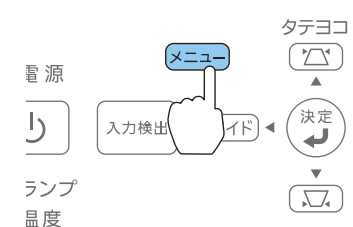
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 [p.132](#)

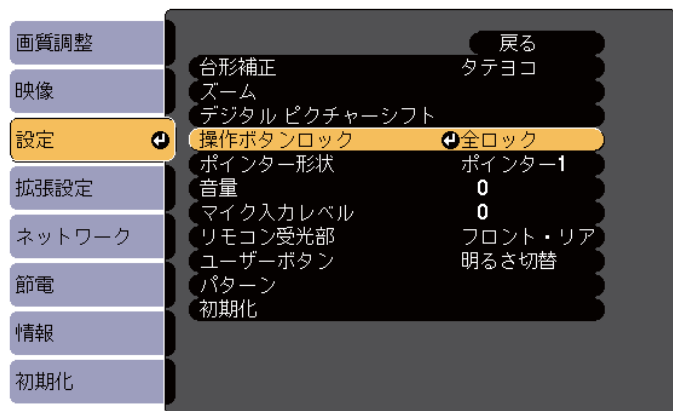
リモコンの場合



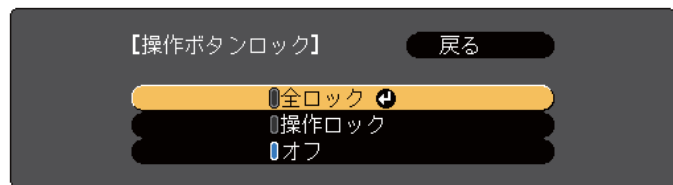
操作パネルの場合



2 [設定]から[操作ボタンロック]を選びます。



3 目的に応じて、[全ロック]または[操作ロック]を選択します。




4 確認のメッセージが表示されるので、[はい]を選びます。

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- [操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。
 [設定]-[操作ボタンロック] [p.138](#)
- 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

盗難防止用ロック

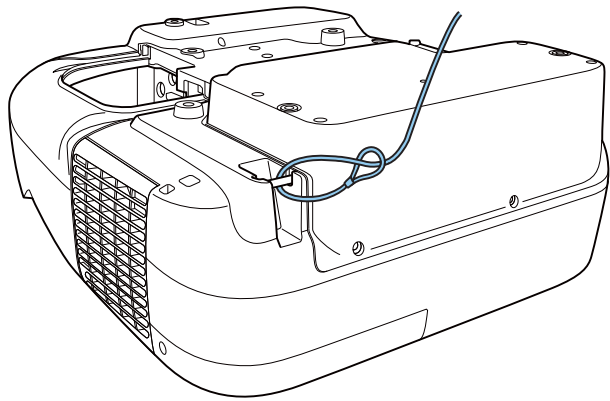
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティスロット
 Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
 マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、以下をご覧ください。
<http://www.kensington.com/>
- セキュリティーケーブル取付け部
 市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。プロジェクターを壁掛けまたは天吊り設置するときに、落下防止用ワイヤー等はこの部分に通さないでください。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



EasyMP Monitorについて

EasyMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピュータのモニターに表示して確認したり、コンピュータから制御したりできます。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

EasyMP Monitorでできる監視・制御は次のとおりです。

- 監視・制御するプロジェクターの登録
- 登録したプロジェクターのグループ登録
- 登録したプロジェクターの状態監視
- 登録したプロジェクターの制御
- メール通知機能の設定
- 登録したプロジェクターへのメッセージ送信

Message Broadcastingについて

Message BroadcastingはEasyMP Monitor用のプラグインソフトです。Message Broadcastingを使うと、ネットワーク接続されたすべてのエプソンプロジェクター、または指定したプロジェクターにメッセージ(JPEGファイル)を送信し、投写することができます。

データは手動で送信したり、EasyMP Monitorのタイマー機能を使って自動的に送信することができます。

Message Broadcastingは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)

本機とネットワーク接続したコンピュータのWebブラウザーを利用して、コンピュータから本機の設定や制御が行えます。この機能を使えば、本機と離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザーは、Microsoft Internet Explorer8.0以降を使用してください。OS Xをお使いの場合は、Safariを使用してください。



【待機モード】を【通信オン】に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザーを使った設定や制御ができます。

☛ 【節電】-【待機モード】 [p.152](#)

本機の設定

本機の環境設定メニューで設定する項目をWebブラウザー上で設定できます。設定した内容は、環境設定メニューに反映されます。また、Webブラウザーでのみ設定できる項目もあります。

Webブラウザーで設定できない環境設定メニューの項目

- 設定メニュー - デジタル ピクチャーシフト
- 設定メニュー - ポインター形状
- 設定メニュー - パターン(パターン種類を除く)
- 設定メニュー - ユーザーボタン
- 拡張設定メニュー - ユーザーロゴ
- 拡張設定メニュー - USB Type B

- 拡張設定メニュー - Easy Interactive Function
 - 拡張設定メニュー - 言語
 - 拡張設定メニュー - 動作設定 - 高地モード
 - 初期化メニュー - 全初期化、ランプ点灯時間初期化
- 各メニューの項目の内容は本機の環境設定メニューと同じです。
- ☞ 「環境設定メニュー」 [p.131](#)

Webブラウザでのみ設定できる項目

- SNMPコミュニティ名(半角英数字で最大32文字)
- Monitorパスワード(半角英数字で最大16文字)

Web制御画面を表示する

以下の手順で、Web制御画面を表示します。

コンピュータとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、マニュアルモードで接続してください。



ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

- 1** コンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2** Webブラウザのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピュータのキーボードのEnterキーを押します。
Web制御画面が表示されます。
環境設定メニューで[Web制御パスワード]を設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。

- 3** ユーザーIDとパスワードを入力し、コンピュータのキーボードのEnterキーを押します。

ユーザーIDは「**EPSONWEB**」です。

パスワードの初期設定は「**admin**」です。

正しいユーザーIDとパスワードを入力すると、Web制御画面が表示されます。



- パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。ユーザーIDは変更できません。
- パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。
☞ [ネットワーク]-[基本設定]-[Web制御パスワード] [p.145](#)

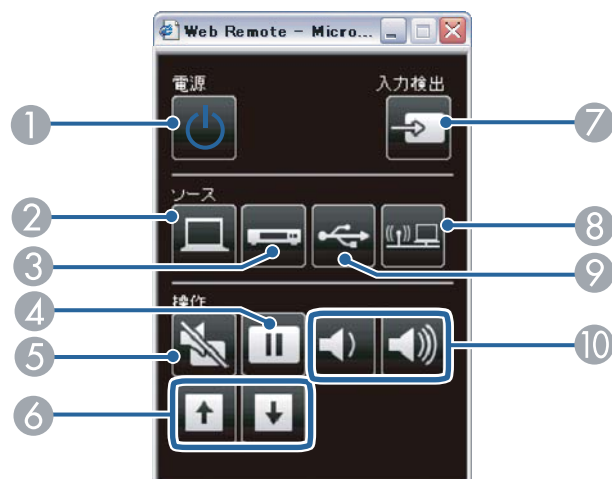
Web Remote画面を表示する


Web Remote機能では、プロジェクターのリモコンでの操作をWebブラウザで行うことができます。





- 1** Web制御画面を表示します。
- 2** Web Remoteをクリックします。



- 3** Web Remote画面が表示されます。



名称	働き
① 【電源】ボタン 【  】	本機の電源をオン/オフします。 ☛「投写までの流れ」 p.46
② 【コンピューター】ボタン	押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。 • コンピューター1入力端子 • コンピューター2入力端子
③ 【ビデオ】ボタン	押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。 • S-ビデオ入力端子 • ビデオ入力端子 • HDMI1/MHL入力端子 • HDMI2入力端子
④ 【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」 p.107
⑤ 【AVミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」 p.106

名称	働き
⑥ 【ページ】ボタン 【送り】【戻し】	以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。 • ワイヤレスマウス機能時 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.109 • USBディスプレイ時 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.49 • ネットワーク接続時 PC Freeで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。
⑦ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.47
⑧ 【LAN】ボタン	ネットワークで接続している機器からの映像に切り替えます。 ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.48
⑨ 【USB】ボタン	押すたびに、以下の映像に切り替えます。 • USBディスプレイ • USB-A端子に接続した機器からの映像 ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.48
⑩ 【音量】ボタン 【  】【  】	【  】音量を下げます。 【  】音量を上げます。 ☛「音量を調整する」 p.62

メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所においても本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[メール]-[メール通知機能] [p.150](#)



- 送信先(宛先)は3つまで登録でき、一括して送ることができます。
 - 本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
 - [待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
- ☛ [節電]-[待機モード] [p.152](#)

異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定していて本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

差出人：メールアドレス1

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は以下のとおりです。

- Internal error(内部異常)
- Fan related error(ファン異常)

- Sensor error(センサー異常)
- Lamp timer failure(ランプ点灯失敗)
- Lamp out(ランプ異常)
- Internal temperature error(内部高温異常/オーバーヒート)
- High-speed cooling in progress(高温警告)
- Lamp replacement notification(ランプ交換勧告)
- No-signal(ノーシグナル)
本機に映像信号が入力されていません。 接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
- Auto Iris Error(オートアイリス異常)
- Power Err. (Ballast)(電源系異常(バラスト))
- Obstacle Detection Error(障害物検知異常)

異常/警告の対処方法は、以下をご確認ください。

☛ 「インジケータの見方」 [p.158](#)

SNMPを使って管理する

環境設定メニューで[SNMP]を[オン]に設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも本機の異常を知ることができます。

☞ [ネットワーク]-[その他]-[SNMP] [p.151](#)



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使って本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。
- 本機のSNMPエージェントはバージョン1(SNMPv1)に準拠しています。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。

ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah) を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信します。

主な内容は以下のとおりです。

項 目			コマンド
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター1	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	コンピューター2	オート	SOURCE 2F
		RGB	SOURCE 21
		コンポーネント	SOURCE 24
	HDMI1/MHL		SOURCE 30
	HDMI2		SOURCE A0
	ビデオ		SOURCE 41
	S-ビデオ		SOURCE 42
	USB Display		SOURCE 51

項 目		コマンド
	USB	SOURCE 52
	LAN	SOURCE 53
A/Vミュート機能の オン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

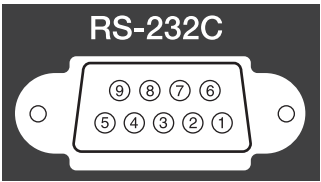
☞ [『お問い合わせ先』](#)

ケーブル配線

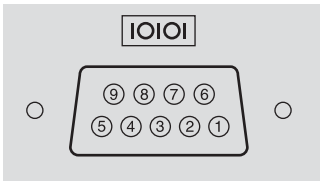
シリアル接続

- コネクタ形状：D-Sub 9pin(オス)

- プロジェクター入力端子名：RS-232C
＜プロジェクター側＞



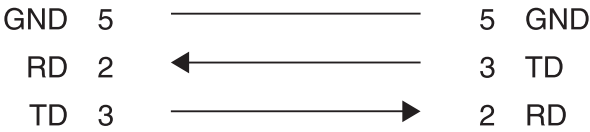
＜コンピューター側＞



＜プロジェクター側＞

(PCシリアルケーブル)
ケーブルタイプ：
クロスケーブル

＜コンピューター側＞



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

PJLinkについて

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIAが策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

☛ 「ネットワークメニュー」 [p.145](#)

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL : <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

• 非対応コマンド

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

• PJLinkで定義している入力名と本機の入力ソースの対応

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター1	INPT 11
コンピューター2	INPT 12
ビデオ	INPT 21
S-ビデオ	INPT 22
HDMI1/MHL	INPT 32
HDMI2	INPT 33

入力ソース	PJLinkコマンド
USB	INPT 41
LAN	INPT 52
USB Display	INPT 53

• 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

EPSON

• 「機種情報問合せ」で表示する機種名

EPSON 595

EPSON 590

EPSON 585

EPSON 580

Crestron RoomView®について

Crestron RoomView®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron RoomView®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron RoomView®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。(英語のみの表示となります。)

<http://www.crestron.com>

Crestron RoomView®の概要は次のとおりです。

- **Webブラウザを利用した遠隔操作**

コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

- **アプリケーションソフトを利用した監視・制御**

Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron RoomView® Server Editionでシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。



- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron RoomView®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
 - ☛ 「Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）」
[p.120](#)
Message Broadcasting(EasyMP Monitorのプラグイン)
 - [待機モード]を[通信オン]に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
 - ☛ [節電]-[待機モード] [p.152](#)

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

操作画面を表示する

操作の前に以下の点をご確認ください。

- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、マニュアルモードで接続してください。
 - ☛ 「無線LANメニュー」 [p.147](#)
- [ネットワーク]メニューの[Crestron RoomView]を[オン]に設定してください。
 - ☛ [ネットワーク]-[その他]-[Crestron RoomView] [p.151](#)

1

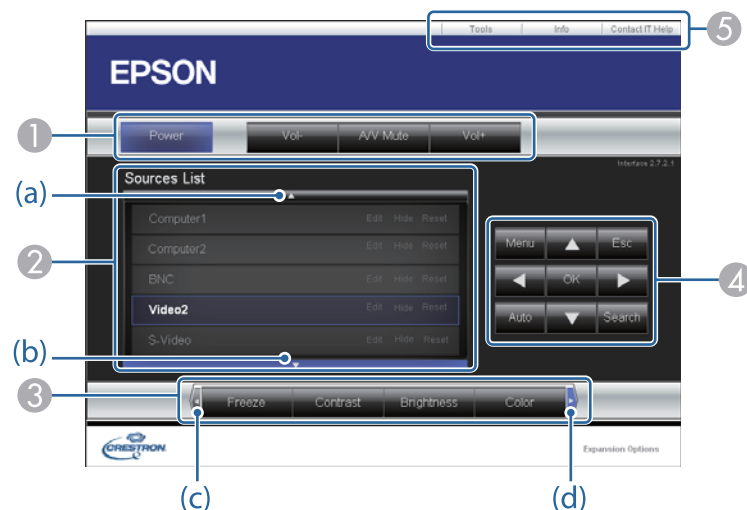
コンピューターでWebブラウザを起動します。

2

Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードのEnterキーを押します。

操作画面が表示されます。

操作画面の使い方







- ① 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。
Vol-/Vol+	音量の調整を行います。
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106

- ② クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。ソース名は任意で変更できます。
- ③ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Freeze	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」p.107
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[⏏]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像を拡大します。[⏏]ボタンをクリックすると、[⏏]ボタンで拡大した結果を縮小します。 [⏏][⏏][⏏][⏏]ボタンで拡大表示する位置を移動します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」p.108

- ④ [⏏][⏏][⏏][⏏]ボタンをクリックするとリモコンの【】【】【】【】ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

ボタン	機能
OK	リモコンの【決定】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」p.17
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Auto	コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。

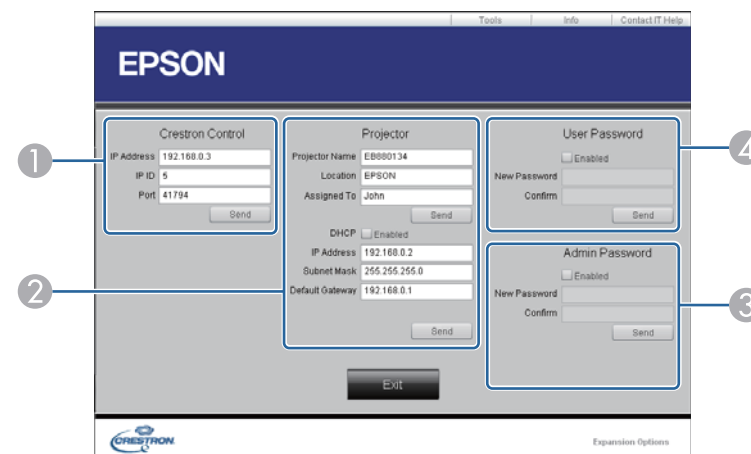
ボタン	機能
Search	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☞「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.47
Esc	リモコンの【戻る】ボタンと同じ操作を行えます。 ☞「リモコン」 p.17

⑤ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView®Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。



① Crestron Control

Crestron®の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。

② Projector

以下の項目を設定できます。

項目名	機能
Projector Name	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。（半角英数字15文字以内）
Location	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
Assigned To	プロジェクターの利用者名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
DHCP	DHCPを使用するときは、 Enabled にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。

項目名	機能
IP Address	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	Projector で変更した内容を確定するときにクリックします。

③ Admin Password

Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	Admin Password で変更した内容を確定するときにクリックします。

④ User Password

コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	User Password で変更した内容を確定するときにクリックします。



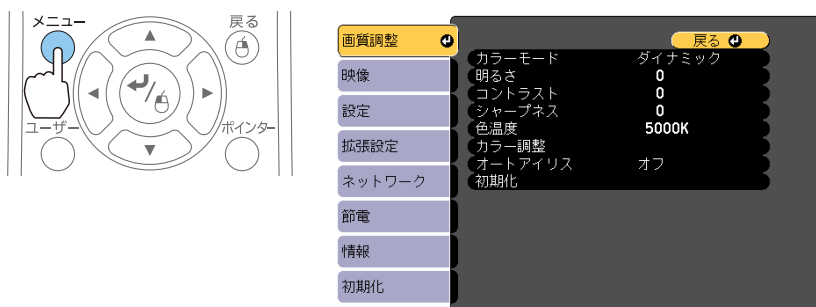
環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

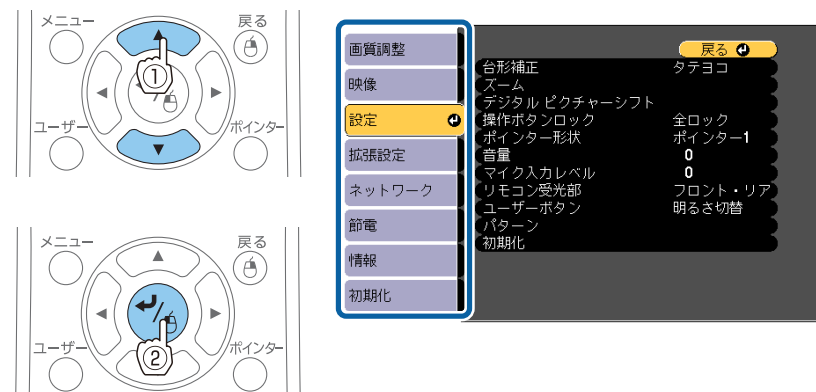
環境設定メニューの操作方法を説明します。

リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

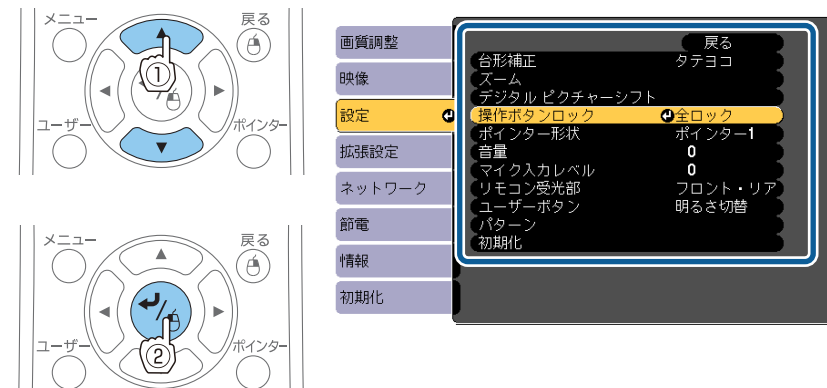
1 環境設定メニュー画面を表示します。



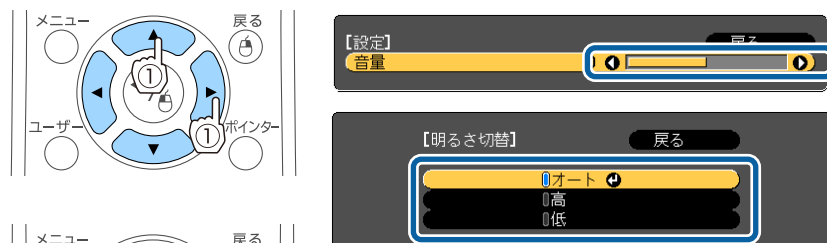
2 トップメニュー項目を選択します。



3 サブメニュー項目を選択します。



4 設定を変更します。





5 【メニュー】ボタンを押して、設定を終了します。



環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。



トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー 🖱️ p.135	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、黒板、ホワイトボード
	明るさ	-24～24
	コントラスト	-24～24
	色の濃さ	-32～32
	色合い	-32～32
	シャープネス	-5～5
	色温度	5000K～10000K、-3～6
	カラー調整	赤：-16～16 緑：-16～16 青：-16～16
	オートアイリス	オフ、標準、高速
映像メニュー 🖱️ p.136	自動調整	オン、オフ
	入力解像度	オート、ワイド、ノーマル
	トラッキング	-
	同期	-
	表示位置	上、下、左、右
	プログレッシブ変換	オフ、ビデオ、フィルム/オート
	ノイズリダクション	オフ、NR1、NR2
	HDMI ビデオレベル	オート、通常、拡張
	入力信号方式	オート、RGB、コンポーネント

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM
	アスペクト	ノーマル、オート、4:3、16:9、フル、ズーム、リアル
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%
	映像処理	きれい、速い
設定メニュー 🖱️ p.138	台形補正	タテヨコ、Quick Corner
	幾何学歪み補正	タテヨコ、Quick Corner、湾曲補正
	ズーム	0(ワイド)～40(テレ)
	デジタル ピクチャーシフト	-
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ
	ポインター形状	ポインター1、ポインター2、ポインター3
	音量	0～20
	マイク入力レベル	0～5
	リモコン受光部	フロント・リア、フロント、リア、オフ
	ユーザーボタン	明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、入力解像度、マイク入力レベル、パターン表示、自動位置合わせ
	パターン	パターン表示、パターン種類、ユーザーパターン、テストパターン

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
拡張設定メニュー  p.140	Easy Interactive Function	[全般設定]の項目 自動位置合わせ、手動位置合わせ、タッチユニット設置、ペンモード、ホバリング、詳細設定 [マウス操作]の項目 ペン動作モード、右クリック通知、詳細設定
	表示設定	メッセージ表示、背景表示、スタートアップスクリーン、A/Vミュート、ツールバー、ペンモードアイコン、プロジェクター制御
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・上下反転、リア、リア・上下反転
	動作設定	ダイレクトパワーオン、高地モード、起動時入力検出、モニター出力端子
	A/V出力設定	A/V出力、音声出力、HDMI1 音声出力、HDMI2 音声出力
	USB Type B	Easy Interactive Function、USB Display/Easy Interactive Function、ワイヤレスマウス/USB Display
	言語	15言語
節電メニュー  p.152	明るさ切替	オート、高、低
	ライトオブティマイザー	オン、オフ
	スリープモード	オン、オフ
	スリープモード時間	1～30
	A/Vミュートタイマー	オン、オフ
	待機モード	通信オン、通信オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	節電表示	オン、オフ
情報メニュー  p.153	ランプ点灯時間	-
	入力ソース	-
	入力信号	-
	入力解像度	-
	ビデオ信号方式	-
	リフレッシュレート	-
	同期情報	-
	ステータス	-
初期化メニュー  p.154	シリアル番号	-
	バージョン	-
	Event ID	-
	全初期化	-
	ランプ点灯時間初期化	-

ネットワークメニュー

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー  p.147	プロジェクター名	-
	PJLinkパスワード	-
	Web制御パスワード	-
	プロジェクターキーワード	オン、オフ
無線LANメニュー  p.147	無線LAN電源	オン、オフ
	接続モード	かんたんモード、マニュアルモード
	チャンネル設定	1ch、6ch、11ch

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	自動SSID設定	オン、オフ
	SSID	-
	IP設定	DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
	SSID表示	オン、オフ
	IPアドレス表示	オン、オフ
セキュリティメニュー 🖱️ p.149	セキュリティ	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK
	パスフレーズ	-
有線LANメニュー 🖱️ p.150	IP設定	DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
	IPアドレス表示	オン、オフ
メールメニュー 🖱️ p.150	メール通知機能	オン、オフ
	SMTPサーバー	-
	ポート番号	-
	宛先1設定、宛先2設定、宛先3設定	-
その他メニュー 🖱️ p.151	SNMP	オン、オフ
	トラップIPアドレス1、トラップIPアドレス2	-
	優先ゲートウェイ	有線LAN、無線LAN
	AMX Device Discovery	オン、オフ
	Crestron RoomView	オン、オフ
	Bonjour	オン、オフ
	Message Broadcasting	オン、オフ

画質調整メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

🖱️ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.47



サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 🖱️ 「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.63
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	（コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ信号入力時のみ調整可能） 映像の色の濃さを調整します。
色合い	（コンポーネントビデオ信号入力時に調整可能。コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能） 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。

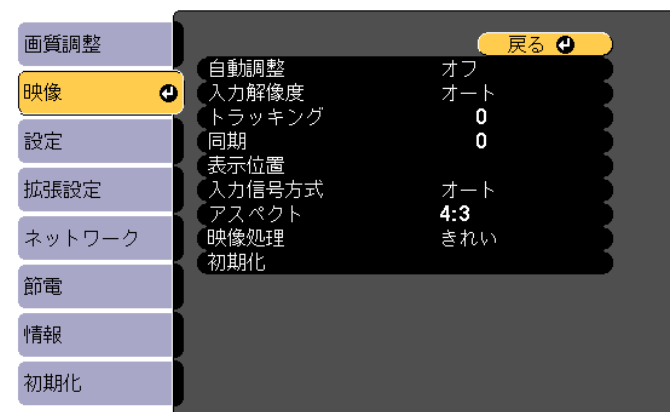
サブメニュー	機能
色温度	映像全体の色合いを調整します。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。[カラーモード]の設定によって、調整できる値が異なります。 sRGB▶の場合：5000Kから10000Kまでの10段階 それ以外の場合：-3から6までの10段階
カラー調整	([カラーモード]をsRGB▶に設定しているときは設定不可) [赤]、[緑]、[青]の色の強さを個別に調整します。
オートアイリス	([カラーモード]を[ダイナミック]または[シアター]に設定しているときのみ設定可能) [標準]または[高速]にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。映像のシーン変化に対してより早く光量を調整するときは[高速]を選択してください。 設定値はカラーモードごとに保存されます。 ☛「オートアイリス（自動絞り）を設定する」p.63
初期化	[画質調整]メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛「初期化メニュー」p.154

映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

入力ソースがUSB Display/USB/LANのときは映像メニューの設定は行えません。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.47

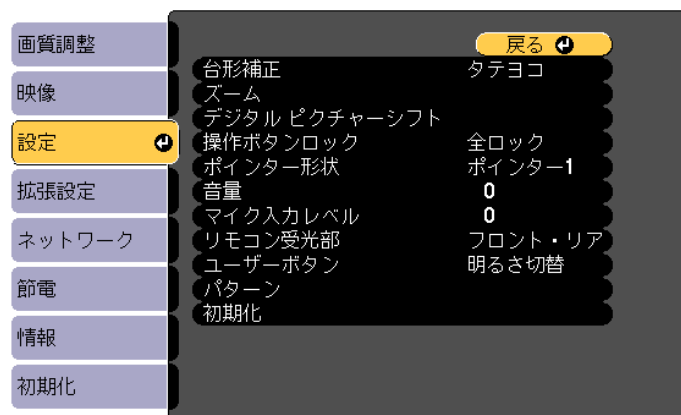


サブメニュー	機能
自動調整	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) [オン]にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
入力解像度	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) [オート]にすると、入力信号の解像度を自動で判別します。[オート]に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は[ワイド]に、4:3や5:4画面は[ノーマル]に設定してください。
トラッキング	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。




サブメニュー	機能
同期	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	(入力ソースがHDMI1またはHDMI2のときは設定不可) 映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	インターレース▶▶ (i)信号をプログレッシブ▶▶ (p)信号に変換します。(IP変換) [オフ]：動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]：映画フィルムやCG、アニメーション映像に適しています。
ノイズリダクション	([映像処理]が[速い]のときは設定不可) プログレッシブ変換した映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは[オフ]に設定してご覧ください。
HDMIビデオレベル	本機のHDMI1またはHDMI2入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。投写映像の黒浮きや白飛びが気になるときは、[拡張]に設定します。
入力信号方式	コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子からの入力信号を選択します。 [オート]にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 [オート]に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
ビデオ信号方式	S-ビデオ入力端子またはビデオ入力端子からの入力信号を選択します。[オート]にすると、ビデオ信号を自動認識します。[オート]に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像の アスペクト比▶▶ を設定します。 👉「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.64
オーバースキャン	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ設定可能) 出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、[オフ]、[4%]、[8%]のいずれかに変更できます。入力ソースがHDMI1またはHDMI2のときは[オート]が選択できます。[オート]に設定すると、入力信号に応じて自動的に変更されます。
映像処理	([Easy Interactive Function]機能で[マウス操作]を選択しているときは設定不可) [きれい]にすると、画質を優先して映像を投写します。 [速い]にすると、処理速度を優先して映像を投写します。インタラクティブ機能使用時は、ペンの追従性が向上します。
初期化	[映像]メニューのうち、[入力信号方式]と[映像処理]を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 👉「初期化メニュー」 p.154

設定メニュー



サブメニュー	機能
台形補正 (EB-595WT/ EB-585W/EB-580 のみ)	<p>台形にゆがんだ画面を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [タテヨコ] 選択時： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 ☛「タテヨコ補正」 p.53 • [Quick Corner] 選択時： 投写映像の4つの角を選んで補正します。 ☛「Quick Corner」 p.55
幾何学歪み補正 (EB-590WTのみ)	<p>ゆがんだ画面を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [タテヨコ] 選択時： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 ☛「タテヨコ補正」 p.53 • [Quick Corner] 選択時： 投写映像の4つの角を選んで補正します。 ☛「Quick Corner」 p.55 • [湾曲補正] 選択時： 湾曲したスクリーンに合わせて映像の各辺または4つの角を補正します。 ☛「湾曲補正 (EB-590WTのみ)」 p.56

サブメニュー	機能
ズーム	投写映像のサイズを調整します。
デジタル ピクチャーシフト	<p>本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。</p> <p>☛「映像の位置を調整する (デジタル ピクチャーシフト)」 p.58</p>
操作ボタンロック	<p>本機操作パネルの操作制限を設定します。</p> <p>☛「操作を制限する (操作ボタンロック)」 p.117</p>
ポインター形状	<p>ポインターの形状を選択します。</p> <p>ポインター1： </p> <p>ポインター2： </p> <p>ポインター3： </p> <p>☛「説明箇所を指し示す (ポインター)」 p.107</p>
音量	音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
マイク入力レベル	マイクの音量を調整します。[マイク入力レベル]を0にするとマイクの音声はスピーカーから出力されません。マイク入力レベルを上げると、接続機器の音声出力は小さくなり、マイク入力レベルを下げると、接続機器の音声出力は大きくなります。
リモコン受光部	<p>リモコンからの操作信号の受信を制限します。</p> <p>[オフ]に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。</p>

サブメニュー	機能
ユーザーボタン	<p>リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。【ユーザー】ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。【ユーザー】ボタンに割り当てることのできるのは以下の項目です。</p> <p>[明るさ切替]、[情報]、[プログレッシブ変換]、[テストパターン]、[入力解像度]、[マイク入力レベル]、[パターン表示]、[自動位置合わせ] (EB-595WT/EB-590WTのみ)</p>

サブメニュー	機能
パターン	<p>[パターン表示]：パターンを表示させます。</p> <p>[パターン種類]：パターン1～5と、ユーザーパターンの6種類が選べます。パターン1～4は、罫線や格子などの補助線を表示します。パターン5は、4:3のスクリーンのフォーカス調整を行うためのテストパターンです。EB-595WT/585Wを使って4:3のスクリーンに投写した画面のフォーカス調整を行うときは、[パターン5]を選択してください。</p> <p>パターン1： パターン2：</p> <p>パターン3： パターン4：</p> <p>パターン5：</p> <p>[ユーザーパターン]：ユーザーパターンのキャプチャーを行います。</p> <p>☛「ユーザーパターンの登録」p.113</p> <p>[テストパターン]：機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、台形補正が行えます。テストパターンの表示を解除するときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>長時間パターンを表示していると投写映像に残像が残ることがあります。</p> </div>

サブメニュー	機能
初期化	<p>[設定]メニューのうち[ズーム]、[ユーザーボタン]、[デジタルピクチャーシフト]を除くすべての調整値を初期値に戻します。</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」 p.154</p>


拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
Easy Interactive Function (EB-595WT/EB-590WTのみ)	<p>インタラクティブ機能に関する操作と設定をします。</p> <p>☛「インタラクティブ機能（EB-595WT/EB-590WTのみ）」 p.68</p> <p>詳細は次の表を参照してください。</p> <p>☛「Easy Interactive Functionの設定項目」 p.143</p>

サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>[メッセージ表示]：[オフ]に設定すると、次の表示がされなくなります。</p> <p>入力ソースやカラーモード、アスペクト比を切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。</p> <p>[背景表示]※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p> <p>[スタートアップスクリーン]※1：[オン]にすると、投写開始時に[ユーザーロゴ]を表示します。</p> <p>[A/Vミュート]※1：リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示する画面を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p> <p>[ツールバー] (EB-595WT/EB-590WTのみ)：インタラクティブ機能使用時に、描画ツールバーを常に表示するかしないかを設定します。初期値は[一定時間で消去]になっています。</p> <p>[ペンモードアイコン] (EB-595WT/EB-590WTのみ)：インタラクティブ機能使用時に、ペンモードを切り替えるアイコンを常に表示するかしないかを設定します。[オフ]に設定すると非表示になります。</p> <p>[プロジェクター制御] (EB-595WT/EB-590WTのみ)：インタラクティブ機能使用時に、プロジェクター制御ツールバーの表示位置を設定します。初期値は[下]になっています。[オフ]にすると非表示になります。</p>
ユーザーロゴ※1	<p>背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。</p> <p>🖱 「ユーザーロゴの登録」 p.111</p>

サブメニュー	機能
設置モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。</p> <p>[フロント]、[フロント・上下反転]、[リア]、[リア・上下反転]</p> <p>リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。</p> <p>[フロント] ↔ [フロント・上下反転]</p> <p>[リア] ↔ [リア・上下反転]</p> <p>🖱 「いろいろな設置方法」 p.27</p>
動作設定	<p>[ダイレクトパワーオン]：[オン]にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。</p> <p>停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>[高地モード]：標高約1500m以上でお使いの場合は[オン]にします。</p> <p>[起動時入力検出]：[オフ]にすると、起動時に前回と同じ入力ソースから投写します。</p> <p>[モニター出力端子]：コンピューター2入力端子/モニター出力端子の入出力を切り替えます。外部モニターに映像を出力するときは[モニター出力]を選択します。コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力するときは[コンピューター2]を選択します。</p> <p>🖱 「インターフェイス」 p.13</p>

サブメニュー	機能
A/V出力設定	<p>[A/V出力]：([待機モード]が[通信オン]のときのみ設定可能)</p> <p>本機がスタンバイ状態のときに以下の使い方をしたいときは、[常時]に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機器に音声や映像を出力するとき。 マイクの音声を本機のスピーカーから出力するとき。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  スタンバイ状態のときにファンが回転することがありますが、異常ではありません。 </div> <p>[音声出力]：コンピューター1入力端子、コンピューター2入力端子、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子、USB-A端子から映像を投写するときに、音声を入力する端子を設定します。[音声入力1]、[音声入力2]、[音声入力3]に設定すると、入力ソースにかかわらず選択した端子からの音声を出力します([音声入力3]に設定したときは、音声入力端子からの音声を出力します)。</p> <p>[HDMI1 音声出力]/[HDMI2 音声出力]：HDMI1またはHDMI2入力端子から映像を投写するときの入力音声を設定します。[音声入力1]、[音声入力2]、[音声入力3]に設定すると、選択した音声入力端子からの音声を出力します([音声入力3]に設定したときは、音声入力端子からの音声を出力します)。</p>

サブメニュー	機能
USB Type B (EB-595WT/ EB-590WTのみ)	<p>[Easy Interactive Function]：インタラクティブ機能のコンピューター操作([マウス操作])を有効にします。USBディスプレイとワイヤレスマウス機能は使えません。</p> <p>[USB Display/Easy Interactive Function]：インタラクティブ機能のコンピューター操作([マウス操作])とUSBディスプレイを有効にします。ワイヤレスマウス機能は使えません。</p> <p>[ワイヤレスマウス/USB Display]：ワイヤレスマウス機能とUSBディスプレイを有効にします。インタラクティブ機能のコンピューター操作([マウス操作])は使えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「USBディスプレイで投写する」 p.49 ☛ 「投写画面でコンピューターの操作を行う (マウス操作)」 p.72 ☛ 「リモコンでマウスポインターを操作する (ワイヤレスマウス)」 p.109
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。
初期化	<p>[拡張設定]メニューのうち、[表示設定]※1、[動作設定]※2、[A/V出力設定]※3の調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「初期化メニュー」 p.154

※1 [ツールバー]、[ペンモードアイコン]、[プロジェクター制御]は除く。
[ユーザーロゴ保護]が[オン]のときは、[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[ユーザーロゴ]も除く。

☛ 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 [p.115](#)


※2 [高地モード]、[起動時入力検出]、[モニター出力端子]は除く。

※3 [A/V出力]は除く。

Easy Interactive Functionの設定項目

全般項目

サブメニュー	機能
自動位置合わせ	自動ペン位置合わせを実行します。
手動位置合わせ	手動ペン位置合わせを実行します。
タッチユニット設置	<ul style="list-style-type: none"> ・[設置パターン]：タッチユニットの設置位置を決める際の基準点を表示します。 ・[電源]：[オン]に設定すると、タッチユニットの電源がオンになります。 ・[角度調整]：レーザー照射の角度調整を行います。 ・[指タッチ位置合わせ]：指タッチ操作の位置合わせを実行します。
ペンモード	<p>(コンピューターの映像を投写しているときのみ設定可能)</p> <p>Easy Interactive Penの機能を切り替えます。[PCレスインタラクティブ](初期値)に設定すると、投写画面への描画ができます。[マウス操作]に設定すると、投写画面上でコンピューターのマウス操作ができます。Easy Interactive Penの機能は、リモコンの【ペンモード】ボタンまたは投写画面のペンモードアイコンでも切り替えられます。</p>
ホバリング	[オン](初期設定)に設定すると、ペン先を投写面から浮かせて動かしたときに、ペン先の動きに合わせてポインターが移動します。

サブメニュー	機能
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> ・[複数台設置距離]：同じ部屋で本機を2台以上使用するときは、プロジェクター間の距離に応じて Easy Interactive Penの動作を調整します。Easy Interactive Penの動作が不安定なときは、もう一方の設定をお試しください。[モード1]に設定する目安は距離2mです。 ・[複数台同期]：同じ部屋で本機を2台以上使用するとき、Easy Interactive Pen同士の干渉を抑制する方法を選択します。[赤外線](初期設定)に設定すると、赤外線のみで同期します。プロジェクター同士をケーブルで接続するときは、[有線接続]に設定してください。  「複数台のプロジェクターを接続する (EB-595WT/EB-590WTのみ)」 p.43 ・[有線接続同期モード]：[モード1](初期設定)に設定すると、有線接続のみで同期します。[モード2]に設定すると、[複数台同期]を[有線接続]に設定しているときも、赤外線での同期を同時に行います。有線接続に対応していないプロジェクターと同じ部屋で使用するときは[モード2]に設定してください。 ・[ペンボタン動作]：[消しゴム](初期設定)に設定すると、Easy Interactive Pen側面のボタンを押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムに交互に切り替えます。 ・[画面クリア確認]：[オン](初期設定)に設定すると、投写画面へ描画した内容をすべて消去する前に確認画面を表示します。 ・[カラーパレット]：[パレット2]を選択すると、色弱の方にも見やすい配色のパレットに変わります。初期設定のパレットの色が見えにくい方は、[パレット2]をお試しください。

マウス操作

投写画面上でコンピューターを操作するときの設定をします。

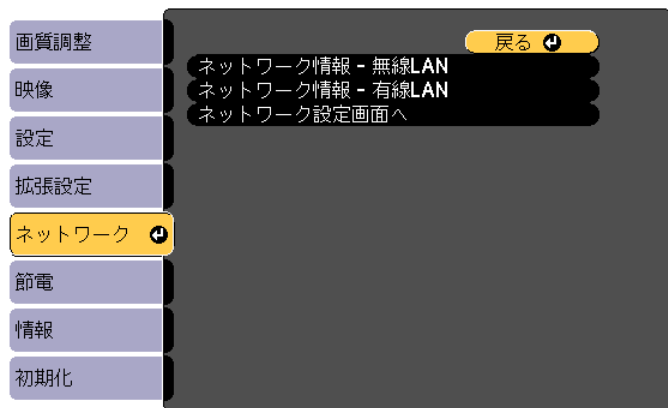
サブメニュー	機能
ペン動作モード	<p>EB-595WTの場合 接続しているコンピューターのOSに合わせて、Easy Interactive Penまたは指タッチ操作の動作モードを設定します。</p> <p>[モード1] (初期設定)：Easy Interactive Penおよび指を使ったマウス操作ができます。Windows XP以前のバージョンのコンピューターを接続するときに選択します。Windows Vista/7/8/8.1のインク機能とマルチタッチが使用できます。ペン入力は使用できません。</p> <p>[モード2]：Easy Interactive Penおよび指を使ったマウス操作ができます。Windows Vista以降のバージョンのコンピューターおよびMacを接続するときに選択します。Windows Vista/7/8/8.1のインク機能、ペン入力、マルチタッチが使用できます。</p> <p>[モード3]：マウス操作ができます。Linuxコンピューターを接続しているときに選択します。</p> <p>EB-590WTの場合 Easy Interactive Penの動作モードと使用する人数を設定します。</p> <p>[2人で書く/マウス] (初期設定)/[1人で書く/マウス]：Easy Interactive Penでマウス操作ができます。</p> <p>[1人で書く/ペン]：Windows Vista/7/8/8.1のペン機能を使用できます。</p>
右クリック通知	<p>([ペン動作モード]が[モード1]/[モード3]または[2人で書く/マウス]/[1人で書く/マウス]のときのみ設定可能)</p> <p>[オン]に設定すると、ペン先ボタンの長押しが右クリックとして機能します。</p>

サブメニュー	機能
詳細設定	<ul style="list-style-type: none">• [ペン先ボタン]：Easy Interactive Penのペン先ボタンの動作を設定します。初期設定は[左クリック]です。• [操作エリア自動調整]：[オン] (初期値)に設定すると、接続するコンピューターの解像度が変わったときに、ペン操作エリアを自動で調整します。手動調整したペン操作エリアを自動調整したくないときは、[オフ]に設定します。• [操作エリア手動調整]：ペン操作エリアを手動で調整します。

ネットワークメニュー

[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

☞ 「パスワードプロテクトの設定方法」 [p.115](#)



サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 無線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード※

サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 有線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 [基本設定]、[無線LAN]、[セキュリティー]、[有線LAN]、[メール]、[その他]、[初期化]、[設定完了]

※ お使いの無線LANユニットの、利用可能な地域情報を表示します。詳細は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☞ 『お問い合わせ先』

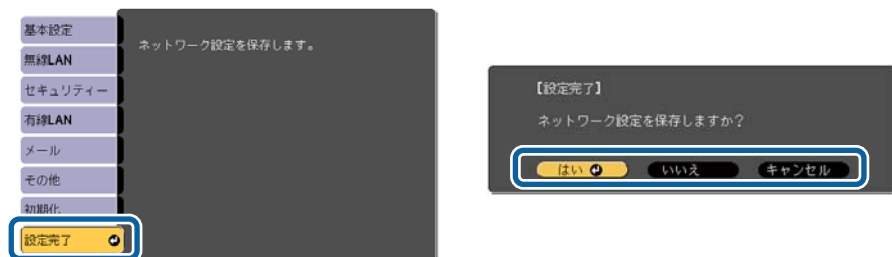


- 本機とネットワーク接続したコンピュータのWebブラウザーから本機の設定や制御が行えます。この機能をWeb制御と呼びます。Web制御はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティーの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。
☞ 「Webブラウザーを使って設定を変更する（Web制御）」 [p.120](#)
- ネットワーク設定についての詳細は、ネットワーク管理者にご確認ください。

ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず[設定完了]メニューを選択して、[はい]、[いいえ]、[キャンセル]のいずれかを選択します。[はい]または[いいえ]を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



【はい】： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。

【いいえ】： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。

【キャンセル】： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの【】【】【】【】ボタンまたは操作パネルの【】【】【ワイド】【】ボタンで目的のキーにカーソルを移動し、【決定】ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの【Finish】を選択すると入力が確定します。キーボードの【Cancel】を選択すると入力は取り消されます。



- 【CAPS】キーを選択して【決定】ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
- 【SYM1/2】キーを選択して【決定】ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。

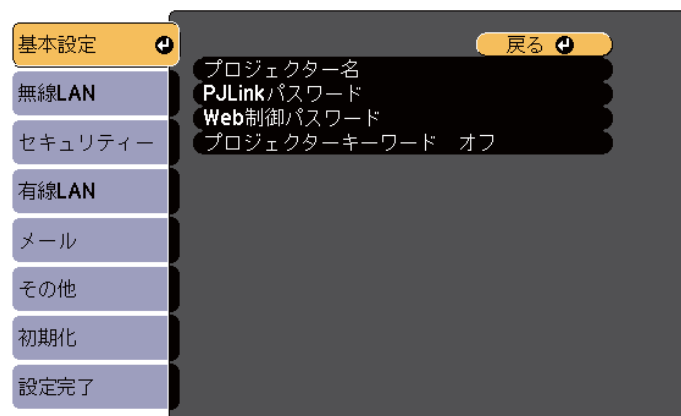
入力できる文字の種類は以下のとおりです。

数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! # \$ % & ' () + - . / < = > ? @ ^ _ ` { } ~



- : は、ネットワークメニューでは入力できません。
- スペースは、[SSID]を除くネットワークメニューでは入力できません。
- 一部の記号(" * , ; [\] ^)はソフトキーボードで入力できません。Webブラウザを使って入力してください。
- ☞ 「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 [p.120](#)

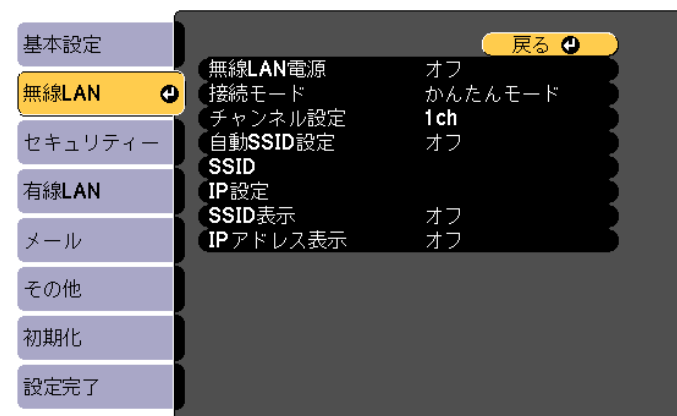
基本設定メニュー



サブメニュー	機能
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します(" * + , / ; < = > ? [\] ` は使用不可)。
PJLink パスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で32文字まで入力できます(記号は使用不可)。
Web 制 御 パ ス ワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字8文字以内で入力します(*は使用不可)。パスワードの初期設定は「admin」です。 Web制御はネットワークで接続しているコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータから本機を設定・制御する機能です。 ☛「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 p.120

サブメニュー	機能
プロジェクター キーワード	[オン]に設定していると、本機とコンピュータをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより他のコンピュータからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は[オン]に設定してお使いください。 ☛『EasyMP Network Projection操作ガイド』 ☛『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』

無線LANメニュー

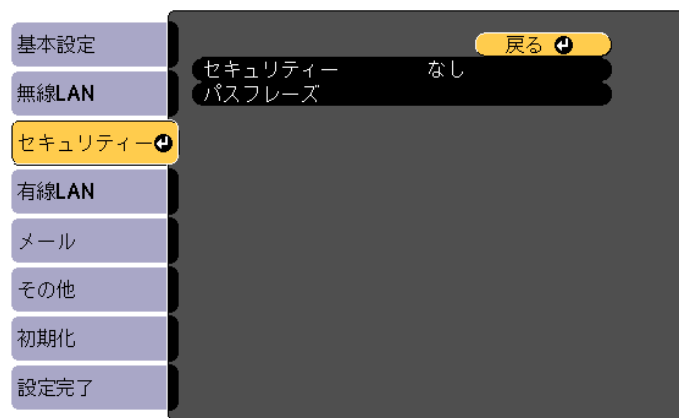


サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機とコンピュータを無線LANで接続して使用するときは[オン]に設定します。 無線LANで接続しないときは、[オフ]に設定しておくこと他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。 初期値は[オン]に設定されています。

サブメニュー	機能
接続モード	<p>本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを設定します。</p> <p>[かんたんモード] (初期値) を選択すると、プロジェクターとコンピューターによる小規模なネットワークを自動的に構成します。EasyMP Network Projectionと組み合わせて使用します。[自動SSID設定] が [オン] のときは、プロジェクターが簡易なアクセスポイントとなります。[オフ] のときはアドホックモードで構成します。</p> <p>[マニュアルモード] を選択すると、設置されているアクセスポイントとインフラストラクチャーモードで接続します。</p> <p>接続モードに関する詳細は、以下のマニュアルをご覧ください。</p> <p>🔗 『EasyMP Network Projection操作ガイド』</p> <p>🔗 『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』</p>
チャンネル設定	<p>([接続モード] を [かんたんモード] に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>無線LANで使用する周波数の帯域を [1ch]、[6ch]、[11ch] から選択します。</p> <p>初期値は [11ch] に設定されています。</p>
自動SSID設定	<p>([接続モード] を [かんたんモード] に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>[オン] にすると、プロジェクターの検索時間を短縮できます。</p> <p>ただし、複数台のプロジェクターに同時に接続するときは、[オフ] に設定します。</p> <p>初期値は [オン] に設定されています。</p>
SSID	<p>([自動SSID設定] を [オフ] に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。</p> <p>半角英数字で32文字まで入力できます。SSIDを空欄またはANYに設定すると、ANY接続 (SSIDを指定せずに、近くのアクセスポイントから接続先を選択する方法) を行います。</p>

サブメニュー	機能
IP設定	<p>([接続モード] を [マニュアルモード] に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>ネットワークの設定を行います。</p> <p>[DHCP] : [オン] にすると、DHCPを使用してネットワークを設定します。ここで [オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>[IPアドレス] : 本機に割り当てるIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p> <p>[サブネットマスク] : 本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>[ゲートウェイアドレス] : 本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p>
SSID表示	<p>LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、[オフ] に設定します。</p>
IPアドレス表示	<p>LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ] に設定します。</p>

セキュリティメニュー



サブメニュー	機能
セキュリティ	セキュリティの種類を表示される項目から選択します。セキュリティの設定は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従ってください。
パスフレーズ	<p>([セキュリティ]で[WPA2-PSK]または[WPA/WPA2-PSK]を選択しているときのみ選択可能。)</p> <p>パスフレーズを入力します。半角英数字で8文字以上、63文字まで入力できます。</p> <p>EasyMP Network Projectionと組み合わせて使う場合、初期状態のパスフレーズであればコンピューター側でのパスフレーズ入力を省略できます。</p> <p>☛「初期化メニュー」p.152</p> <p>環境設定メニューで入力できる文字数は32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p>☛「Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）」p.120</p> <p>[接続モード]が[かんたんモード]に設定されているときは、初期状態でパスフレーズが設定されています。</p>

セキュリティの種類

オプションの無線LANユニットを装着してマニュアルモードでお使いの際は、必ずセキュリティの設定を行うことをお奨めします。

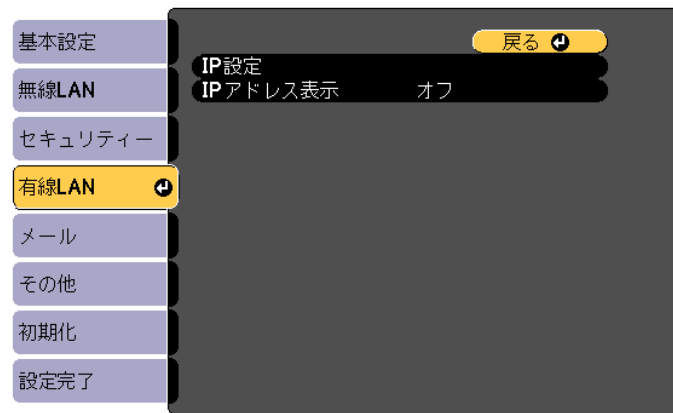
WPAは無線ネットワークのセキュリティ強度を向上するための暗号化規格です。本機は暗号化方式TKIPとAESに対応しています。

WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、認証サーバーを使う方法と、認証サーバーは使わずコンピューターとアクセスポイントの間で認証を行う方法があります。本機は、認証サーバーを使わない認証方法に対応しています。



設定の作業は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従って行ってください。

有線LANメニュー



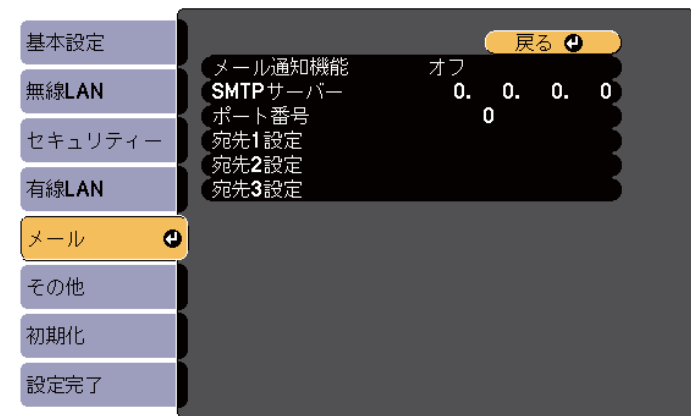
サブメニュー	機能
IP設定	<p>以下のアドレスに関する設定を行います。</p> <p>DHCP▶▶：[オン]にするとDHCPを使用してネットワークを設定します。ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>IPアドレス▶▶：本機に割り当てるIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p> <p>サブネットマスク▶▶：本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>ゲートウェイアドレス▶▶：本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p>

サブメニュー	機能
IPアドレス表示	ネットワークメニューのネットワーク情報とLAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

メールメニュー

本機が異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

☛「メール通知機能で異常を通知する」 [p.123](#)



サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。

サブメニュー	機能
宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定	<p>通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は3件まで登録できます。メールアドレスは32文字まで入力できます("() , ; < > [\] は使用不可)。</p> <p>通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。</p> <p>メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、宛先メールアドレスで指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。</p>

その他メニュー

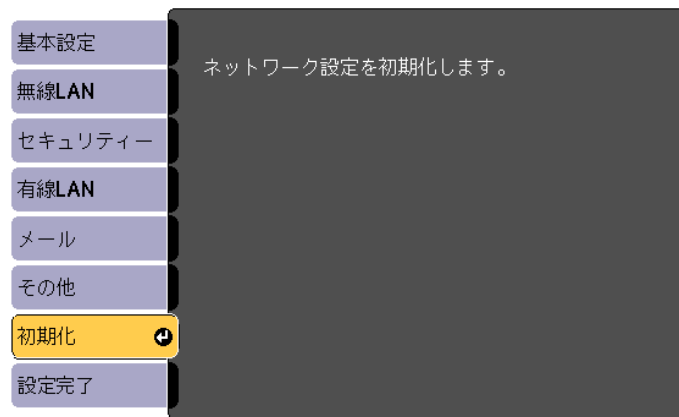


サブメニュー	機能
SNMP	<p>[オン]にすると、SNMPを使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。</p> <p>初期値は[オフ]に設定されています。</p>

サブメニュー	機能
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを[有線LAN]か[無線LAN]のどちらかに設定します。
AMX Device Discovery	本機をネットワークに接続しているとき、 <u>AMX Device Discovery</u> による本機の検出を有効にしたいときは[オン]に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、[オフ]に設定してください。
Crestron RoomView	<p>Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。</p> <p>☛「Crestron RoomView®について」p.127</p> <p>[オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	<p>Bonjourによるネットワーク接続を行うときは[オン]に設定します。</p> <p>Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。</p> <p>http://www.apple.com/</p>
Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。

初期化メニュー

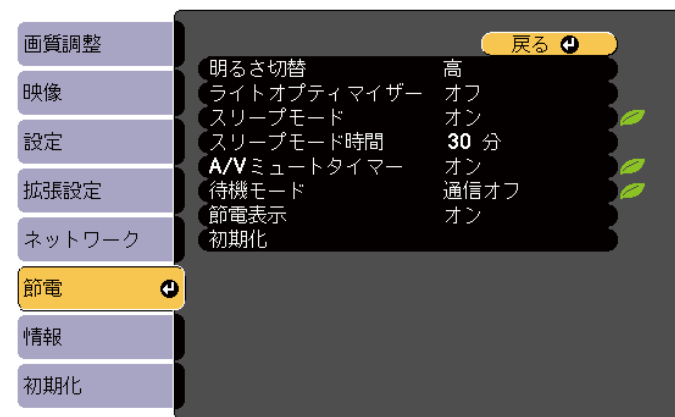
ネットワークの設定をすべて初期化します。



サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[はい]を選択します。

節電メニュー

節電メニューを設定すると、本機の消費電力を抑える効果を発揮します。節電効果が有効な設定にしているときは、各サブメニューの横に葉っぱのアイコンが表示されます。



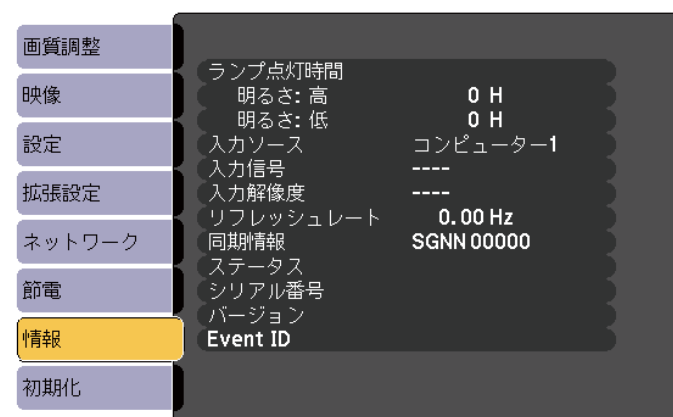
サブメニュー	機能
明るさ切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは[低]に設定します。[低]で使用すると、投写中の消費電力とファン回転音が低下します。 [オート]に設定すると、照度センサーで周りの明るさを感知してランプの明るさを自動的に調整します。 高地や高温な場所でお使いのときは、設定が変更できなくなる場合があります。

サブメニュー	機能
ライトオブティマイザー	<p>([明るさ切替]を[高]または[オート]に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>[オン]に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。状況に応じてランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減させることができます。</p> <p>設定値はカラーモードごとに保存されます。</p>
スリープモード	<p>[オン]に設定すると、映像信号が未入力のまま、一定時間操作しないときに自動で電源を切ります。また、映像信号が未入力状態で一定時間経つと、電源が切れるまでランプの明るさを抑えて動作します。映像信号が入力されたときは、通常の動作状態に戻ります。</p>
スリープモード時間	<p>[スリープモード]を[オン]にしたときに、自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲で設定します。</p>
A/Vミュートタイマー	<p>[オン]に設定すると、A/Vミュートを実行してから約30分後に自動で電源を切ります。また、A/Vミュートを実行して一定時間経つと、電源が切れるまでランプの明るさを抑えて動作します。A/Vミュートを解除したときは、通常の動作状態に戻ります。</p>
待機モード	<p>[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも、以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機をネットワーク経由でコンピューターから監視・制御する ● 音声や映像を外部機器に出力する([A/V出力]が[常時]のときのみ) ● マイクの音声を本機のスピーカーから出力する([A/V出力]が[常時]のときのみ)
節電表示	<p>[オン]に設定すると、ランプの明るさが通常状態から低輝度または低輝度から通常状態に変わるときに、節電状況を表す葉っぱのアイコンを投写画面の左下に表示します。</p>
初期化	<p>[節電]メニューのうち、[待機モード]を除くすべての調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」p.154</p>

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。お使いの機種により対応していない入力ソースもあります。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.47

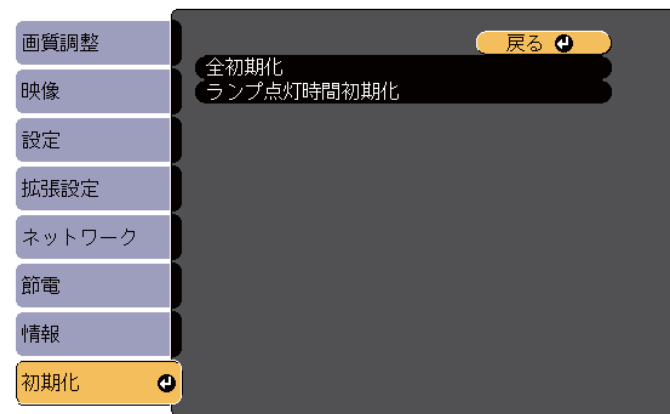


サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。ランプ交換の目安時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	[映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶▶を表示しています。

サブメニュー	機能
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
バージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。 ☛ 「Event IDについて」 p.177

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、
「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号方式]、[ズーム]、[ユーザーロゴ]、[ネットワーク]メニューの全項目、[ランプ点灯時間]、[言語]、 [パスワード]、[デジタルピクチャーシフト]は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間 初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアします。ランプを交換したときに行ってください。

プロジェクターで一度設定した環境設定メニューの内容を、その他複数のプロジェクターに一括で設定できます(一括設定機能)。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

👉 [『設置工事説明書』](#)



困ったときに

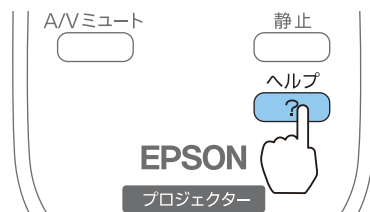
ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

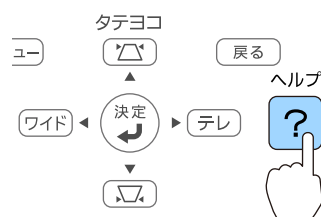
1 【ヘルプ】ボタンを押します。

ヘルプ画面が表示されます。

リモコンの場合



操作パネルの場合

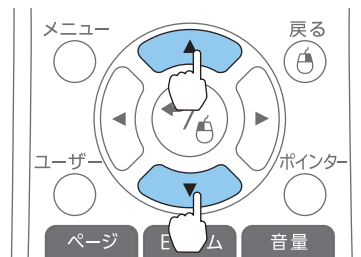


2 項目を選択します。

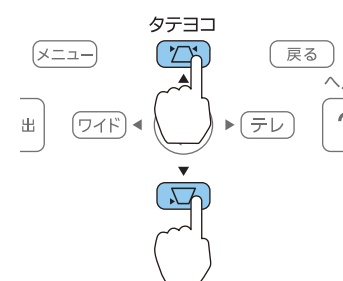
【ヘルプ】

映像が小さい。⬇️
映像が台形に投写される。
色合いがおかしい。
動画部分が表示されない。

リモコンの場合

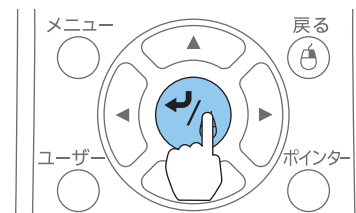


操作パネルの場合

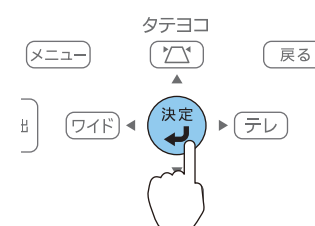


3 項目を決定します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。

映像が小さい。

- ズームが最小になっていませんか？
・ズームサイズを変更してください。
ズーム ⬇️
- プロジェクターがスクリーンに近すぎませんか？
・プロジェクターをスクリーンから離してください。



ヘルプ機能を使ってもわからないときは、以下をご覧ください。

👉「故障かなと思ったら」 [p.158](#)

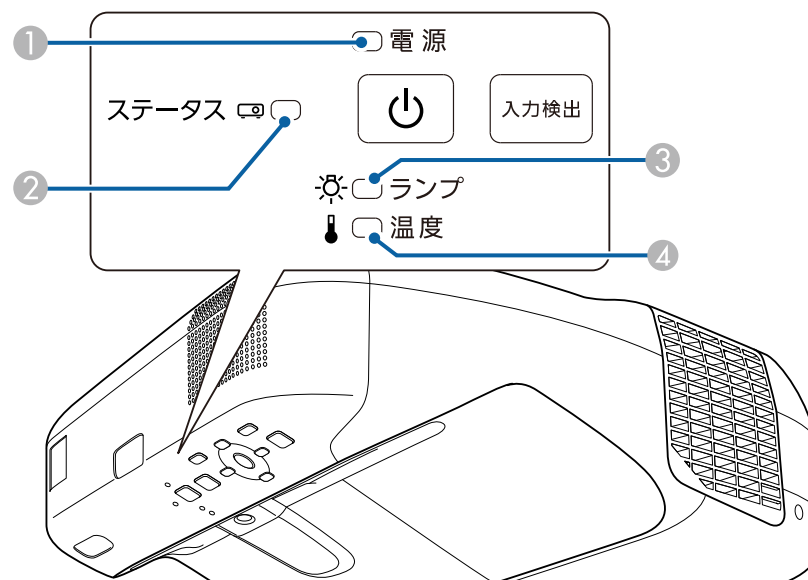
故障かな？と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり以下の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。

インジケーターをご覧になってもわからないときは、以下をご覧ください。

👉「インジケーターを見てもわからないとき」 [p.162](#)

インジケーターの見方

本機には、次の4種類のインジケーターがあります。インジケーターの色と点灯状態によって本機の状態をお知らせします。











- ① 電源インジケーター
- ② ステータスインジケーター
- ③ ランプインジケーター

本機の状態をお知らせします。
本機の状態をお知らせします。
ランプの状態をお知らせします。


④ 温度インジケータ











内部温度の状態をお知らせします。

インジケータ		状態	説明
電源	ステータス		
 青点灯	 消灯	スタンバイ状態	本機に電源が供給されている状態です。この状態で【  】電源ボタンを押すと投写を開始します。
		ネットワーク監視状態	ネットワーク経由で、本機の監視と制御を行なっている状態です（[待機モード]を[通信オン]にしているとき）。この状態のときに電源コードの抜き差しをすると、電源インジケータが青色に点滅します。
 青点灯	 青点滅	ウォームアップ状態	本機の電源を入れた直後の状態です。ランプ点灯後、約30秒間ウォームアップ状態になります。この状態のときは、【  】電源ボタンを押しても電源を切ることができません。
		クールダウン状態	本機の電源を切った直後の状態です。この状態のときは、すべてのボタン操作が無効になります。
 青点灯	 青点灯	通常状態	投写中の状態です。

















インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が十分に供給されていません。



電源コードを抜いても【】電源インジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

インジケータ				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
 消灯	 青点滅	 橙点滅	 消灯	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』
 消灯	 青点滅	 消灯	 橙点滅	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』

インジケーター				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
□ 消灯	 青 点滅	□ 消灯	 橙 点灯	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。  「エアフィルターの掃除」 p.180、「エアフィルターの交換」 p.187 <p>上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。  「拡張設定メニュー」 p.140</p>
□ 消灯	 青 点滅	 橙 点灯	□ 消灯	ランプ異常 ランプ点灯失敗	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。  「ランプの交換」 p.183 エアフィルターを掃除します。  「エアフィルターの掃除」 p.180 <p>割れていないとき：ランプを再セットして、電源プラグをコンセントに接続します。 それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』</p> <p>割れているとき：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。  『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。  「拡張設定メニュー」 p.140</p>
□ 消灯	 青 点滅	 橙 点滅	 橙 点滅	オートアイリス異常	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』</p>
□ 消灯	 青 点滅	 橙 点灯	 橙 点灯	電源系異常	

インジケーター				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
 青 点滅	 状態依存	 状態依存	 橙 点滅	高温警告	<p>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。  「エアフィルターの掃除」 p.180, 「エアフィルターの交換」 p.187
 青 点滅	 状態依存	 橙 点滅	 状態依存	ランプ交換勧告	<p>新しいランプに交換してください。  「ランプの交換」 p.183</p> <p>交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。</p>
 消灯	 青 点滅	 橙 点灯	 橙 点灯	障害物検知異常	<p>警告音が鳴り、「投写窓付近の障害物を取り除いてください。」と表示されます。そのままの状態にしておくと、自動的に電源がオフになります。次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 投写窓付近に障害物がないか確認します。障害物があるときは取り除きます。 障害物がないときは、障害物検知センサーを掃除します。  「障害物検知センサーの掃除」 p.179 <p>それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』</p>



- インジケーターは異常を示していないのに、投写映像が異常のときは、以下をご覧ください。
 「インジケーターを見てもわからないとき」 [p.162](#)
- 各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
 『[お問い合わせ先](#)』

インジケータを見てもわからないとき

まず、以下をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になる 	☞ p.163
<ul style="list-style-type: none"> 動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる) コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない 	☞ p.164
<ul style="list-style-type: none"> 自動的に投写が消える 	☞ p.164
<ul style="list-style-type: none"> 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される 	☞ p.164
<ul style="list-style-type: none"> 「映像信号が入力されていません。」と表示される 	☞ p.165
<ul style="list-style-type: none"> ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ 	☞ p.165
<ul style="list-style-type: none"> ノイズが入る、乱れる 	☞ p.166
<ul style="list-style-type: none"> マウスカーソルがちらつく(USBディスプレイ投写時のみ) 	☞ p.166
<ul style="list-style-type: none"> 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない 	☞ p.167
<ul style="list-style-type: none"> 色合いが違う 全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむ 	☞ p.168
<ul style="list-style-type: none"> 暗い 	☞ p.168

投写開始時のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 	☞ p.169
---	-------------------------

インタラクティブ機能に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターの投写画面に描画できない 	☞ p.169
<ul style="list-style-type: none"> コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない 	☞ p.170
<ul style="list-style-type: none"> 「Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。」というエラーメッセージが表示される 	☞ p.170
<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのマウスが正しく動作しない 	☞ p.171
<ul style="list-style-type: none"> Easy Interactive Penが動作しない 	☞ p.171
<ul style="list-style-type: none"> Easy Interactive Penの反応が遅い(USBディスプレイ投写時のみ) 	☞ p.172
<ul style="list-style-type: none"> 指タッチ操作がうまくできない(EB-595WTのみ) 	☞ p.172
<ul style="list-style-type: none"> タッチユニットの角度調整ができない(EB-595WTのみ) 	☞ p.173
<ul style="list-style-type: none"> 手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう 	☞ p.173

その他のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない・小さすぎる 	☞ p.173
<ul style="list-style-type: none"> マイクの音が出ない 	☞ p.174
<ul style="list-style-type: none"> 音声にノイズが混ざる(USBディスプレイ投写時のみ) 	☞ p.175
<ul style="list-style-type: none"> リモコンで操作できない 	☞ p.175
<ul style="list-style-type: none"> メッセージやメニューの言語を変更したい 	☞ p.175
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない 	☞ p.176
<ul style="list-style-type: none"> Webブラウザーを使って設定を変更できない 	☞ p.176

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
【⓪】電源ボタンを押しましたか？	【⓪】電源ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源コードを正しく接続してください。 ☛「投写までの流れ」 p.46 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛「初期化」-「全初期化」 p.154
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ （コンピューター投写時のみ）	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ （ビデオ機器投写時のみ）	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛「映像」-「ビデオ信号方式」 p.136
USBケーブルが正しく接続されていますか？ （USBディスプレイ投写時のみ）	USBケーブルが正しく接続されているかを確認します。接続されていなかったり間違って接続されているときは、接続し直します。
Windows Media Centerを全画面表示にしていますか？ （USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ）	Windows Media Centerを全画面で表示すると、USBディスプレイまたはネットワーク接続で投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ （USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ）	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。
「モニター出力端子」を「モニター出力」に設定していませんか？	モニター出力/コンピューター2入力端子から入力した映像を投写するときは、環境設定メニューで「モニター出力端子」を「コンピューター2」設定します。 ☛「拡張設定」-「動作設定」-「モニター出力端子」 p.140

動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

確認	対処法
コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	コンピューター側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピューターに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。
動画コンテンツが著作権保護されていませんか？	著作権保護された動画コンテンツをコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード]、[AVミュートタイマー]を[オン]にしていませんか？	各設定を[オン]にしていると、以下のときに自動的に電源を切ります。 <ul style="list-style-type: none">• [スリープモード]が[オン]：映像信号が未入力の状態で一定時間操作しなかったとき• [AVミュートタイマー]が[オン]：AVミュートを実行してから約30分経過したとき 自動的に電源が切れないようにしたいときは、各設定をオフにしてください。 ☛ [節電]-[スリープモード]/[AVミュートタイマー] p.152
コンピューターの省電力設定が有効になっていませんか？	コンピューターの省電力設定が有効のとき、一定時間コンピューターを操作しないと映像が消えることがあります。コンピューターを操作して映像を再表示してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像]-[ビデオ信号方式] p.136
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ (コンピューター投写時のみ)	コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.195

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛「投写までの流れ」 p.46
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンか操作パネルの【入力検出】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.47
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ （ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ）	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー（ファンクションキー）が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛「投写までの流れ」 p.46 ☛ コンピューターの取扱説明書など
コンピューターの省電力設定が有効になっていませんか？	コンピューターの省電力設定が有効のとき、一定時間コンピューターを操作しないと映像が消えることがあります。コンピューターを操作して映像を再表示してください。

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスレバーでピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」 p.60
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」 p.193
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。 ☛「映像の高さを調整する（フット同梱機種のみ）」 p.59
アスペクト比▶▶は正しく設定されていますか？	入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を切り替えます。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.64

確認	対処法
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像]-[ビデオ信号方式] p.136
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「接続する」 p.30
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.195 ☛ コンピューターの取扱説明書など
同期▶▶・トラッキング▶▶は正しく調整されていますか？ (コンピューター投写時のみ)	リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【決定】ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューから調整することもできます。 ☛ [映像]-[トラッキング]、[同期] p.136
[レイヤードウィンドウの転送]にチェックマークが入っていませんか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Ver.x.xxの設定]の順にクリックして、[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。









マウスカーソルがちらつく(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックマークが入っていますか？	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Ver.x.xxの設定]の順にクリックして、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを入れます。(Windows 2000は対応していません。) Windows Vista/7の場合、チェックを入れるとWindows Aeroが無効になります。






映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ (コンピューター投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像]-[入力解像度] p.136
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの【戻る】ボタンを押してEズーム機能を解除します。 ☛ 「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.108
表示位置は正しく調整されていますか？	(コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子から入力しているアナログRGB信号の投写時のみ) リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【決定】ボタンを押して、表示位置を調整します。 表示位置は環境設定メニューからも調整できます。 ☛ [映像]-[表示位置] p.136
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	接続しているコンピューターのコントロールパネルの[画面のプロパティ]でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.195 ☛ コンピューターの取扱説明書など
ズーム調整または台形補正後に映像の位置を調整しましたか？	ズーム調整または台形補正後にデジタルピクチャーシフトを行い、映像の位置を調整します。 ☛ 「映像の位置を調整する (デジタルピクチャーシフト)」 p.58
設置モードは正しいですか？	設置状況に合わせて、[設置モード]を[フロント]、[フロント・上下反転]、[リア]、[リア・上下反転]から設定します。 ☛ [拡張設定]-[設置モード] p.140 ☛ 「いろいろな設置方法」 p.27

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	<p>以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューター1/コンピューター2入力端子に接続した機器の映像のとき  [映像]-[入力信号方式] p.136 • ビデオ/S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき  [映像]-[ビデオ信号方式] p.136
映像の明るさは正しく調整されていますか？	<p>環境設定メニューの[明るさ]を調整してください。</p>  [画質調整]-[明るさ] p.135
ケーブル類が正しく接続されていますか？	<p>投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。</p>  「接続する」 p.30
コントラスト  は正しく調整されていますか？	<p>環境設定メニューの[コントラスト]を調整してください。</p>  [画質調整]-[コントラスト] p.135
適切なカラー調整に設定されていますか？	<p>環境設定メニューの[カラー調整]を調整してください。</p>  [画質調整]-[カラー調整] p.135
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	<p>環境設定メニューの[色の濃さ]、[色合い]を調整してください。</p>  [画質調整]-[色の濃さ]、[色合い] p.135

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	<p>環境設定メニューから[明るさ]や[明るさ切替]を設定してください。</p>  [画質調整]-[明るさ] p.135  [節電]-[明るさ切替] p.152
コントラスト  は正しく調整されていますか？	<p>環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。</p>  [画質調整]-[コントラスト] p.135
ランプの交換時期ではありませんか？	<p>ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。</p>  「ランプの交換」 p.183
高地や高温な場所で本機を使っていますか？	<p>高地や高温な場所でお使いのときは、画面が暗くなることがあります。このときは、[明るさ切替]の設定ができませんが、そのまま使い続けて問題ありません。</p>

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
【⓪】電源ボタンを押しましたか？ インジケーターがすべて消灯していませんか？	【⓪】電源ボタンを押して電源を入れます。 電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いて差し直してください。 ☛「投写までの流れ」 p.46 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源コードを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源コードが接触不良を起こしているか、電源コードが故障している可能性があります。電源コードを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛『お問い合わせ先』
[操作ボタンロック]が[全ロック]になっていませんか？	リモコンの【⓪】電源ボタンを押します。[操作ボタンロック]を働かせないときは設定を[オフ]にしてください。 ☛[設定]-[操作ボタンロック] p.138
リモコンからの操作が制限されていませんか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛[設定]-[リモコン受光部] p.138

インタラクティブ機能に関するトラブル(EB-595WT/EB-590WTのみ)

プロジェクターの投写画面に描画できない

確認	対処法
正しくペン位置合わせされていますか？	Easy Interactive Penを初めて使うときは、ペン位置を本機に正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。 また、位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。 ☛「ペン位置合わせ」 p.79
[ペンモード]が[マウス操作]になっていませんか？	環境設定メニューで[ペンモード]を[PCレスインタラクティブ]に設定してください。 ☛[拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[ペンモード] p.143

確認	対処法
窓や蛍光灯の近くに設置していませんか？	投写面やプロジェクターに太陽光や蛍光灯の強い光があたると正しく動作しない場合があります。カーテンで遮ったり、蛍光灯を消したりしてお使いください。または太陽光や蛍光灯の光があたらない場所に設置してください。

コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない

確認	対処法
[拡張設定]は正しく設定されていますか？	コンピューターの機能と組み合わせて使用するには、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● 環境設定メニューで、[ペンモード]を[マウス操作]に設定します。 ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[ペンモード] p.143● 環境設定メニューで、[USB Type B]を[Easy Interactive Function]または[USB Display/Easy Interactive Function]に設定します。USBディスプレイを使っているときは、[USB Display/Easy Interactive Function]に設定します。 ☛ [拡張設定]-[USB Type B] p.140
[ペン動作モード]は正しく設定されていますか？	EB-595WTの場合：マウス操作をするときは、接続しているコンピューターのOSに合わせて環境設定メニューで[ペン動作モード]を設定してください。 EB-590WTの場合：マウス操作をするときは、環境設定メニューで[ペン動作モード]を[2人で書く/マウス]または[1人で書く/マウス]に設定してください。 ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[ペン動作モード] p.143
USBケーブルは正しく接続されていますか？	USBケーブルの接続を確認してください。USBケーブルを一度抜いてから再度接続することで、問題が解消することがあります。
ノートタイプのコンピューターをお使いの場合、バッテリーが不足するとUSBポートが機能しなくなり、USBデバイスが利用できなくなる可能性があります。	コンピューターの電源をコンセントにつないでください。

「Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。」というエラーメッセージが表示される

確認	対処法
Easy Interactive Functionにエラーが発生しています。	お問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛ 『 お問い合わせ先 』

コンピューターのマウスが正しく動作しない

確認	対処法
投写面内にEasy Interactive Penが置かれていませんか？	Easy Interactive Penを投写面の外に移動させてください。

Easy Interactive Penが動作しない

確認	対処法
Easy Interactive Penから本機へ信号を送信する経路に障害物があります。	障害物を移動してください。また、投写面の前に立つときは、信号経路を妨げないでください。
赤外線を出す光源等と干渉しています。	赤外線リモコンや赤外線マイクロホンと同じ空間で使用すると、Easy Interactive Penが誤動作することがあります。赤外線を出す光源等を消灯してください。
電池が不足しています。	ペン側面のボタンを押して、電池残量をご確認ください。バッテリーインジケーターが点灯しないときは、電池交換を行ってください。 ☛「Easy Interactive Penの電池交換」 p.21
周囲が明る過ぎます。	投写面または本機のEasy Interactive Function受光部に強い光が当たらないようにしてください。
正しくペン位置合わせされていますか？	Easy Interactive Penを初めて使うときは、ペン位置を本機に正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。 また、位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。 ☛「ペン位置合わせ」 p.79
同じ部屋で本機を2台以上使用していますか？	同じ部屋で本機を2台以上使用しているときは、Easy Interactive Pen同士が干渉し動作が不安定になることがあります。オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)でプロジェクター同士を接続してください。ワイヤードリモコンケーブルをお持ちでない方は、環境設定メニューの[複数台設置距離]の設定を変更してください。 ☛「複数台のプロジェクターを接続する（EB-595WT/EB-590WTのみ）」 p.43 ☛「拡張設定」-「Easy Interactive Function」-「詳細設定」-「複数台設置距離」 p.143

Easy Interactive Penの反応が遅い(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
Windows Aeroが有効ですか？(Windows Vista/7のみ)	Windows Aeroが有効になっているときに、Easy Interactive Penの動作が遅くなることがあります。お使いのコンピューター上で、Windows Aeroを無効に設定してください。 コンピューターで[すべてのプログラム]-[EPSON Projector]-[Epson USB Display]-[Epson USB Display Ver.x.xxの設定]の順にクリックして、[Windows Aeroを無効にしてインタラクティブペンの追従性を向上する]にチェックを入れます。

指タッチ操作がうまくできない(EB-595WTのみ)

確認	対処法
タッチユニットは正しく設置されていますか？	タッチユニットが正しく設置されていない可能性があります。詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 ☞『設置工事説明書』
タッチユニットの電源はオンになっていますか？	タッチユニットのインジケーターが青色に点灯していることを確認してください。タッチユニットのインジケーターが点灯していないときは、環境設定メニューの[タッチユニット設置]で[電源]が[オン]になっていることを確認してください。 ☞ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[タッチユニット設置]-[電源] p.143 ☞『設置工事説明書』
タッチユニットの角度調整を行いましたか？	環境設定メニューから、タッチユニットの角度調整を行ってください。詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 ☞ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[タッチユニット設置]-[角度調整] p.143 ☞『設置工事説明書』
指タッチ位置合わせを行いましたか？	指で描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、環境設定メニューから[指タッチ位置合わせ]を行ってください。 ☞「指タッチ位置合わせ」 p.86
投写面の周囲(2cm以内)にペントレイ、ペン、ホワイトボードのクリーナーなどの障害物が置かれていませんか？	投写面の周囲にある障害物を移動してください。 投写面の周囲に移動できない障害物があるときは、スクリーンに赤外線ディフレクターを取り付けます。 詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 ☞『設置工事説明書』
スクリーンに近づきすぎていませんか？	投写面の前や周囲(約10cm以内)に人が立っていたり障害物があったりすると、タッチユニットが正しく動作しないことがあります。

確認	対処法
衣服の袖や手の甲など、指以外のものが投写面に接触していませんか？	衣服の袖や手の甲などが投写面の前(1cm以内)にあると、衣服や手の甲を指と誤認識して、意図しない線が描画されることがあります。
投写面の近くに、リモコンや使用していないインタラクティブペンなど赤外線を出す光源がありませんか？	投写面の近くに赤外線を出す光源があると、赤外線の干渉によりタッチユニットが誤動作することがあります。赤外線を出す光源を消灯してください。また、しばらく使用しないインタラクティブペンは投写面から離してください。

タッチユニットの角度調整ができない(EB-595WTのみ)

確認	対処法
タッチユニットの裏にスペーサーが貼られていますか？	タッチユニットをネジで固定するときは、同梱のスペーサーをネジ穴に合わせて貼り付ける必要があります。タッチユニットの裏側にスペーサーが貼り付けられていることを確認してください。詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 👉 『設置工事説明書』






手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう

確認	対処法
近くに別の赤外線を出す光源等があるため、投写面の情報を正確に受信できていません。	赤外線を出す光源等を遠ざけるか、本機の取り付け位置を移動してください。
本機の位置が投写面に近過ぎると、投写面の情報を正確に送受信できないことがあります。	投写距離の推奨範囲内に設置してください。 👉 「スクリーンサイズと投写距離」 p.193
周囲の赤外線を出す光源等の状態が不安定なため Easy Interactive Pen が無効になっています。	本機の取り付け位置を移動するか、赤外線を出す光源等を消灯してください。




その他のトラブル

音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。

確認	対処法
プロジェクターの音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。  [設定]-[音量] p.138  「音量を調整する」 p.62
コンピューターまたは映像機器の音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。
マイク入力レベルが最大になっていませんか？	マイク入力レベルを下げてください。  [設定]-[マイク入力レベル] p.138
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。  「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.106
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音声が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
[音声をプロジェクターで出力する]にチェックマークが入っていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Ver.x.xxの設定]で、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを入れます。
音声入力が正しく選択されていますか？	環境設定メニューの[音声出力]、[HDMI1音声出力]、[HDMI2音声出力]の設定を確認してください。  [拡張設定]-[A/V出力設定] p.140

マイクの音が出ない

確認	対処法
マイクは正しく接続されていますか？	マイク入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。  「マイクの接続」 p.38
マイク入力レベルが最小になっていませんか？	マイク入力レベルを聞こえる音量に調整してください。  [設定]-[マイク入力レベル] p.138
プラグインパワー方式のマイクを使っていませんか？	本機はプラグインパワー方式のマイクに対応していません。市販のダイナミックマイクをお使いください。  [設定]-[マイク入力レベル] p.138

音声にノイズが混ざる(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していませんか？	コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが混ざることがあります。コンピューターの音量は大きく、プロジェクターの音量は小さく設定してください。 ☞ [設定]-[音量] p.138

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☞ 「リモコンの操作可能範囲」 p.20
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。 ☞ 「リモコンの操作可能範囲」 p.20
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。 ☞ [設定]-[リモコン受光部] p.138
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☞ [設定]-[リモコン受光部] p.138
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☞ 「リモコンの電池交換」 p.19

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの言語で目的の言語を選択してください。 ☞ [拡張設定]-[言語] p.140

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
[待機モード]を[通信オン]に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの[待機モード]を[通信オン]に設定します。 ☛ [節電]-[待機モード] p.152
致命的な異常が発生し、本機が瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 本機を確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』
本機に電源が供給されていますか？	本機が設置されている地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメール通知機能が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの[メール]の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛ 「メールメニュー」 p.150

Webブラウザーを使って設定を変更できない

確認	対処法
ユーザーID、パスワードは正しいですか？	ユーザーIDには「EPSONWEB」を入力します。変更はできません。パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。 パスワードは、Web制御パスワードで設定した文字を入力します。パスワードの初期設定は「admin」です。

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☞ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0482 0484 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0481	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	☞ [セキュリティ] p.149
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☞ [無線LAN]-[IP設定] p.147
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☞ 『お問い合わせ先』



メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

⚠ 注意

掃除をするときは本機の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

投写窓の掃除

投写窓の汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

⚠ 警告

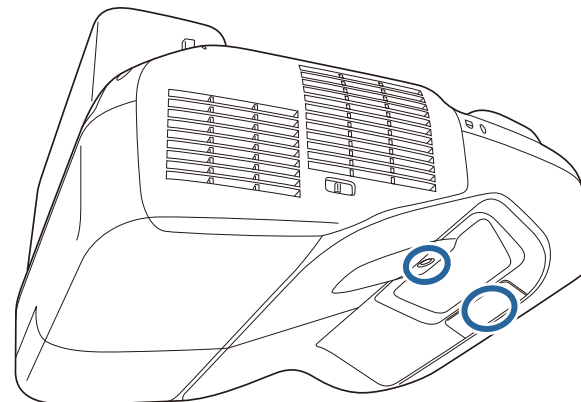
レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

障害物検知センサーの掃除

障害物がないのに、警告音とともに「投写窓付近の障害物を取り除いてください。」と表示される場合は、障害物検知センサーの掃除をしてください。障害物検知センサーの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。



⚠ 警告

障害物検知センサーに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

障害物検知センサーの表面は、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

センサーの表面に傷がつくと、誤作動の原因となります。

エアフィルターの掃除

以下のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

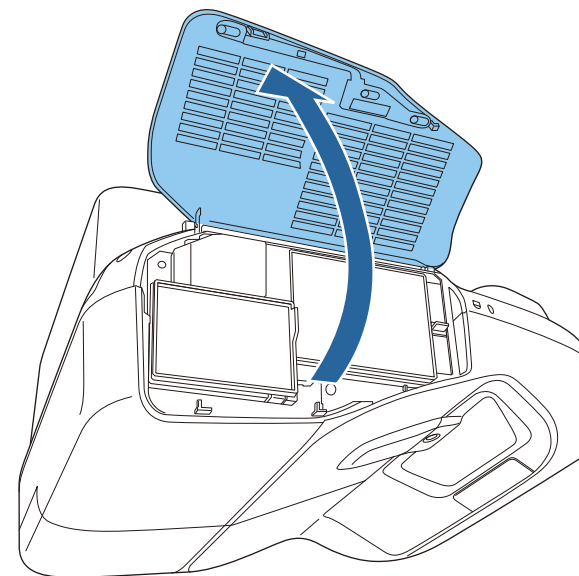
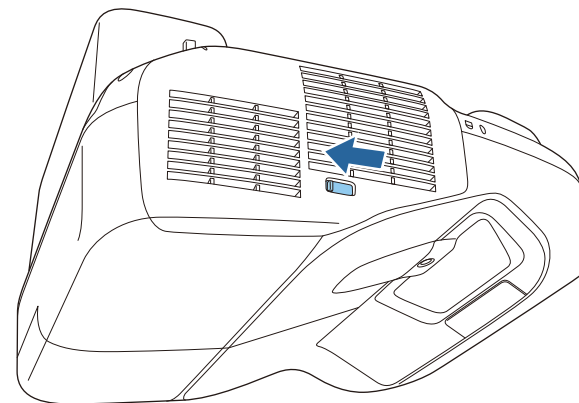
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

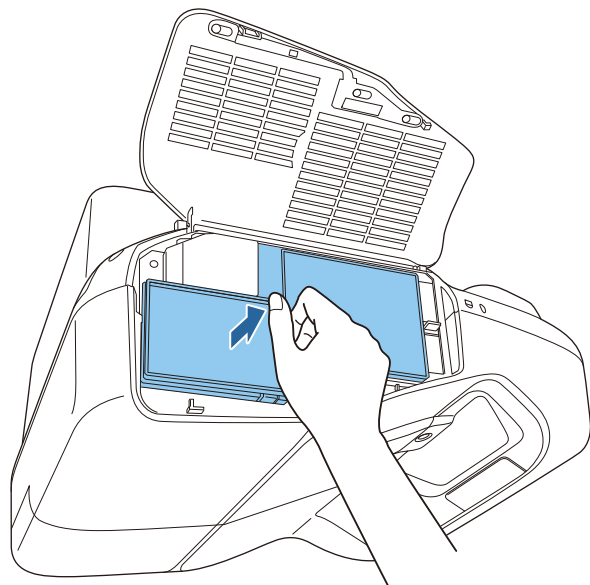
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいブラシで軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまう、取れなくなることがあります。

- 1** 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

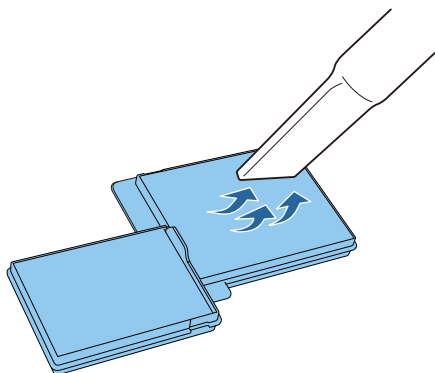
- 2** エアフィルターカバーを開けます。
エアフィルターカバーのツメを押しながらカバーを開けます。



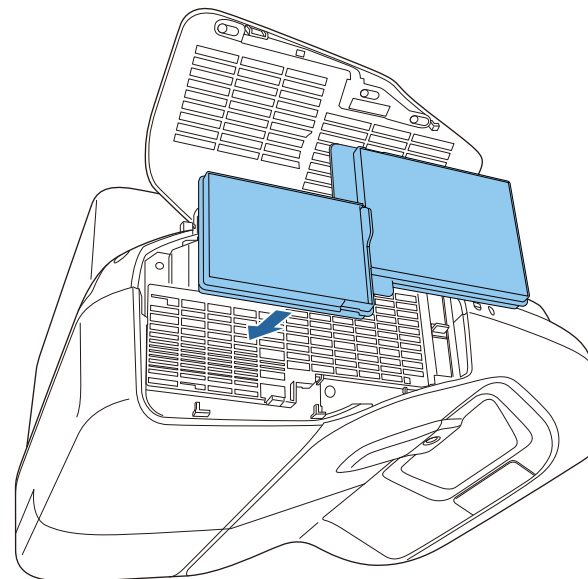
- 3** エアフィルターを取り外します。
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。

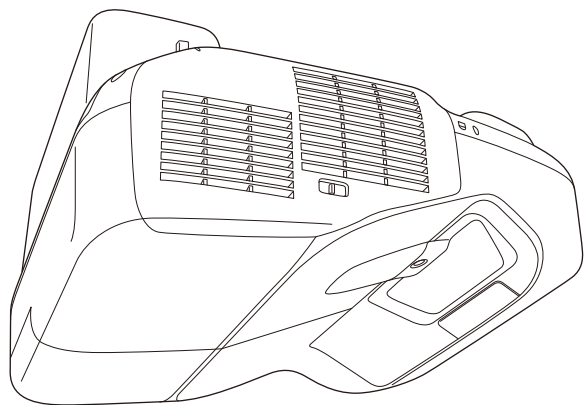
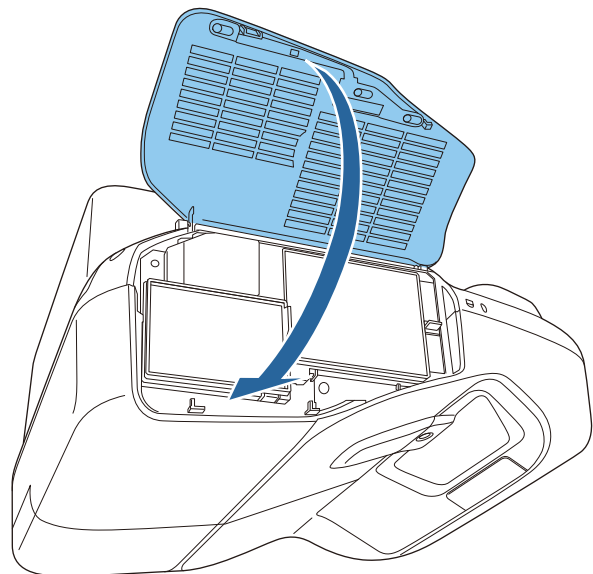


- 4** エアフィルターにたまったホコリを表側から掃除機で吸い取ります。



- 5** エアフィルターを取り付けます。



6 エアフィルターカバーを開めます。

- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。
☛ 「エアフィルターの交換」 [p.187](#)
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

ここでは、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

ランプの交換

ランプの交換時期

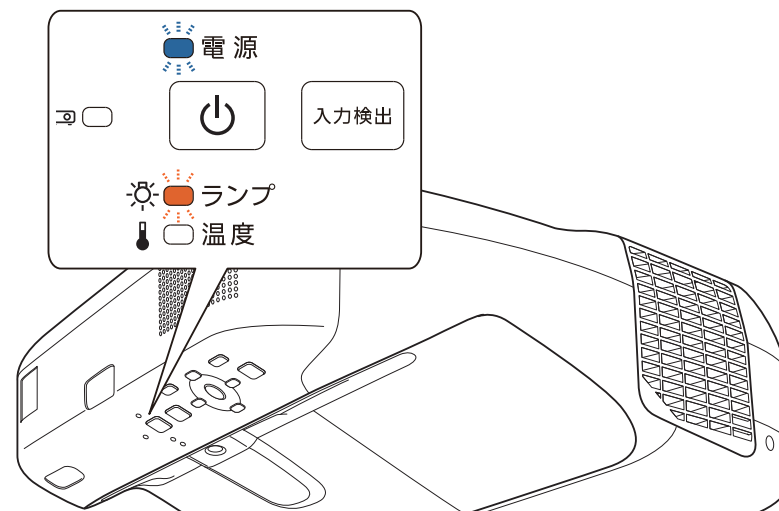
次の場合は、ランプを交換してください。

- 以下のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」



メッセージは30秒経過すると消えます。

- 電源インジケータが青色に点滅、かつランプインジケータが橙色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
[明るさ切替]を[高]にして使い続けた場合：約3900時間
[明るさ切替]を[低]にして使い続けた場合：約5900時間
☛ [節電]-[明るさ切替] [p.152](#)
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。



ランプを交換するときには、併せてエアフィルターの掃除もすることをお勧めします。

☛ 「エアフィルターの掃除」 [p.180](#)

警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を壁掛け・天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

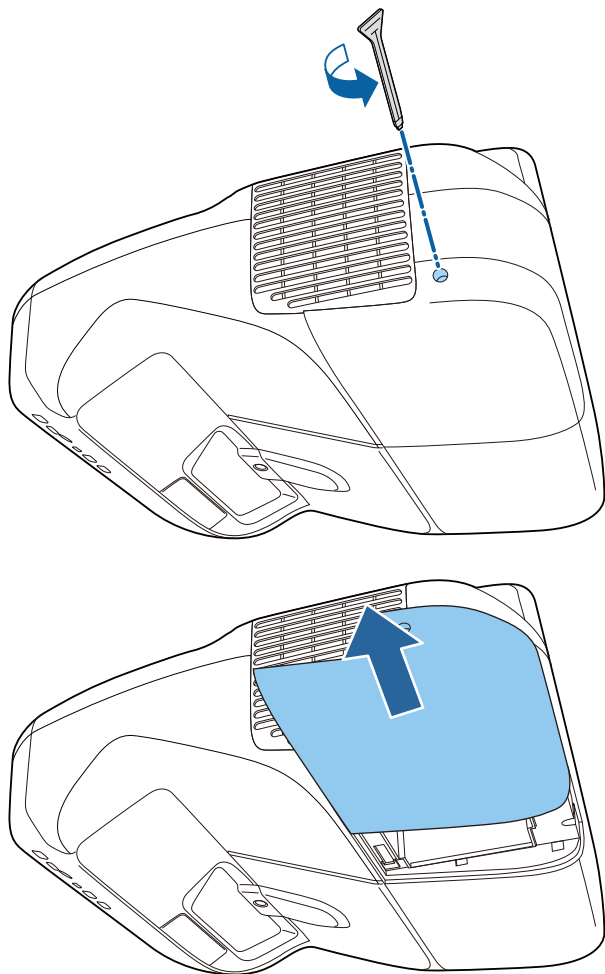
1

本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

ランプの交換方法

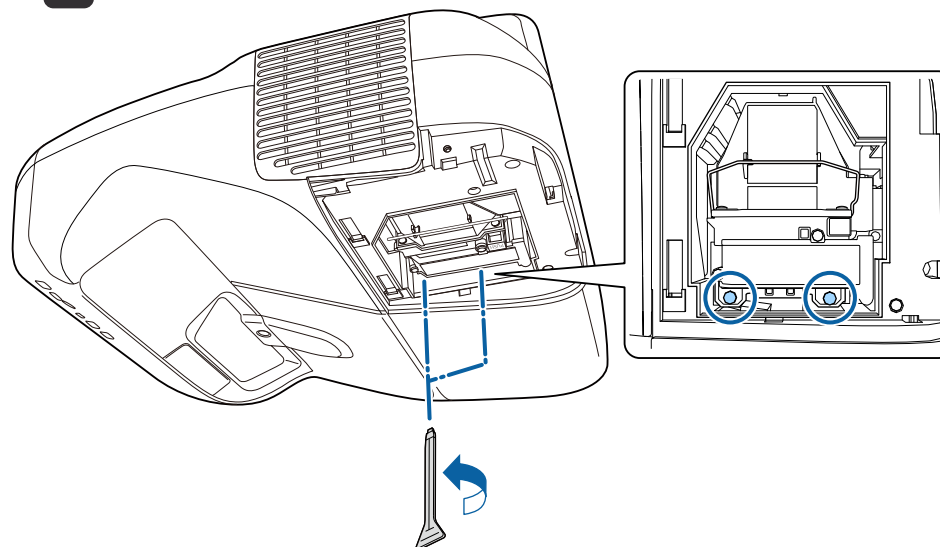
本機は壁掛け・天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

- 2** ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。



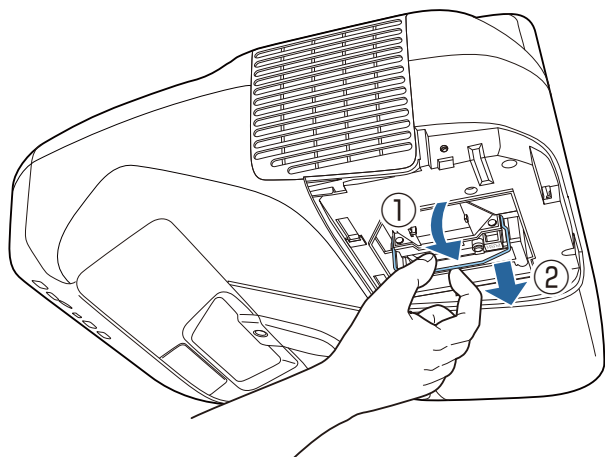
本機を壁掛けまたは天吊り設置した状態でランプ交換を行うときは、ランプカバーが落ちないように手で支えながらそっと取り外してください。

- 3** ランプ固定ネジ2本をゆるめます。

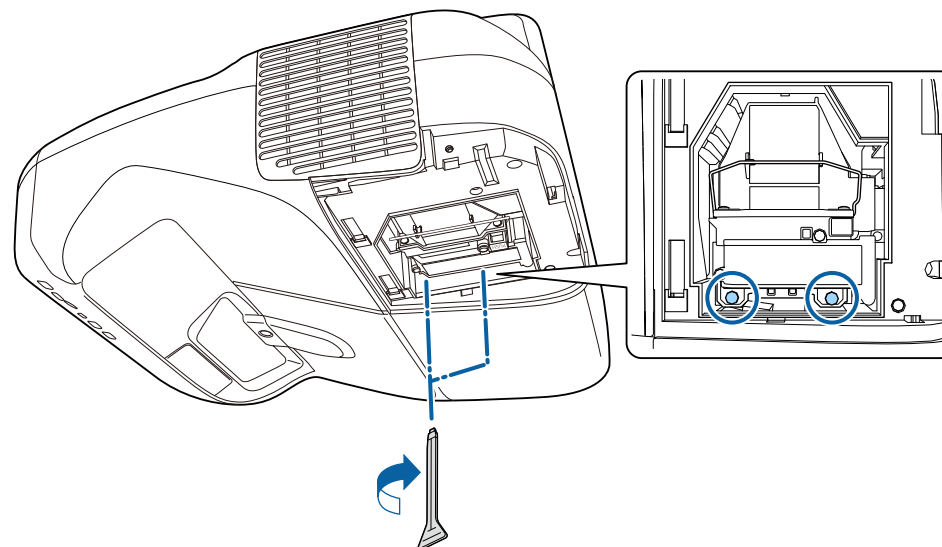
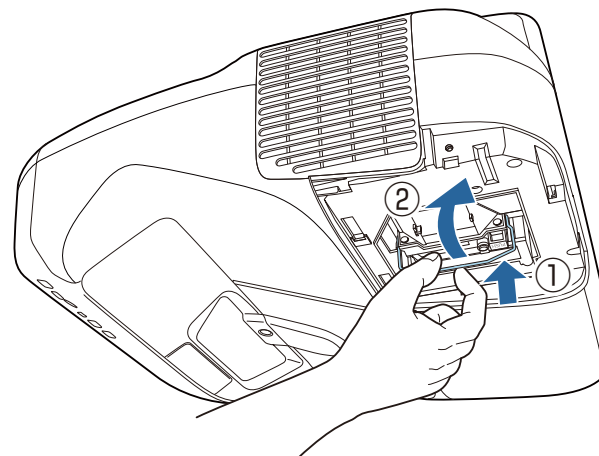


- 4** 古いランプを取っ手をつまんで取り出します。
ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。

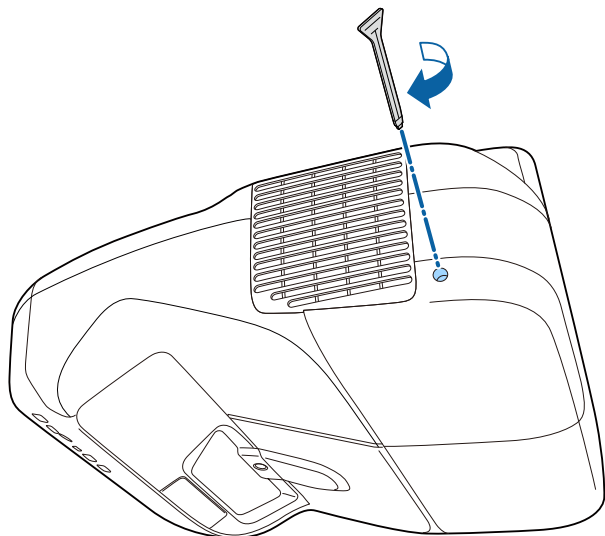
☎ 『お問い合わせ先』



- 5** 新しいランプを取り付けます。
ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、取っ手を倒します。ランプ固定ネジ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。



注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。

☞「初期化メニュー」 [p.154](#)



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは、エアフィルターを交換してください。

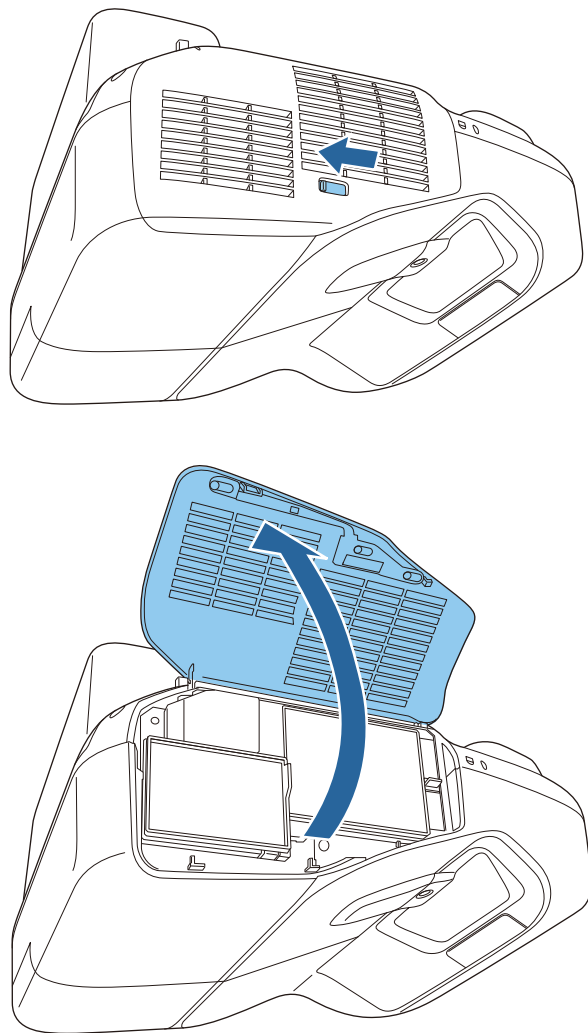
エアフィルターの交換方法

本機は壁掛け・天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

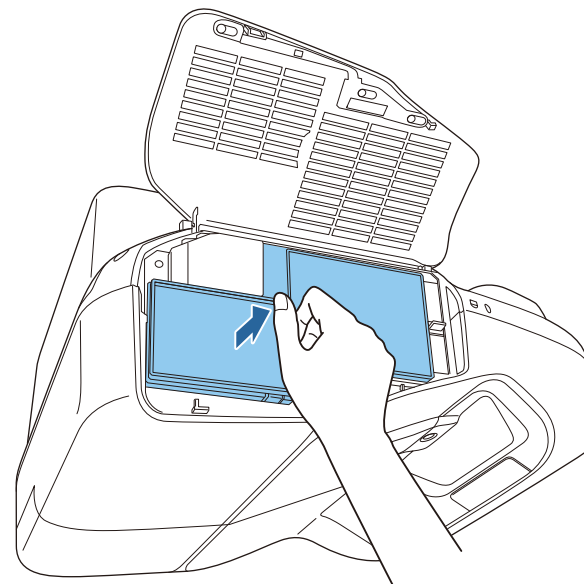
1

本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

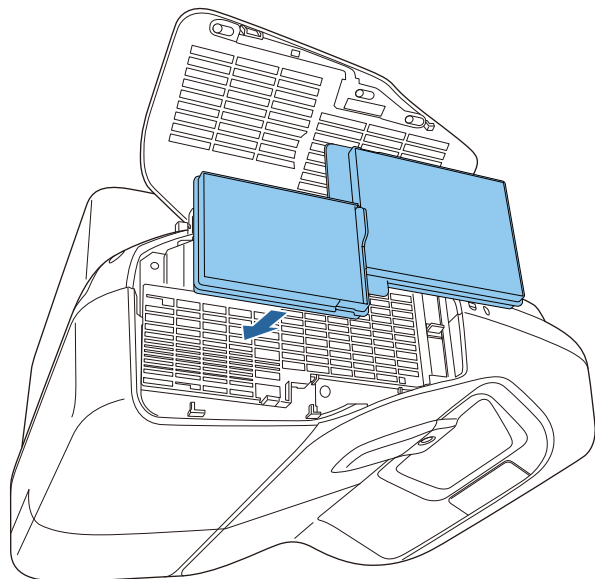
- 2** エアフィルターカバーを開けます。
エアフィルターカバーのツメを押しながらカバーを開けます。



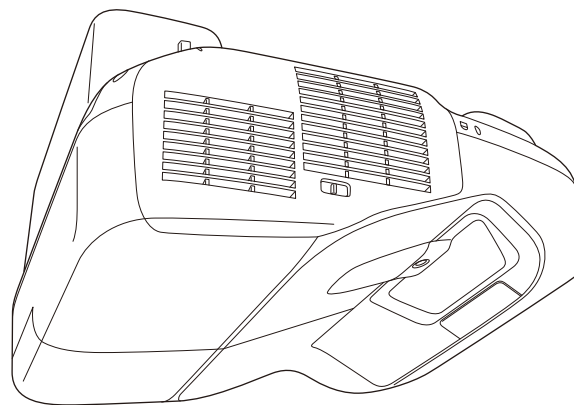
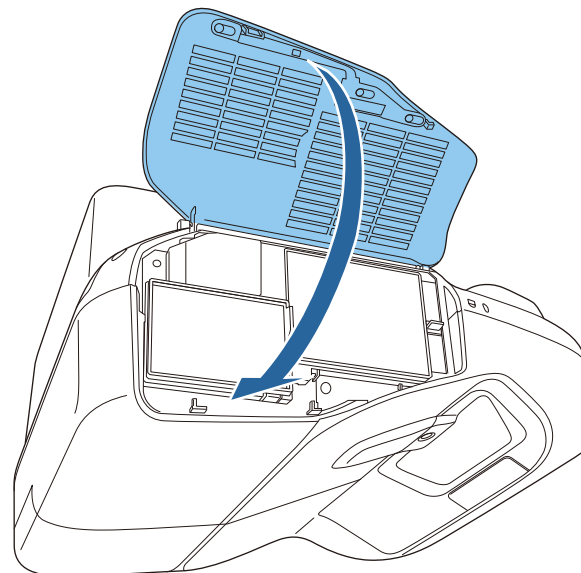
- 3** エアフィルターを取り外します。
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。



4 新しいエアフィルターを取り付けます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。





使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリプロピレン

フィルター部分の材質：ポリプロピレン



付録

以下のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2014年1月現在のもので、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション

書画カメラ ELPDC06/ELPDC11/ELPDC12/ELPDC20 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。
コンピューターケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m) コンピューターケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピューターケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) 映像機器のD端子と接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。
無線LANユニット ELPAP07 本機とコンピューターを無線で接続して投写するときに使います。
クイックワイヤレス用USBキー ELPAP09 本機とWindows搭載のコンピューターを1対1で接続して投写するときに使います。
セッティングプレート※ ELPMB43 本機を壁に掛けて設置するための金具です。
テーブル投写金具 ELPMB29 本機を机に取り付けるための金具です。
天吊り金具※ ELPMB23 本機を天井に取り付けるときに使います。

アタッチメントプレート ELPPT06 本機に天吊り金具を取り付けるときに使います。
Easy Interactive Pen ELPPN04A/ELPPN04B Easy Interactive Functionの専用ペンです。同じ型番のEasy Interactive Penは同時に使えません。
電子ペン延長キット ELPPE01 Easy Interactive Penに取り付けて指示棒のように使います。
交換用ペン先 ELPPS02 Easy Interactive Penの交換用のペン先です。
USB延長ケーブル ELPKC31 USBケーブルの長さが足りないときに、USBケーブルに接続して延長します。
インターフェイスボックス ELPCB02 本機を天井や壁に取り付けて使うときに、本機の手元で行うために設置するリモコンです。
ワイヤードリモコンケーブル ELPKC28 インタラクティブ機能に対応した複数台のプロジェクターを接続するためのケーブルです。

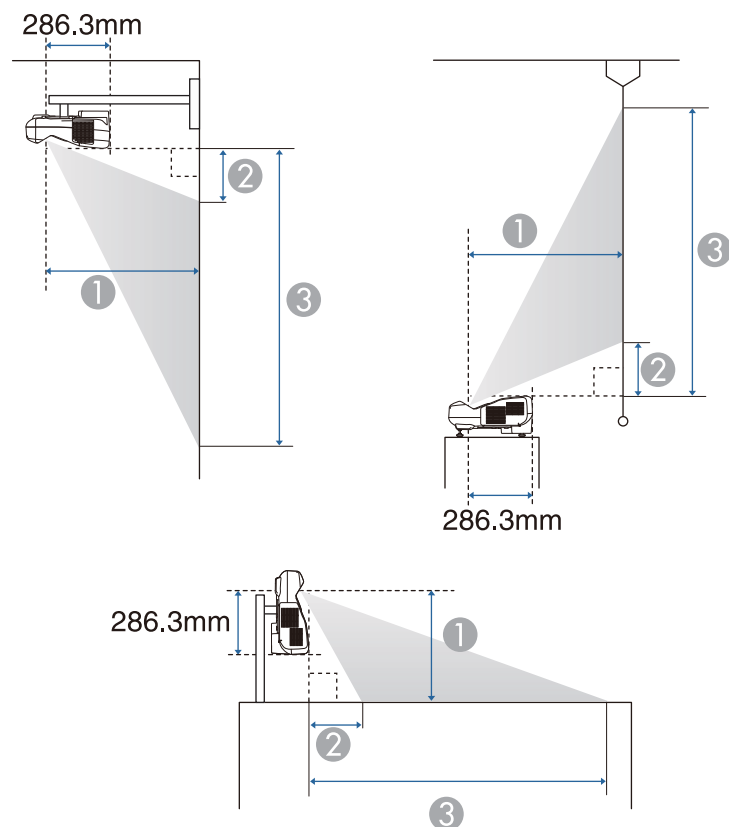
※ 設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☛ [『お問い合わせ先』](#)

消耗品

交換用ランプ ELPLP80(EB-595WT/EB-590WT/EB-585W/EB-580用) 使用済みランプと交換します。
エアフィルター ELPAF40 使用済みエアフィルターと交換します。

EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wの投写距離表



- ① 投写距離
- ② 本機からスクリーン上端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)
本機からスクリーン下端までの長さ(机などに設置する場合)
- ③ 本機からスクリーン下端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)
本機からスクリーン上端までの長さ(机などに設置する場合)

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
60型	129x81	34.8 ~ 47.9	9.0	89.8
70型	151x94	41.0 ~ 56.2	11.7	105.9
80型	172x108	47.2 ~ 60.0	14.4	122.0
90型	194x121	53.4 ~ 60.0	17.0	138.2
100型	215x135	59.6 ~ 60.0	19.7	154.3

単位：cm

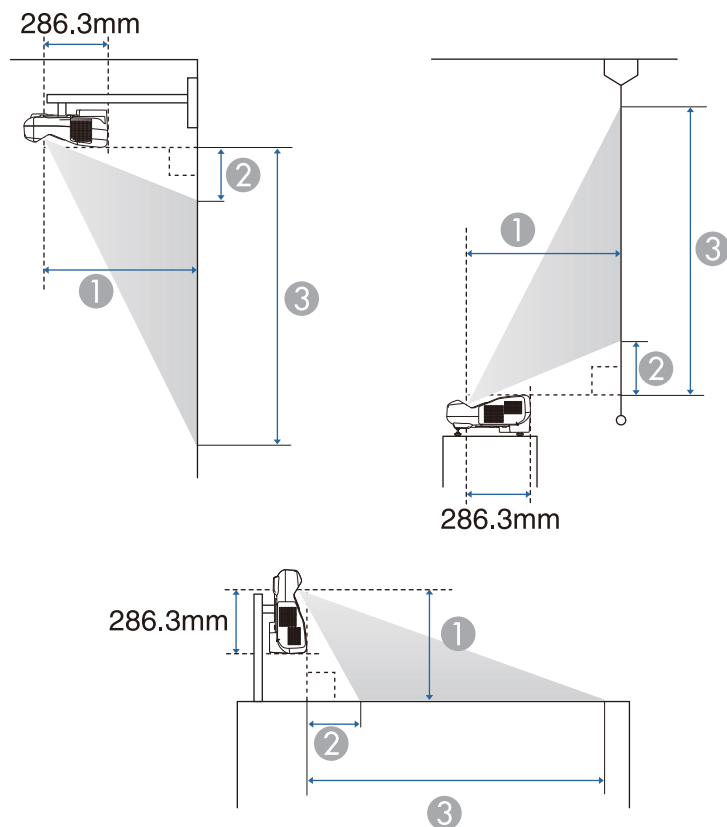
4:3スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
53型	108x81	34.8 ~ 47.9	9.0	89.8
60型	122x91	39.7 ~ 54.5	11.1	102.6
70型	142x107	46.8 ~ 60.0	14.1	120.8
80型	163x122	53.8 ~ 60.0	17.2	139.1
88型	179x134	59.4 ~ 60.0	19.6	153.7

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
59型	131x74	35.2 ~ 48.4	13.3	86.7
60型	133x75	35.9 ~ 49.2	13.6	88.3
70型	155x87	42.2 ~ 57.9	17.0	104.2
80型	177x100	48.6 ~ 60.0	20.5	120.1
90型	199x112	55.0 ~ 60.0	23.9	136.0

16:9スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
97型	215x121	59.5 ~ 60.0	26.3	147.1

EB-580の投写距離表



① 投写距離

- ② 本機からスクリーン上端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)
本機からスクリーン下端までの長さ(机などに設置する場合)
- ③ 本機からスクリーン下端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)
本機からスクリーン上端までの長さ(机などに設置する場合)

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
56型	114x85	34.8 ~ 47.9	6.8	92.1
60型	122x91	37.5 ~ 51.5	7.7	99.2
70型	142x107	44.2 ~ 60.0	10.2	116.9
80型	163x122	50.8 ~ 60.0	12.7	134.6
90型	183x137	57.5 ~ 60.0	15.1	152.3
93型	189x142	59.5 ~ 60.0	15.9	157.6

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
52型	115x65	35.3 ~ 48.5	17.7	82.5
60型	133x75	41.1 ~ 56.3	21.5	96.2
70型	155x87	48.3 ~ 60.0	26.3	113.4
80型	177x100	55.6 ~ 60.0	31.0	130.6
85型	188x106	59.2 ~ 60.0	33.4	139.2

対応解像度

コンピューター映像(アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1366x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
WXGA++	60	1600x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x1024
	60/75/85	1280x960
SXGA+	60/75	1400x1050
WSXGA+※1,2	60	1680x1050
UXGA	60	1600x1200
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
MAC21"	75	1152x870

※1 EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wのみ

※2 環境設定メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときにかぎり対応します。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(SECAM)	50	720x576
TV(PAL)	50/60	720x576

HDMI入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
	60	1366x768
WXGA+	60	1440x900
WXGA++	60	1600x900
WSXGA+※	60	1680x1050
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
SDTV(480i/480p)	60	720x480
SDTV(576i/576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080

※ EB-595WT/EB-590WT/EB-585Wのみ

MHL入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480
SDTV(480i/480p)	60	720 x 480
SDTV(576i/576p)	50	720 x 576
HDTV(720p)	50/60	1280 x 720
HDTV(1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV(1080p)	24/30	1920 x 1080

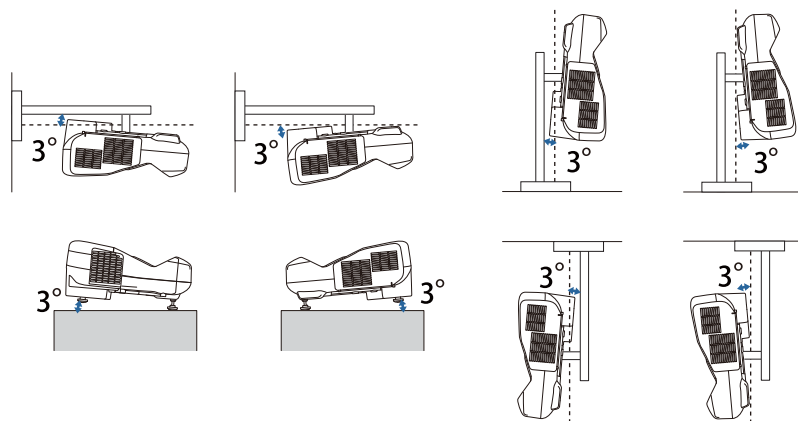
本機仕様

商品名		EB-595WT	EB-590WT	EB-585W	EB-580
外形サイズ		幅367x高さ155x奥行き375mm(突起部含まず)			
液晶パネルサイズ		0.59型ワイド			0.55型
表示方式		ポリシリコンTFT アクティブマトリクス			
画素数		1,024,000個 WXGA(横1280x縦800 ドット)x3			786,432個 XGA(横1024x縦768 ドット)x3
フォーカス調整		手動			
ズーム調整		デジタル(1-1.35)			
ランプ		UHEランプ 定格245W 型番：ELPLP80			
音声最大出力		16W			
スピーカー		1個			
電源		100-240V AC±10% 50/60Hz 3.8-1.7A			
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：376W 待機時消費電力(通信オン)：4.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.33W			
	220-240Vエリア	定格消費電力：358W 待機時消費電力(通信オン)：4.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.44W			
動作高度		標高 0～3000m			
動作温度範囲		+5～+35℃(結露しないこと)(標高 0～2286m) +5～+30℃(結露しないこと)(標高 2287m～3000m)			
保存温度範囲		-10～+60℃(結露しないこと)			
質量		約5.5kg		約5.3kg	

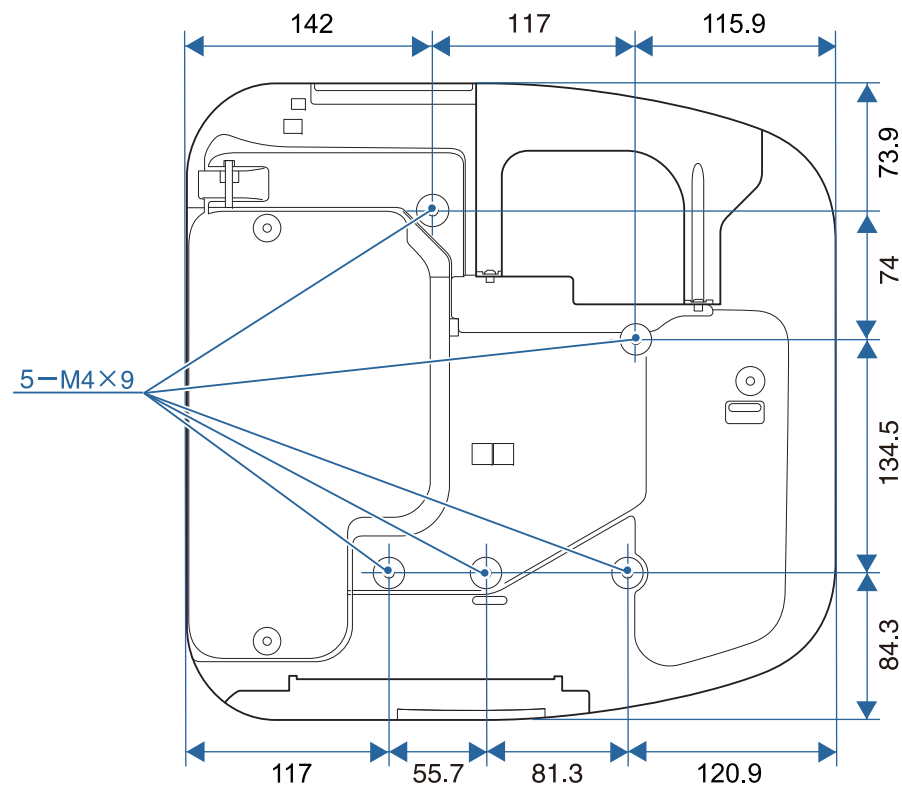
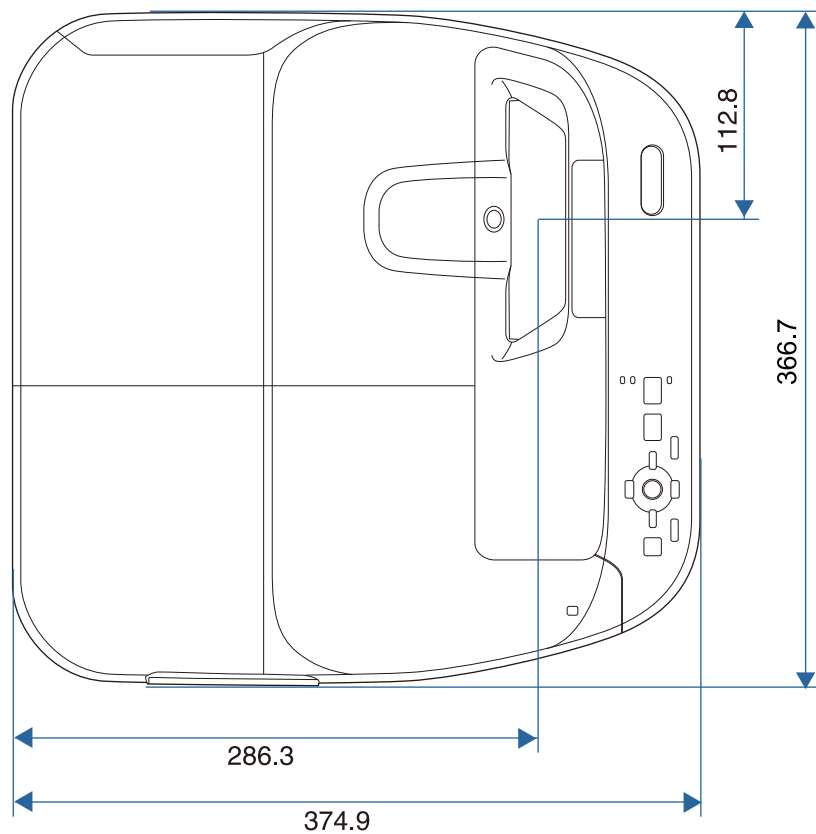
接続端子	コンピューター1入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	コンピューター2入力/モニター出力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック
	S-ビデオ入力端子	1系統	ミニDIN 4pin
	音声入力1端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声入力2端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	マイク入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声出力端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	HDMI1/MHL入力端子	1系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
	HDMI2入力端子	1系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
	USB-A端子※	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	USB-B端子※	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)
	USB端子 (無線LANユニット専用)	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	LAN端子	1系統	RJ-45
	RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)
	SYNC端子	2系統	ステレオミニピンジャック

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度

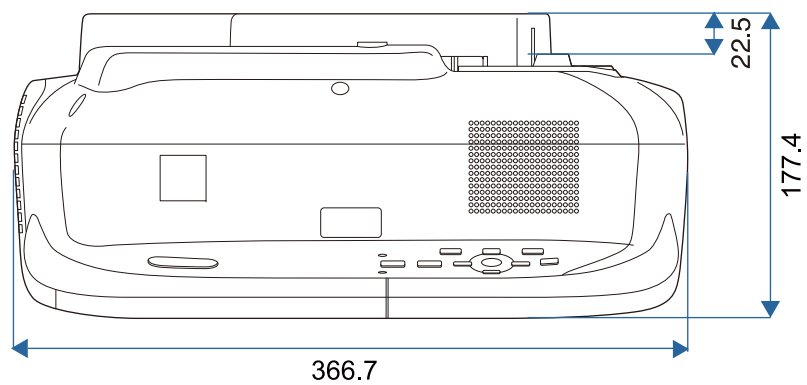


3°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

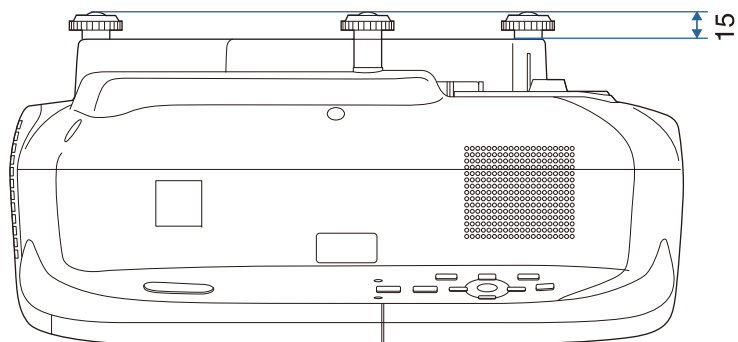


単位：mm

フットなし



フットあり



単位：mm

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 IPアドレス を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末をターゲットにした接続インターフェースの規格です。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま高速で伝送し、端末への電源供給も行います。
S-ビデオ	映像信号を輝度信号(Y)や色信号(C)に分離して伝送する方式です。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器どうしで無線通信できます。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。

アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
インフラストラクチャモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスク ▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターの IPアドレス ▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造および分解の禁止(アンテナ部分を含む)
- 適合証明ラベルの剥離

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system
Microsoft® Windows® XP operating system
Microsoft® Windows Vista® operating system
Microsoft® Windows® 7 operating system
Microsoft® Windows® 8 operating system
Microsoft® Windows® 8.1 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vista/7/8/8.1のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x

Mac OS X 10.4.x

Mac OS X 10.5.x

Mac OS X 10.6.x

OS X 10.7.x

OS X 10.8.x

OS X 10.9.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.x」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「OS X」と表記します。

商標について

EPSONおよびELPLPはセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

eneloop®はパナソニックグループの登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。



MHLとMHLのロゴ、及びMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

CrestronおよびCrestron RoomViewは、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。